

「次世代金融アンケート 2024」

2024 年 12 月

SBI 金融経済研究所

発行者：SBI 金融経済研究所

住所 〒106-6019
東京都港区六本木 1-6-1
泉ガーデンタワー19F

電話 03-6229-1001（代表）

2024年12月発行

転載・複製・引用を行う際には出所を明記ください。

目次

I アンケートの概要.....	1
II 調査結果.....	4
1. 対象者の属性.....	5
Q1 性別.....	5
Q2 年齢.....	5
Q3 学歴.....	6
Q4 婚姻.....	7
Q5 持ち家の有無.....	7
Q6 年収.....	8
Q7 保有金額資産残高.....	9
Q8 保有負債残高.....	10
2. リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX 等）.....	11
Q9 認知度.....	11
Q10 投資経験.....	12
Q11 両親や兄弟姉妹の投資経験.....	13
Q12 金融教育を受けた経験.....	14
Q13 国内株式・国内株式投資信託に対する認識.....	15
Q14 外国株式・外国株式投資信託に対する認識.....	18
Q15 為替デリバティブに対する認識.....	20
Q16 投資開始時からの平均的な投資損益.....	22
3. 新しいデジタル金融商品（暗号資産、SC、ST、NFT）.....	28
Q17 認知度.....	28
Q18 投資経験.....	30
Q19 投資開始時からの平均的な投資損益.....	32
Q20 金融資産の保有割合.....	36
Q21 直近1年間の投資状況.....	37
Q22 暗号資産の取得・保有目的.....	39
Q23 新しいデジタル金融商品に対する認識.....	40
Q24 中央銀行への信頼度.....	43
4. 金融リテラシー、リスク回避度、金融資産選択に影響を与える要因等.....	46
Q25 金融リテラシー（単利）.....	46
Q26 金融リテラシー（複利）.....	46
Q27 金融リテラシー（実質金利）.....	47
Q28 金融リテラシー（ポートフォリオ分散効果）.....	47
Q29 リスク回避度・リスク選好度 1.....	51

Q30	リスク回避度・リスク選好度 2.....	52
Q31	時間選好率	54
Q32	ジェンダー規範 1	55
Q33	ジェンダー規範 2	58
Q34	自国の経済成長率見通し 1.....	61
Q34_1	自国の経済成長率見通し 2.....	61
Q35	自国の物価上昇率見通し 1.....	63
Q35_1	自国の物価上昇率見通し 2.....	63
Q36	為替見通し.....	66
Q37	RCT：今後の理想的なポートフォリオの内訳	70
Q37_0	何も提示しない	70
Q37_1	自国株価を提示	70
Q37_2	BTC 価格を提示.....	70
Q37_3	物価見通しを提示	70
Q38	投資用不動産の投資動向	75
Q38_1	投資用不動産の投資額	76

I アンケートの概要

1. 目的

- 新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン（SC）、セキュリティトークン（ST）、非代替性トークン（NFT）等）および従来のリスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX 等）について、回答者個人の認知状況、投資経験、過去の投資パフォーマンス、商品についての認識、現在のポートフォリオ、今後の理想的なポートフォリオなどを明らかにする。
- あわせて、回答者の属性（性別、年齢、学歴、配偶者の有無、住居、年収、保有金融資産および負債残高、金融リテラシー、リスク選好、時間選好率、社会規範、金融経済に関する確率的な見通しなど）を明らかにし、上記の資産選択行動にどのような影響を及ぼしているのかを分析する。
- 国内のみならず海外複数国にも同一のアンケートを実施し、国際比較を行う。
- 同様のアンケートを毎年行い、時系列変化を見る。
- 質問項目を追加し、時々に関心に応じた分析を行う。
- 新しいデジタル金融商品等への投資行動に関する研究のインフラを提供する。

2. 調査方法

- 対象者
20 歳以上の個人を対象とした。ただし、関連業種（新聞・放送業/マスコミ・広告/市場調査）の従業者は除外した。
- 対象国
日本、アメリカ、ドイツ、中国を対象とした。
- 実査の方法
調査会社（㈱インテージ）へ委託して実施した。日本については調査会社の WEB モニター、海外については調査会社の協業会社の保有パネルから、ランダムに対象者を抽出し、調査条件に合ったモニターにメールで調査案内を送信した。
- 実査の時期
2024 年 8 月 28 日～10 月 3 日
- 標本サイズとサンプリング
日本: 14,000 人, その他 3 か国: 各 4,000 人、計 26,000 人
年齢層（20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上の 5 区分）と性別（2 区分）の観点で母集団構成比（国際連合 "World Population

Prospects”に準拠)と一致するように割り付けて回収した。

日本の標本のうち4,000人は、4種類の新しいデジタル金融商品(暗号資産、SC、ST、NFT)のうち少なくとも一つを保有した経験があることを条件に標本収集した。本調査では、これを保有前提サンプル、それ以外のものを無条件サンプル(もしくは単にサンプル)と呼ぶが、両者に重複者が生じないようにサンプリングした。

本報告書では、無条件サンプルのみを利用している。

3. 留意点

- 前回からの主な変更点
 - ① 「新しいデジタル金融商品等に関するアンケート調査」(通称：次世代金融アンケート)に改称した。同種の調査としては、2022年度、2023年度に実施した「次世代金融に関する一般消費者の関心や利用度に関するアンケート調査」に続く3回目の調査となる。
 - ② 無条件サンプルについて、昨年度は年齢層・性別10区分ごとに1000人のサンプルを回収し、各区分の構成比に応じて補正して集計していたが、今回は母集団構成比と一致するように割り付けて回収して集計した。
 - ③ 回答者負担軽減の観点から、質問項目を大幅に削減する一方、金融経済に関する確率的な見通し等の質問項目を追加した。また、株価等の情報が今後の理想的なポートフォリオに与える影響についてランダム化比較試験(Randomized Controlled Trial, RCT)を実施した。
- 本報告書の研究は、SBI金融経済研究所における研究倫理審査委員会の審議により、承認(2024年8月1日)を受けて実施している。
- 転載・複製・引用を行う際には、出所を明記されたい。
- 学術研究を目的とした個票データの利用については、下記に相談されたい。

問い合わせ先

SBI金融経済研究所

住所 〒106-6019 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー19F

電話 03-6229-1001(代表)

担当 増島・難波

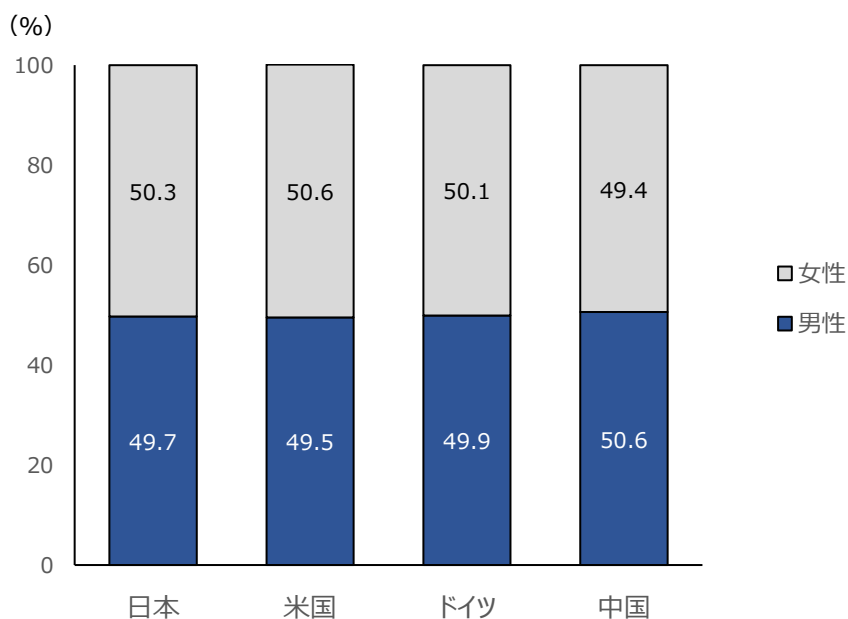
II 調査結果

1. 対象者の属性

Q1. 性別

【質問】

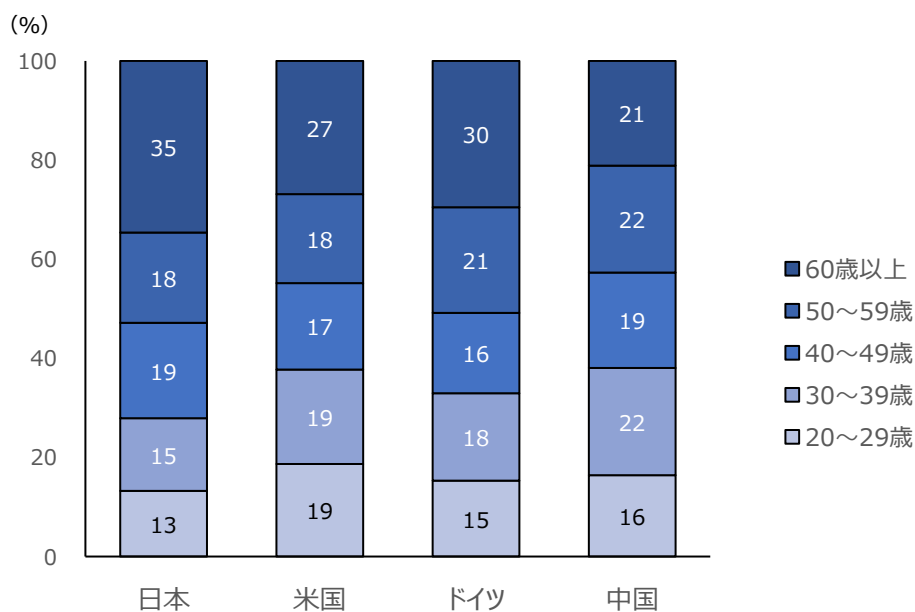
- あなたの性別をお答えください。



Q2. 年齢

【質問】

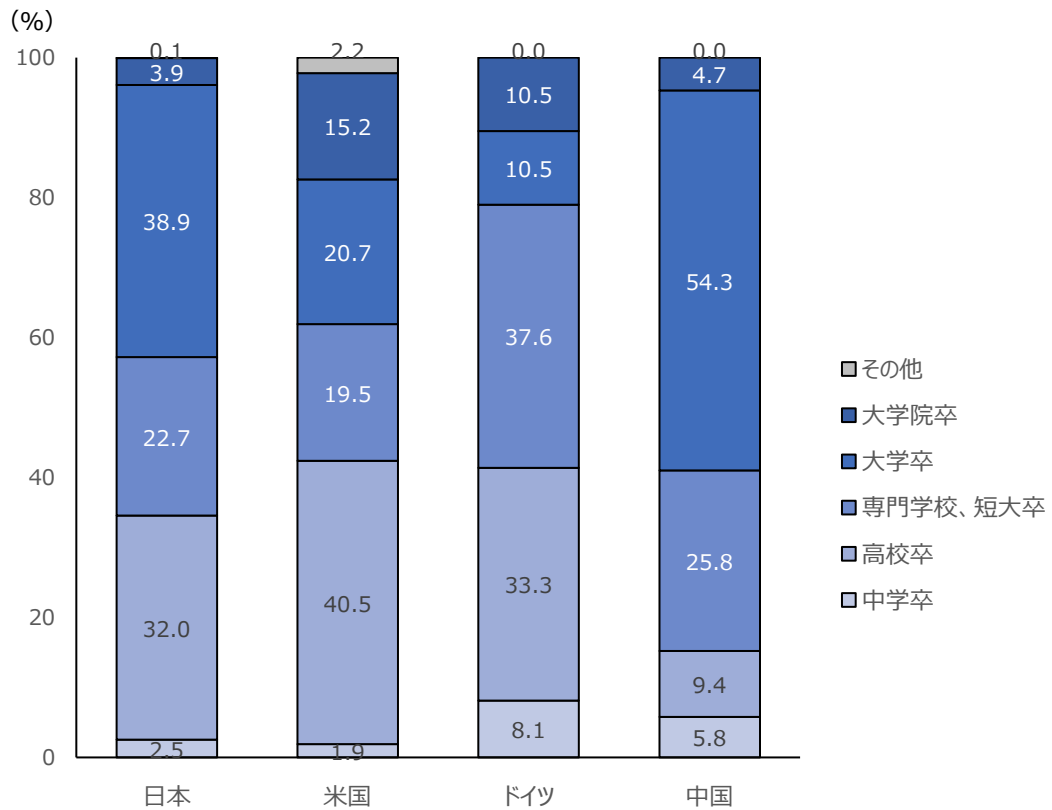
- あなたの年齢をお答えください。



Q3. 学歴

【質問】

- あなたの学歴をお答えください。在学中・中退の場合は最終卒業学歴でお答え下さい。



注 1) 各国の学校制度が異なるため、日本の実態に近くなるよう各国別に調整

注 2) 日本の「専門学校、短大卒」は高専卒を含む

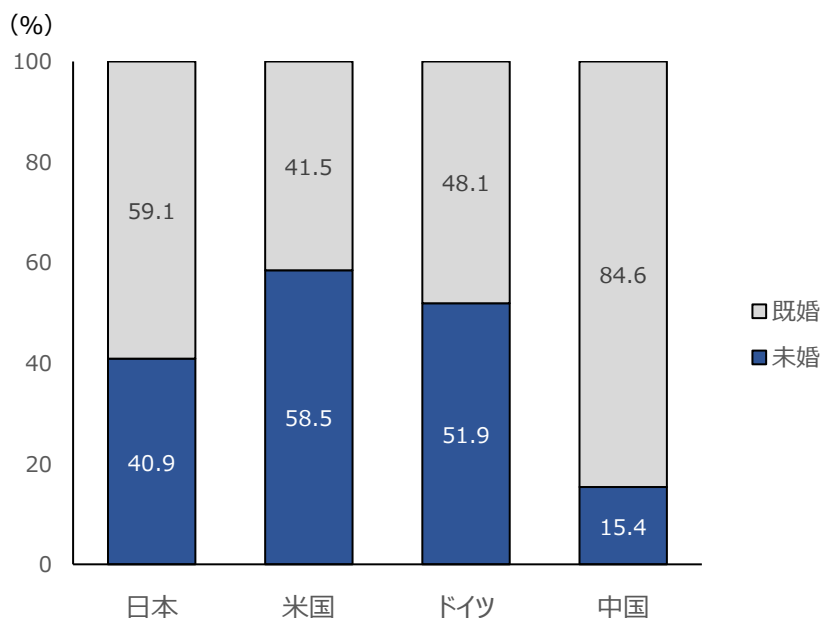
注 3) ドイツの「高校卒」は大学入学資格を含む。「専門学校、短大卒」は高等専門学校卒を含む

注 4) 中国の「専門学校、短大卒」は職業学校卒と高等専門学校卒を含む

Q4. 婚姻

【質問】

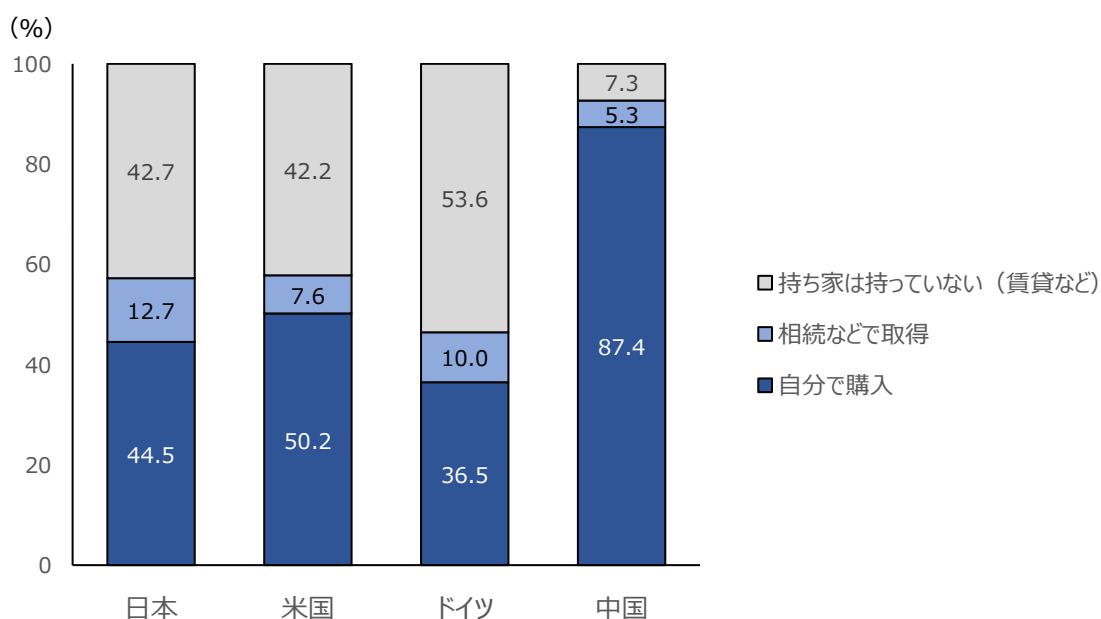
- あなたの現在の婚姻状況をお答えください。



Q5. 持ち家の有無

【質問】

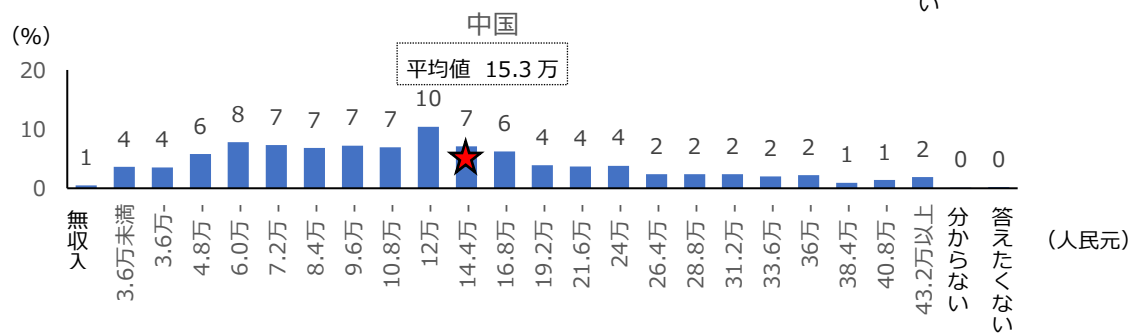
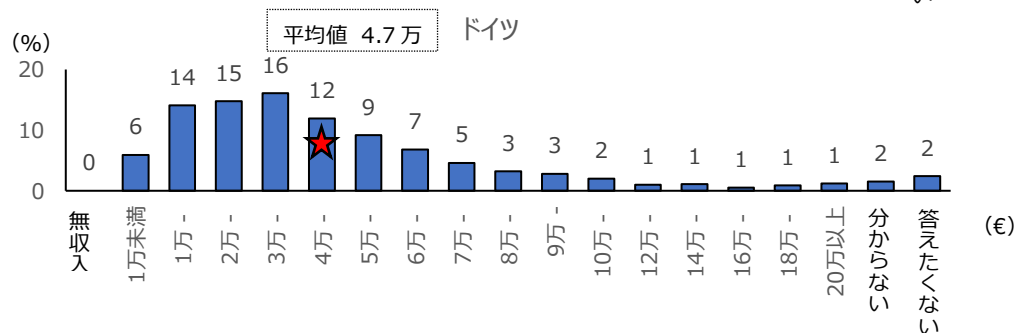
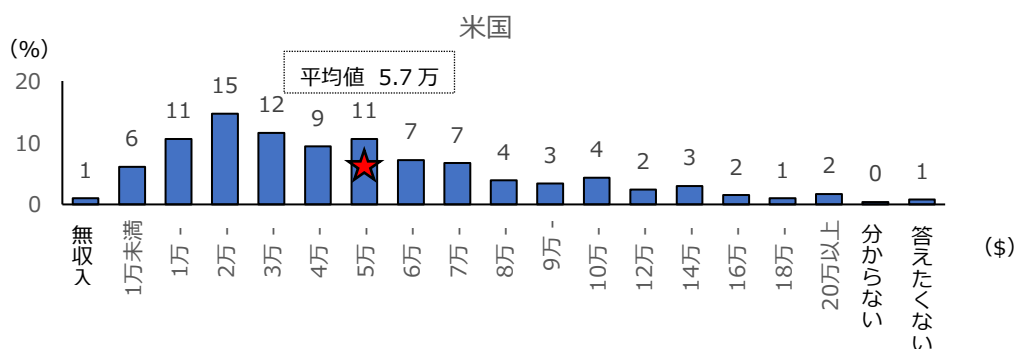
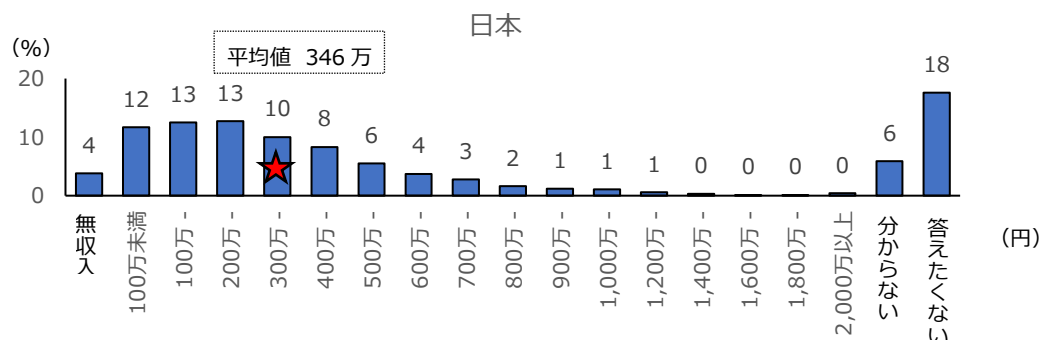
- あなたはご自身や家族で住むための住宅（マンション等を含む）をお持ちでしょうか。自分や家族で利用しない、投資用の住宅は含めずにお答えください。
※登記が済んでいない場合や、住宅ローンなどの支払いが完了していない場合も含めてお考えください。



Q6. 年収

【質問】

- あなたご自身の昨年 1 年間の年収（税金支払い前）の総額をお答えください。



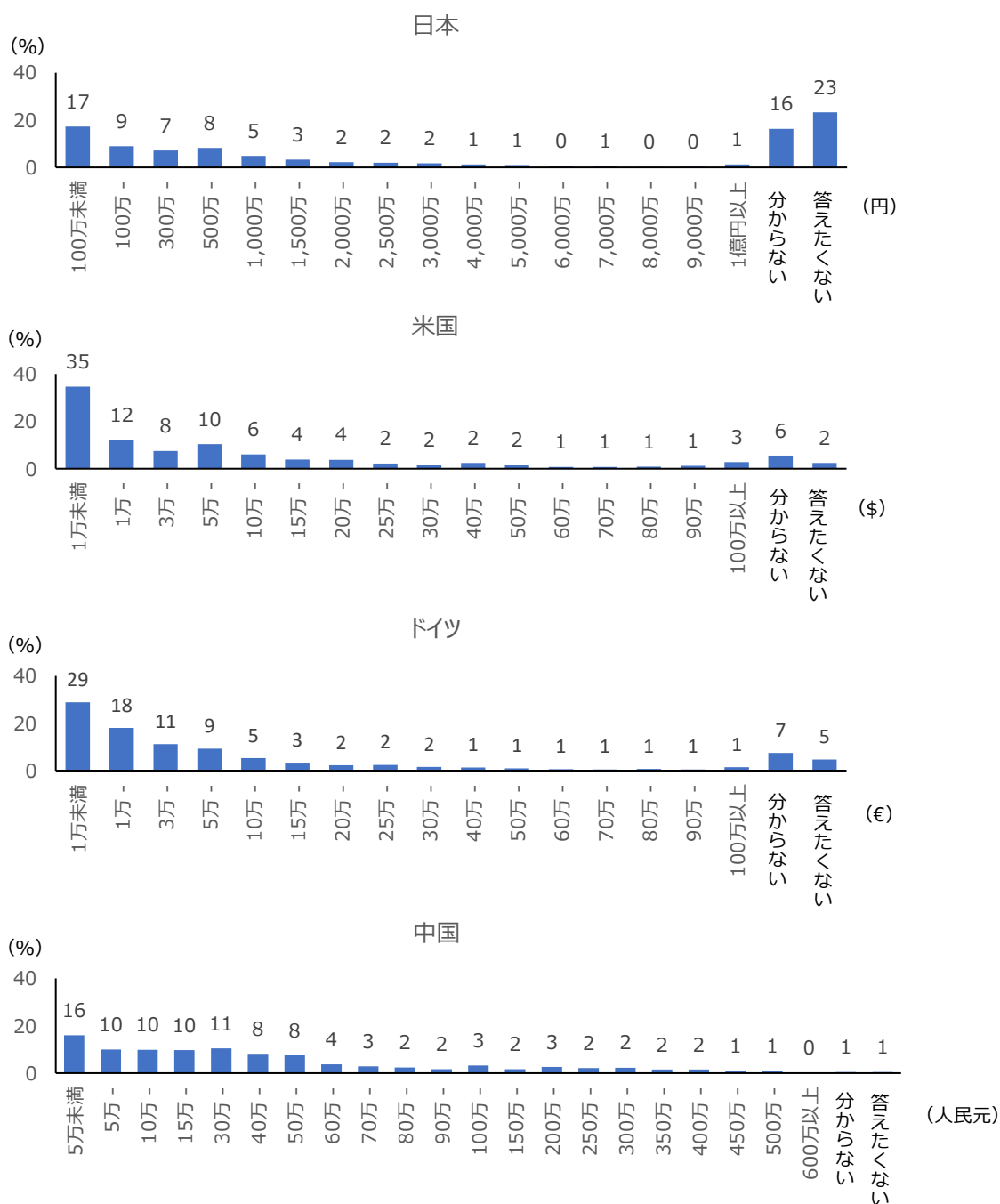
注 1) 中国については、設問で月収を尋ねているため 12 か月分を表記している

注 2) 星印は簡便に計算した各国サンプルの平均所得

Q7. 保有金融資産残高

【質問】

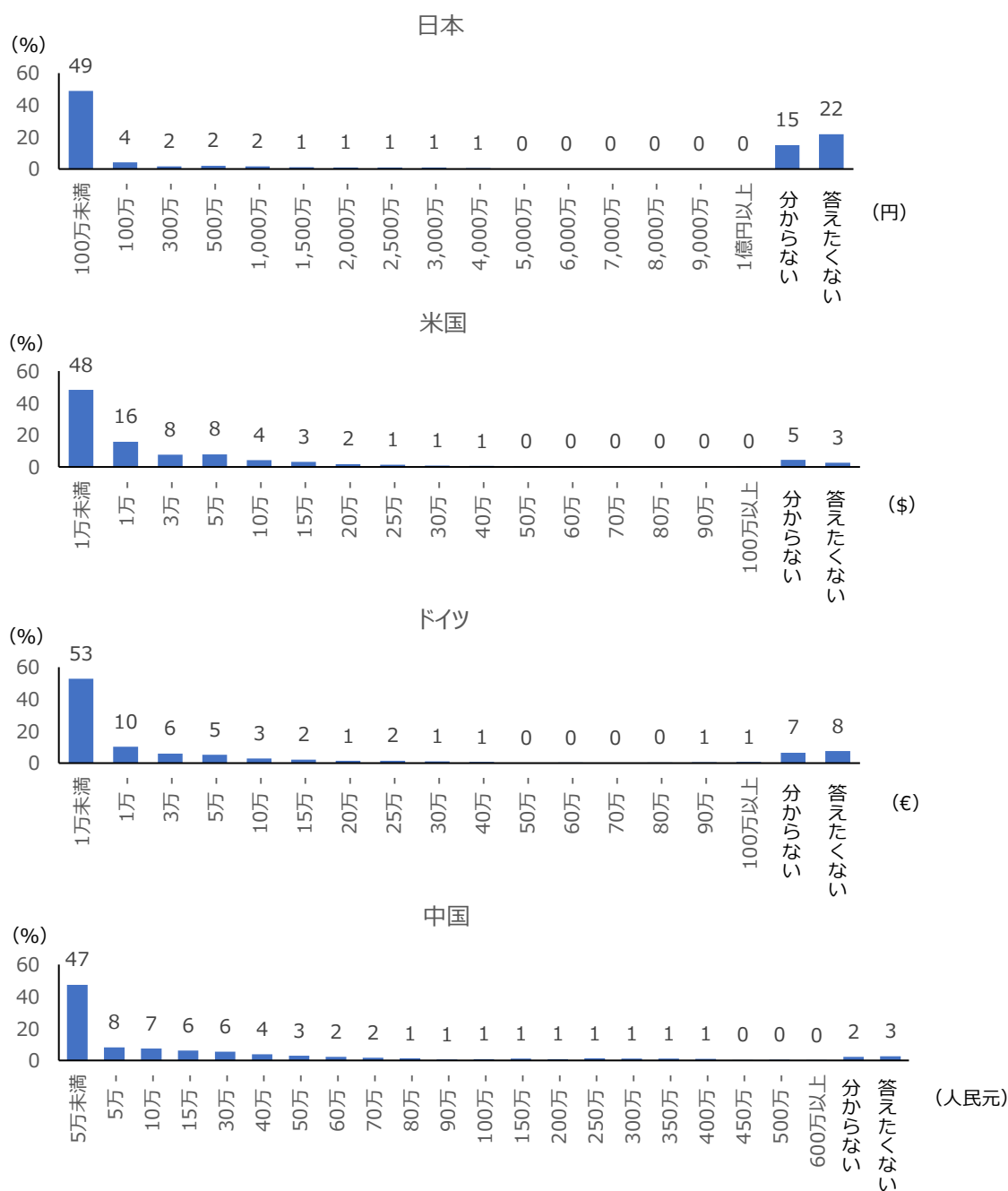
- あなたが保有している金融資産残高はおいくらですか。もっとも近いと考えられる額をお選び下さい。
 ※暗号資産等のデジタル金融商品を含む。ただし生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
 ※借入金があっても、その金額を引き算する必要はありません。



Q8. 保有負債残高

【質問】

- 差し支えなければ、あなたが持っている借入金・負債残高はおいくらですか。もっとも近いと考えられる額をお選び下さい。



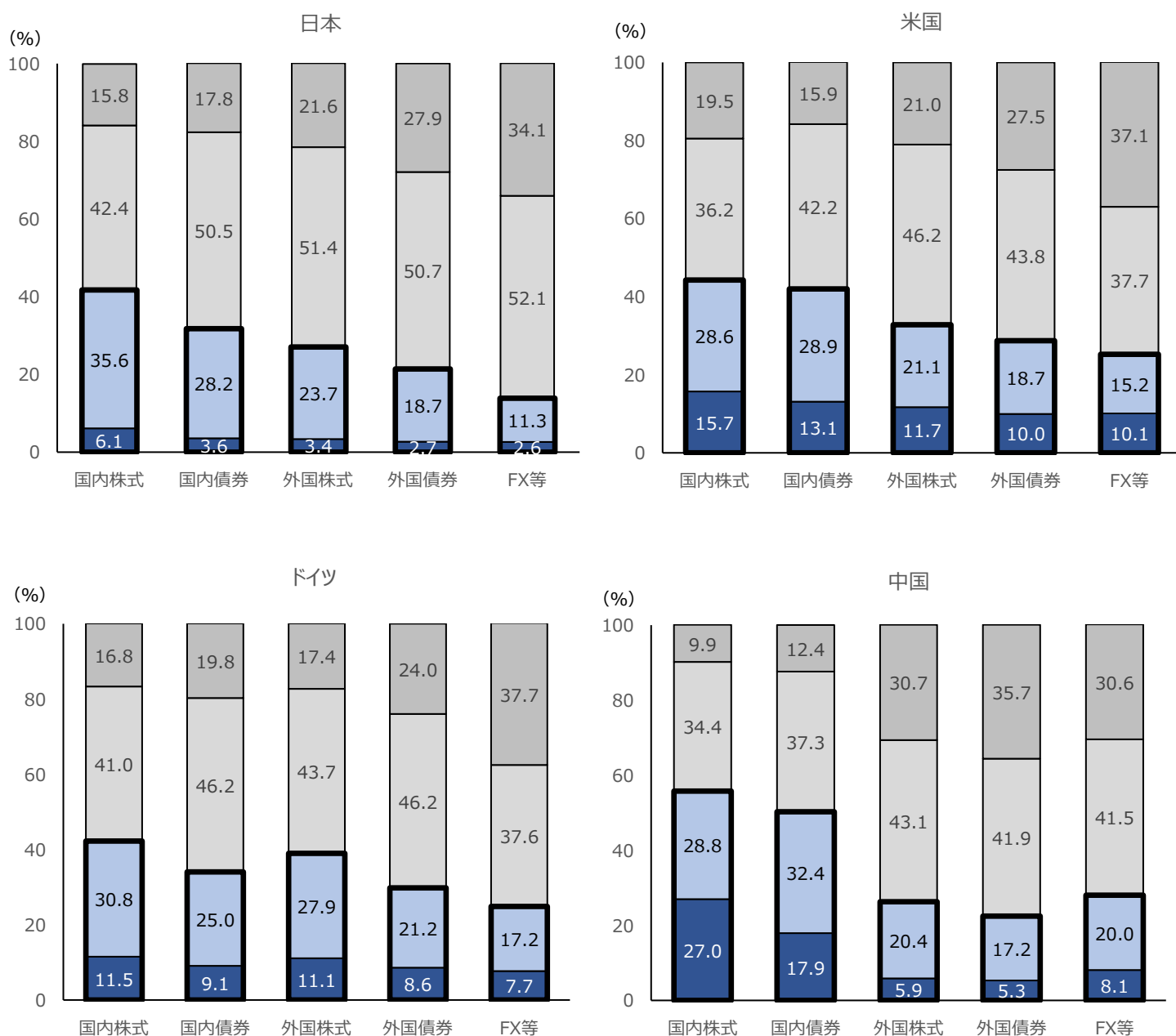
2. リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX等）

Q9. リスク性金融商品の認知度

【質問】

- 次に挙げる金融商品について、あなたはそれぞれの程度ご存知ですか。

- 知らない/聞いたことがない
- 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 他人に教えられるほどではないが、ある程度の知識はある
- 他人に教えられるほど、詳しく知っている

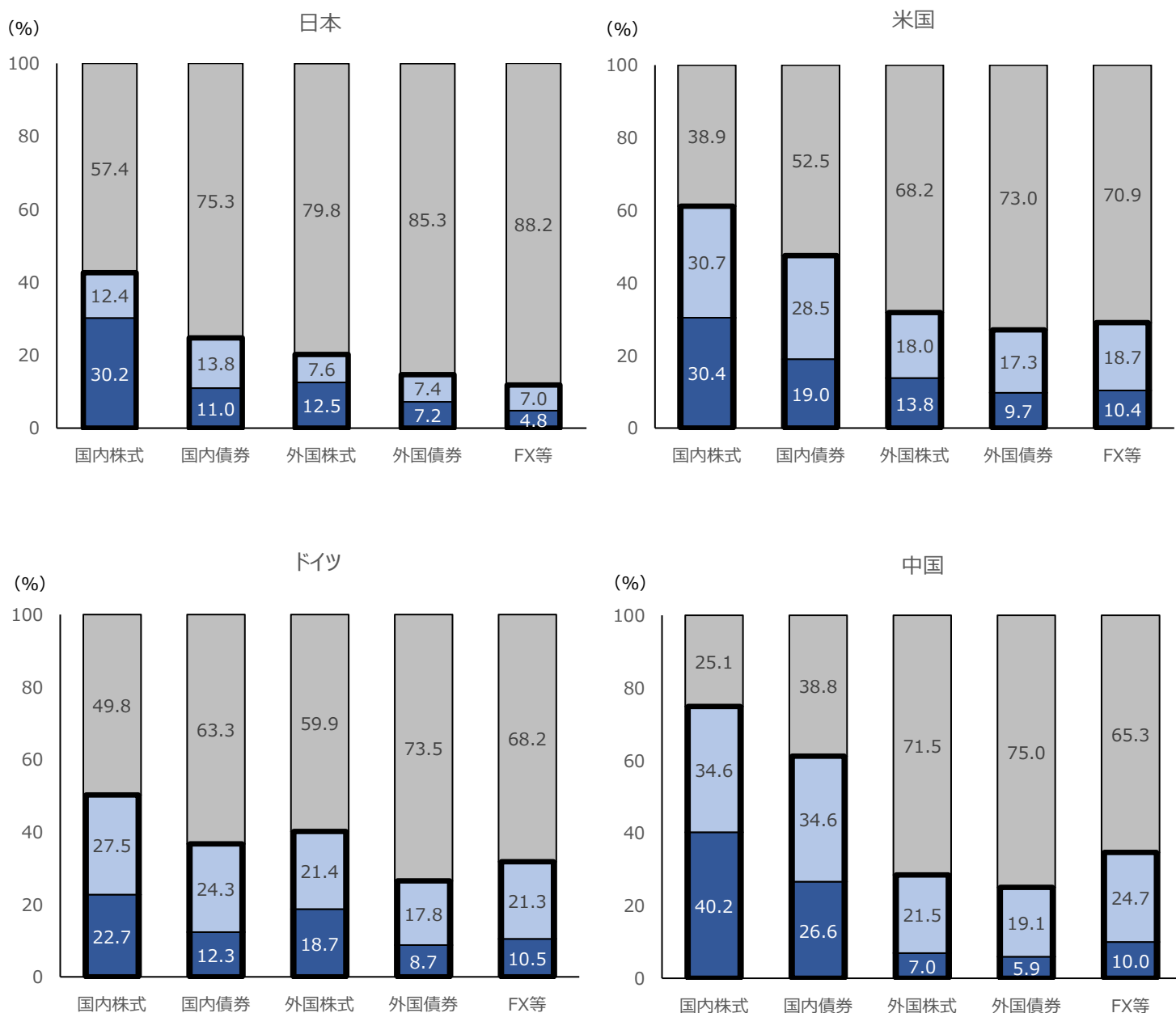


Q10. リスク性金融商品の投資経験

【質問】

- 次に挙げる金融商品について、あなたの投資経験をお答え下さい。

- 投資したことはない
- 投資したことはあるが、現在は保有していない
- 現在保有している

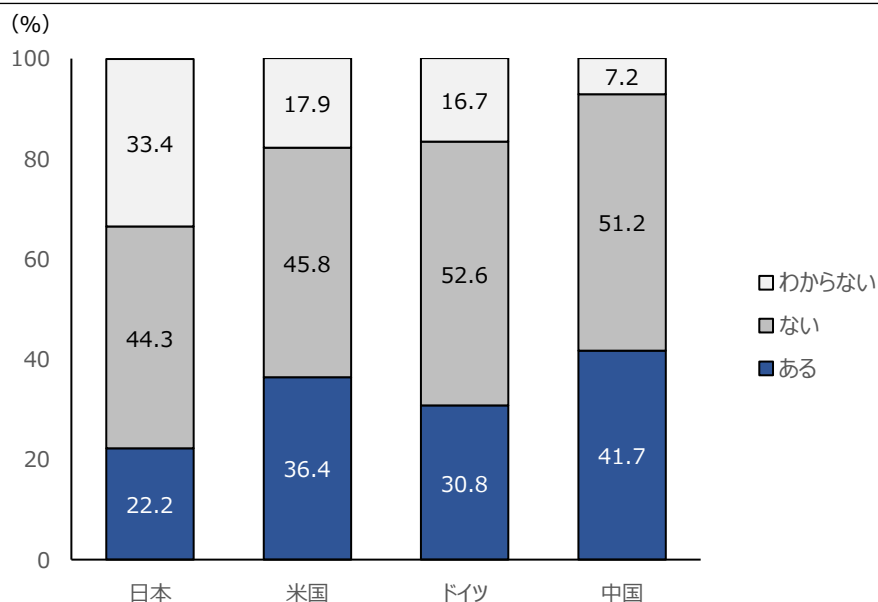


注) Q9で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者には質問していない

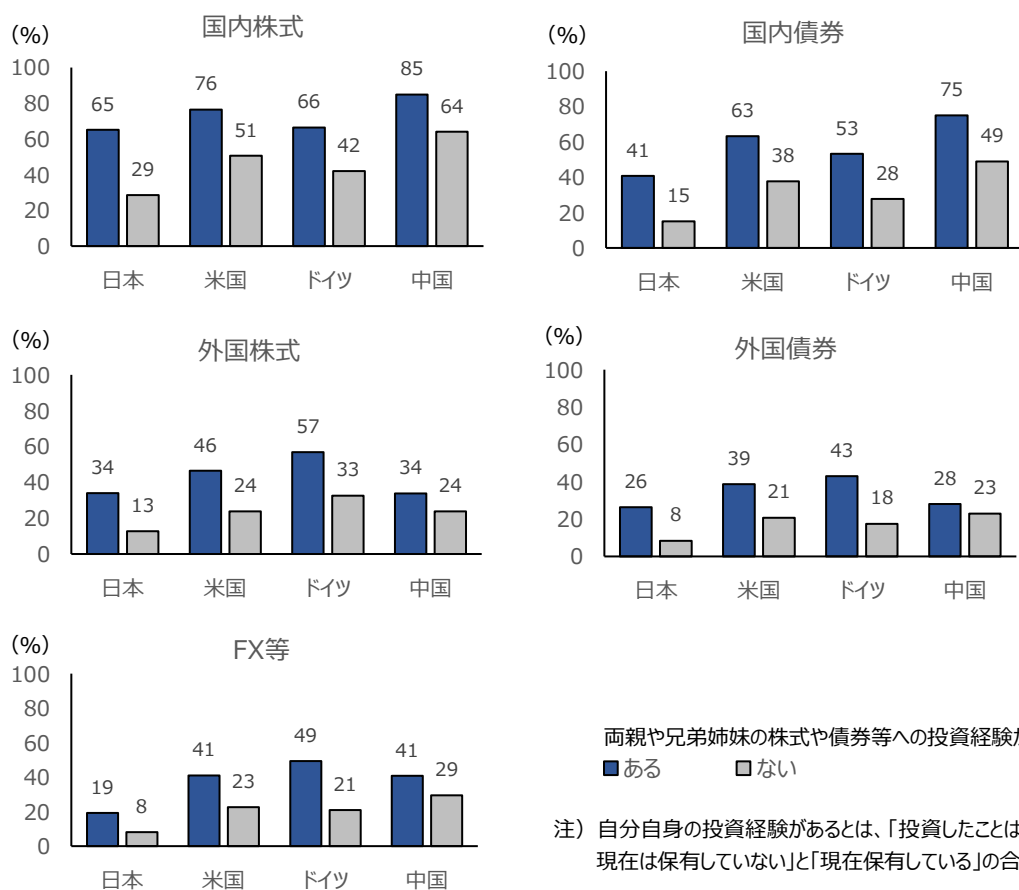
Q11. 両親や兄弟姉妹の投資経験

【質問】

- あなたの両親や兄弟姉妹は株式や債券等への投資経験がありますか。



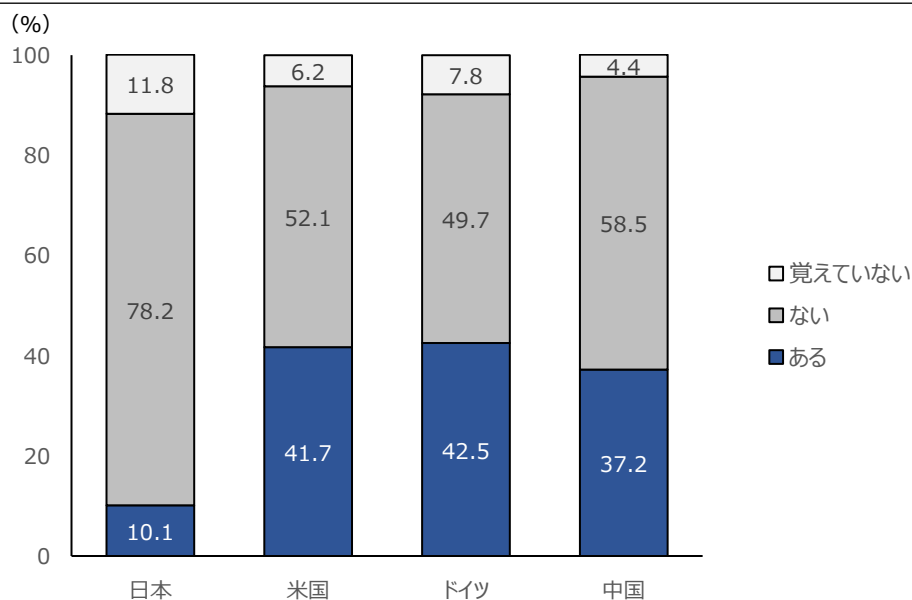
Q11 で両親や兄弟姉妹の株式や債券等への投資経験がある・ないを条件とした Q10 で自分自身の投資経験がある者の割合



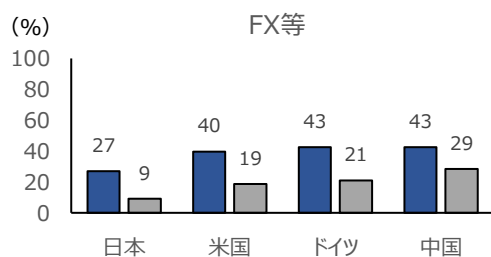
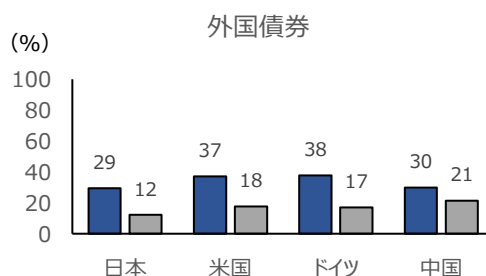
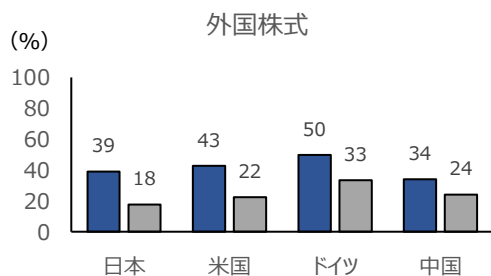
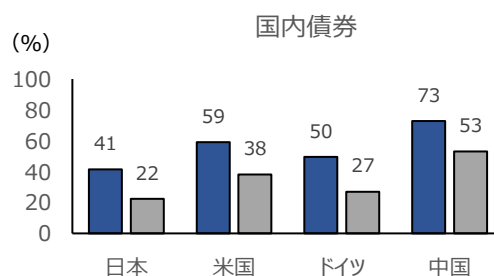
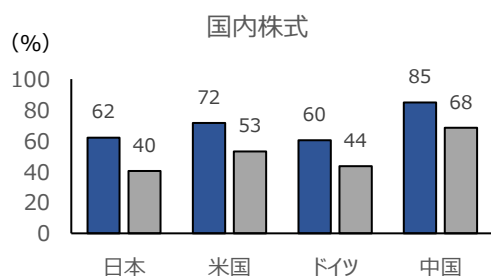
Q12. 金融教育を受けた経験

【質問】

- あなたは家庭や学校、職場等で金融教育を受けた経験がありますか。
※金融教育とは、経済政策や資産管理、金融トラブルなどお金の働き全般について学ぶ、教育プログラムです。



Q12で金融教育を受けた経験がある・ないを条件としたQ10で自分自身の投資経験がある者の割合



金融教育を受けた経験が
■ある ■ない

注) 自分自身の投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

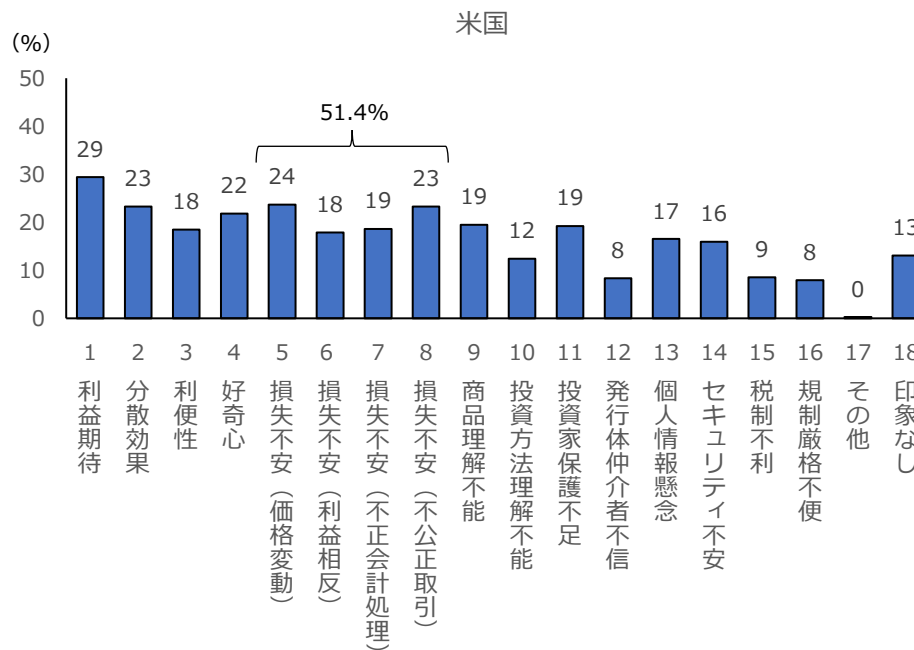
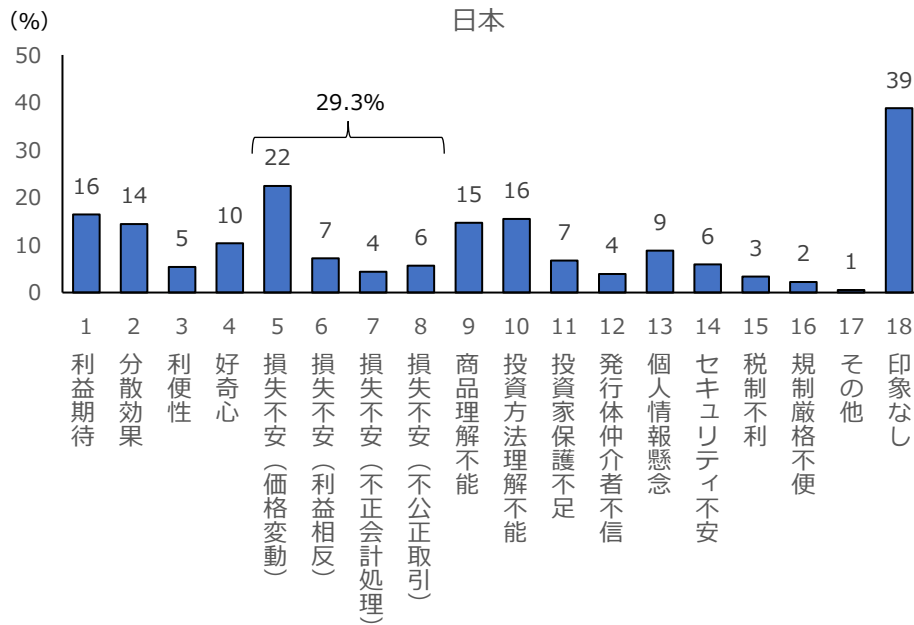
Q13. 国内株式・国内株式投資信託に対する認識

【質問】

- あなたは、国内株式および主に国内株式で運用する投資信託（いずれも自国通貨建てのもの）について、どのように思われますか。（複数回答可）

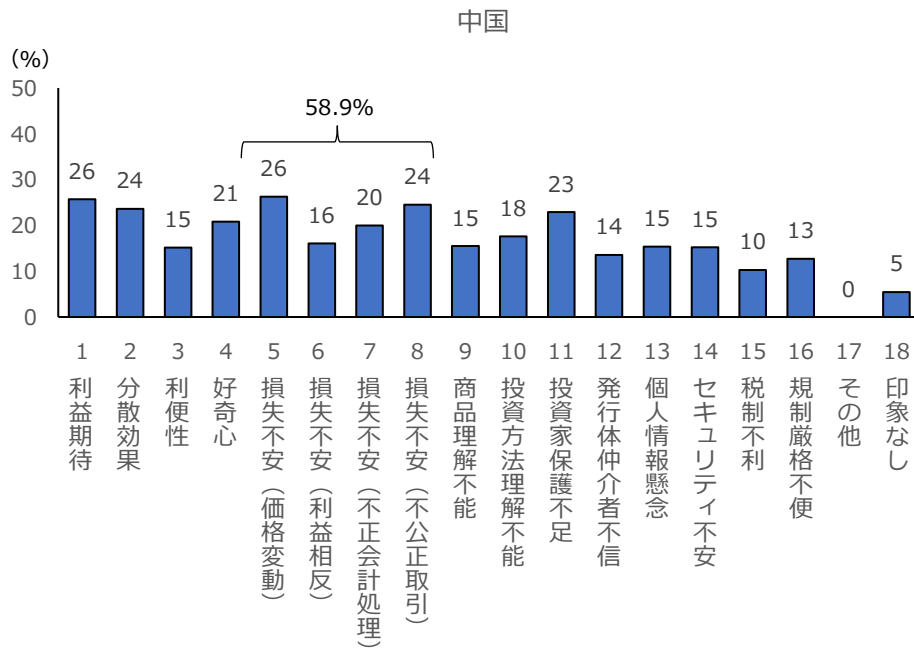
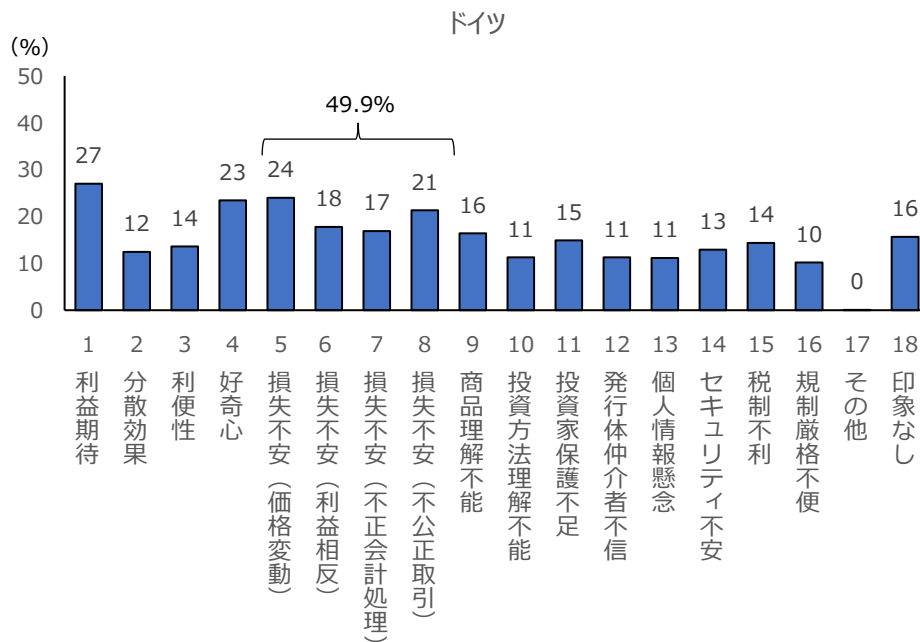
Q13、Q14、Q15 の回答の選択肢

- 1 利益が期待できる
- 2 投資対象を値動きの異なる金融商品に分散することで、投資のリスクを低減する効果がある
- 3 利便性が高い
- 4 商品に対する好奇心がある
- 5 価格変動が大きいことに不安がある
- 6 仲介業者の利益相反によって損失が生じることに不安がある
- 7 発行体の不正な会計処理（粉飾決算等）によって損失が生じることに不安がある
- 8 投資家の不公正取引（インサイダー取引等）によって損失が生じることに不安がある
- 9 商品の仕組みやリスクなどが理解できない
- 10 投資方法/利用方法が難解、使いこなせないことへの不安がある
- 11 投資家保護・消費者保護が十分でないおそれがある
- 12 発行体や仲介業者が信用できない
- 13 個人情報の漏洩が不安
- 14 本人認証の悪用・なりすまし詐欺等への不安がある
- 15 税制上不利な扱いをされる
- 16 規制が厳しくて使いにくい
- 17 その他
- 18 特に印象はない



注 1) Q9 で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者には質問していない

注 2) 損失不安 (選択肢 5~8) のいずれかを回答した者の割合は、日本 29.3%、米国 51.4%、ドイツ 49.9%、中国 58.9%



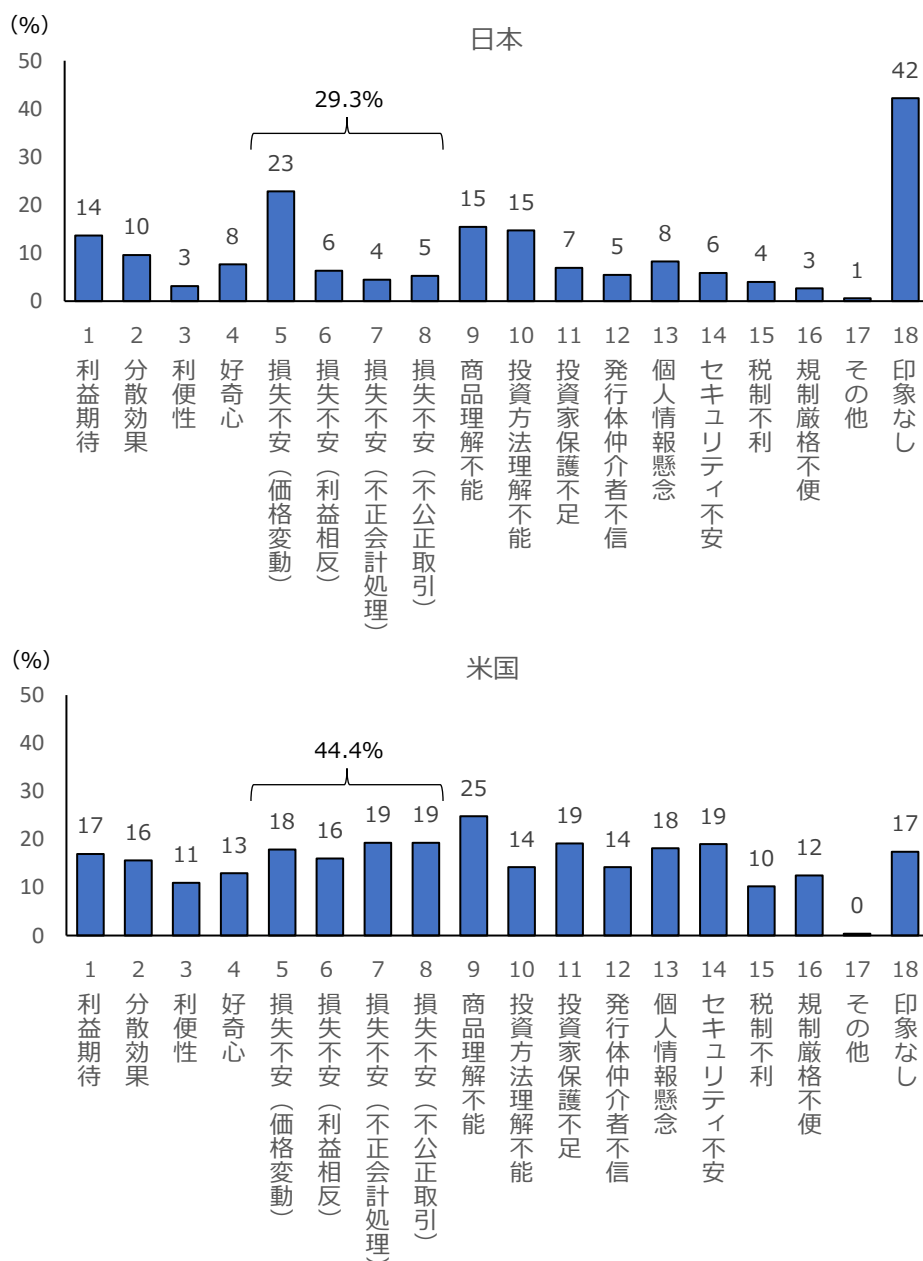
上位3項目

	1位	2位	3位
日本	印象なし	損失不安 (価格変動)	利益期待
米国	利益期待	損失不安 (価格変動)	分散効果
ドイツ	利益期待	損失不安 (価格変動)	好奇心
中国	損失不安 (価格変動)	利益期待	損失不安 (不正取引)

Q14. 外国株式・外国株式投資信託に対する認識

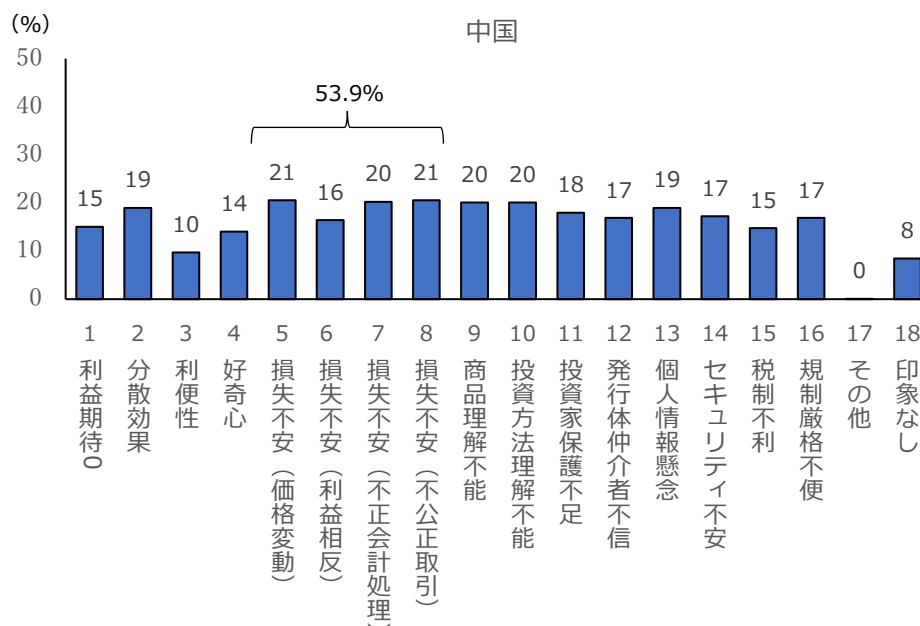
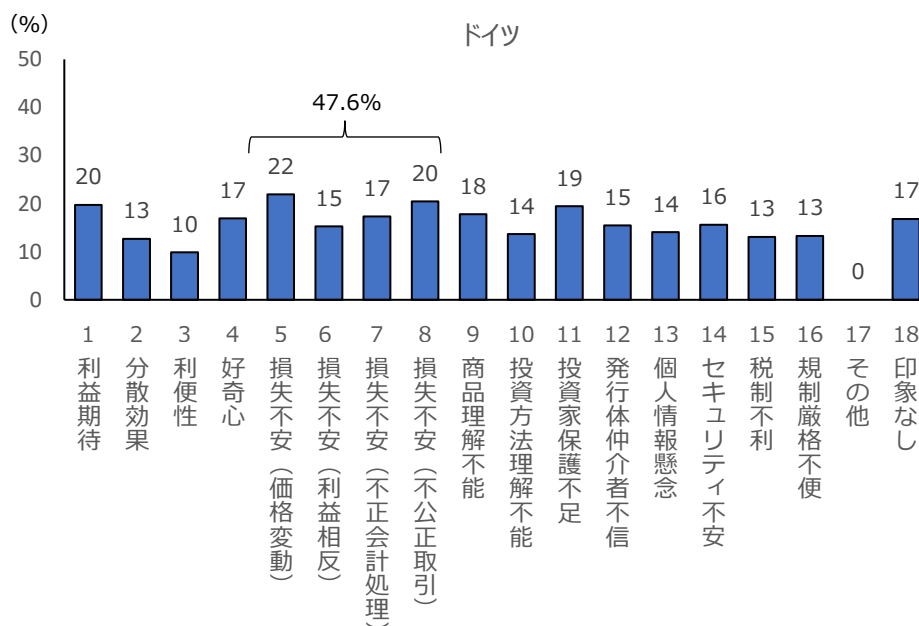
【質問】

- あなたは、【外国株式および主に外国株式で運用する投資信託（いずれも外国通貨建てのもの）】について、どのように思われますか。（複数回答可）



注 1) Q9 で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者には質問していない

注 2) 損失不安（選択肢 5～8）のいずれかを回答した者の割合は、日本 29.3%、米国 44.4%、ドイツ 47.6%、中国 53.9%



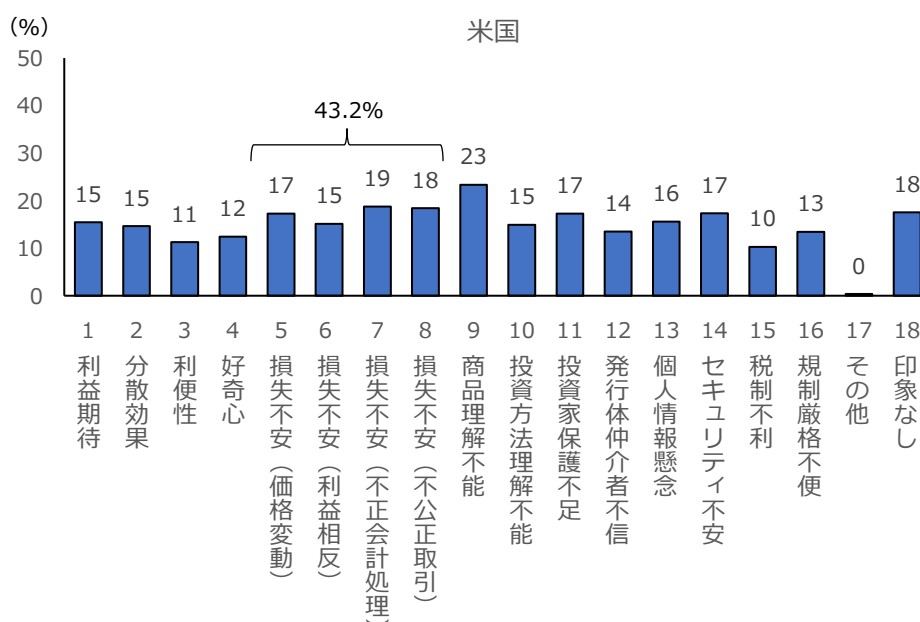
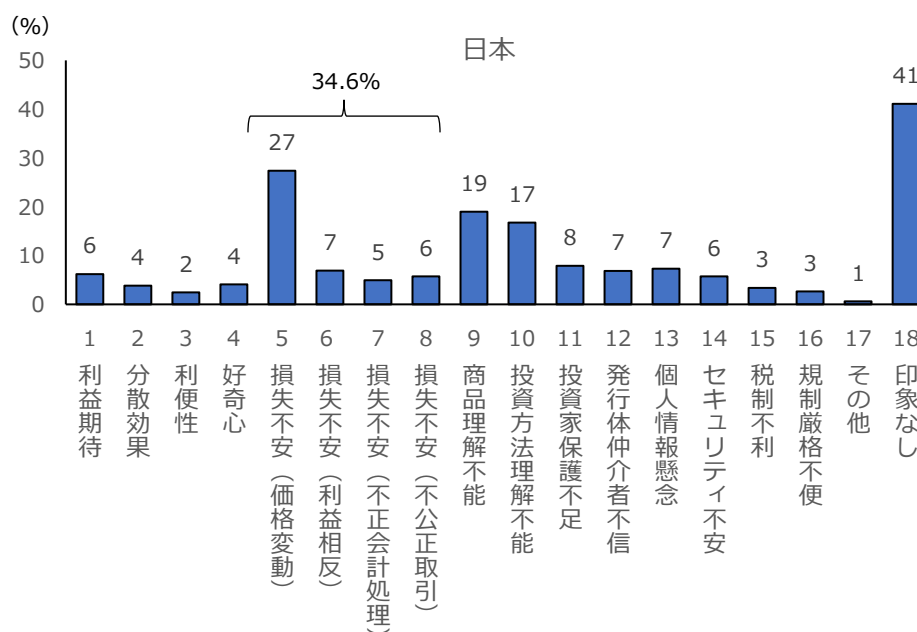
上位3項目

	1位	2位	3位
日本	印象なし	損失不安 (価格変動)	商品理解不能
米国	商品理解不能	損失不安 (不正会計処理)	損失不安 (不公正取引)
ドイツ	損失不安 (価格変動)	損失不安 (不公正取引)	利益期待
中国	損失不安 (価格変動)	損失不安 (不公正取引)	損失不安 (不正会計処理)

Q15. 為替デリバティブに対する認識

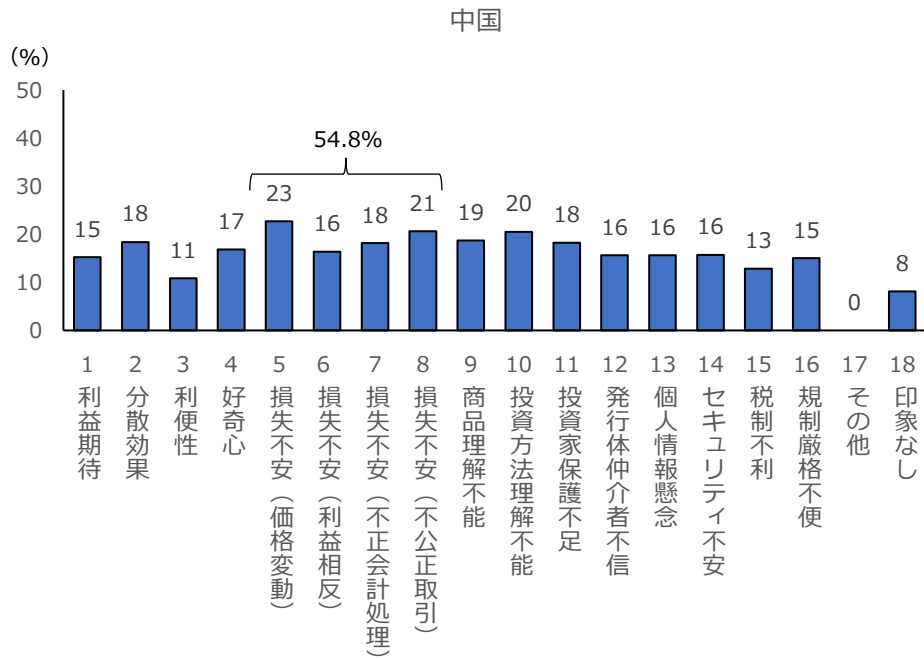
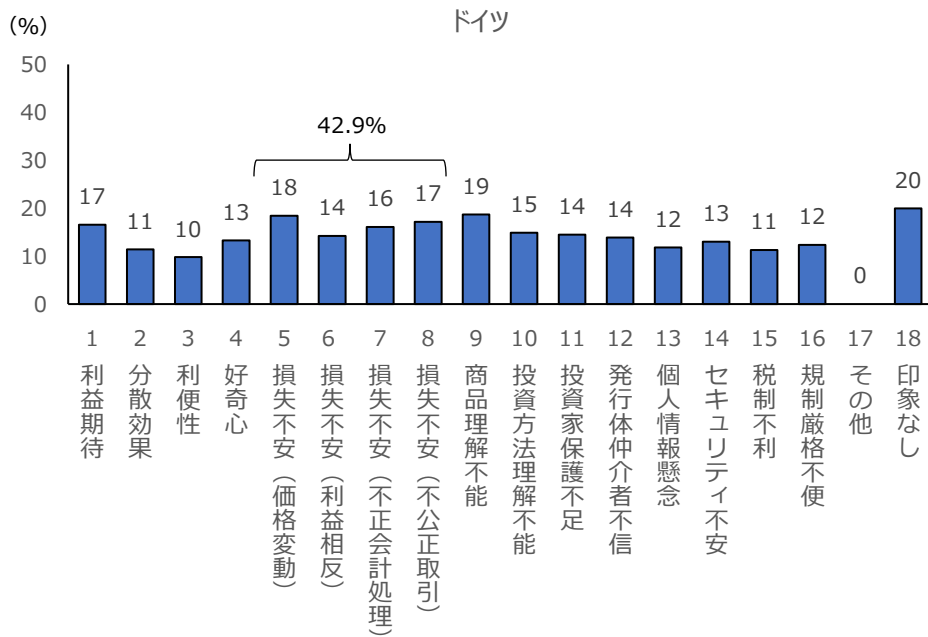
【質問】

- あなたは、FX 等の為替先物・オプションについて、どのように思われますか。（複数回答可）



注 1) Q9 で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者には質問していない

注 2) 損失不安（選択肢 5～8）のいずれかを回答した者の割合は、日本 34.6%、米国 43.2%、ドイツ 42.9%、中国 54.8%



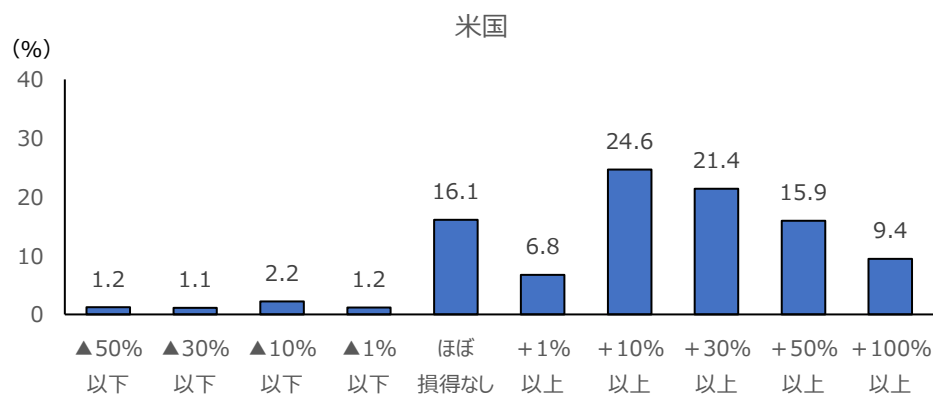
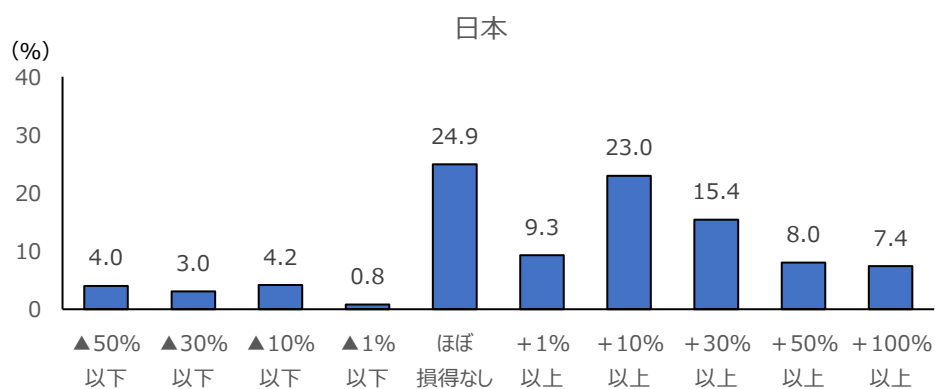
上位3項目

	1位	2位	3位
日本	印象なし	損失不安 (価格変動)	商品理解不能
米国	商品理解不能	損失不安 (不正会計処理)	損失不安 (不正取引)
ドイツ	印象なし	商品理解不能	損失不安 (価格変動)
中国	損失不安 (価格変動)	損失不安 (不正取引)	投資方法理解不能

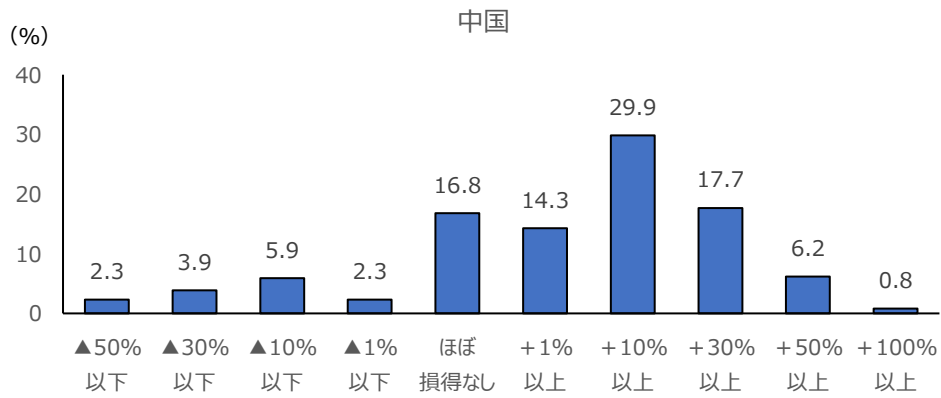
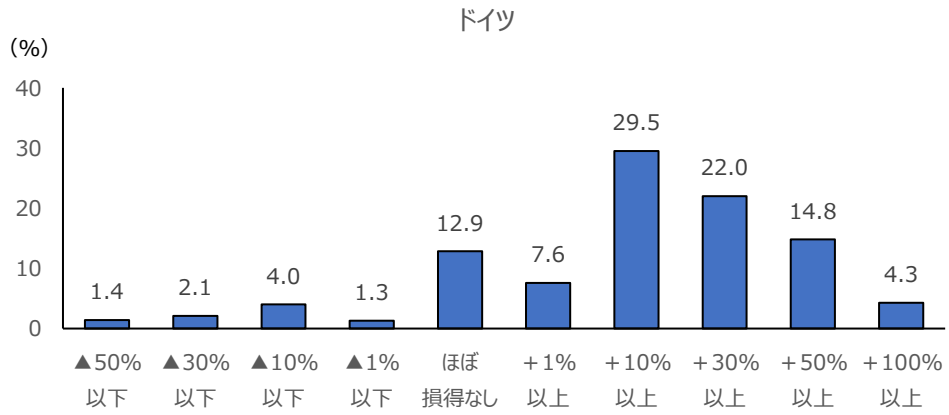
Q16-1. 投資開始時からの平均的な投資損益（国内株式）

【質問】

- 国内株式および主に国内株式で運用する投資信託（いずれも自国通貨建てのもの）について、投資を始めてからこれまでを通しての投資損益（利回り）として最も近いものをお選び下さい。



注) Q10 で「投資したことはない」を選択した回答者には質問していない



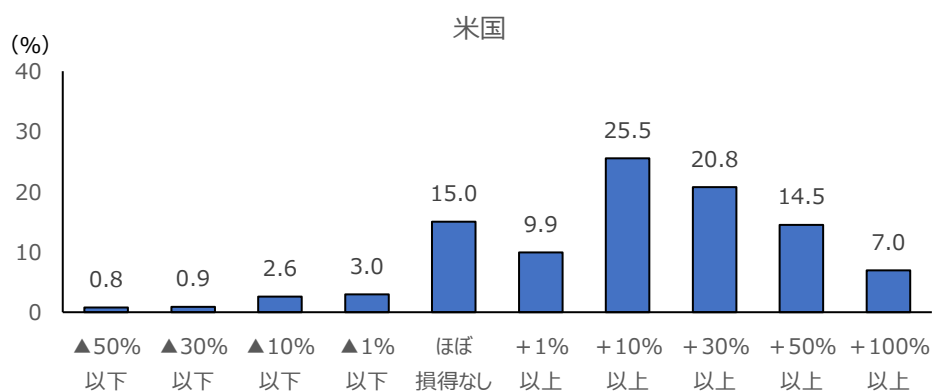
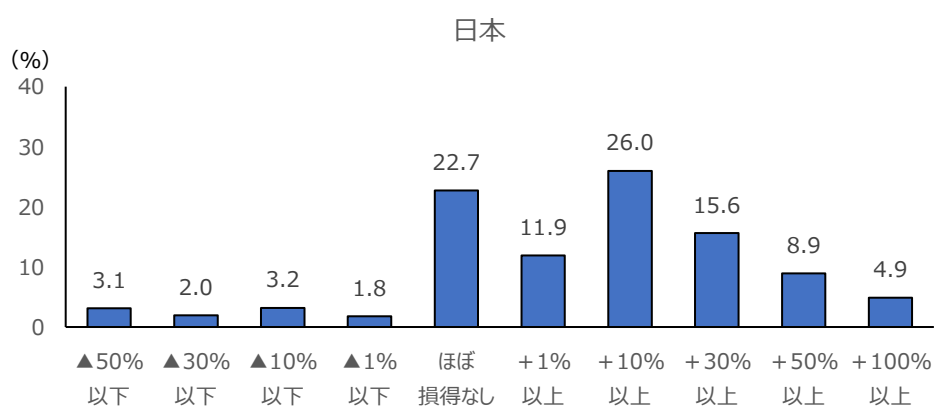
3区分集計 (%)

	マイナス	0~30%	30%以上
日本	12	57	31
米国	6	47	47
ドイツ	9	50	41
中国	14	61	25

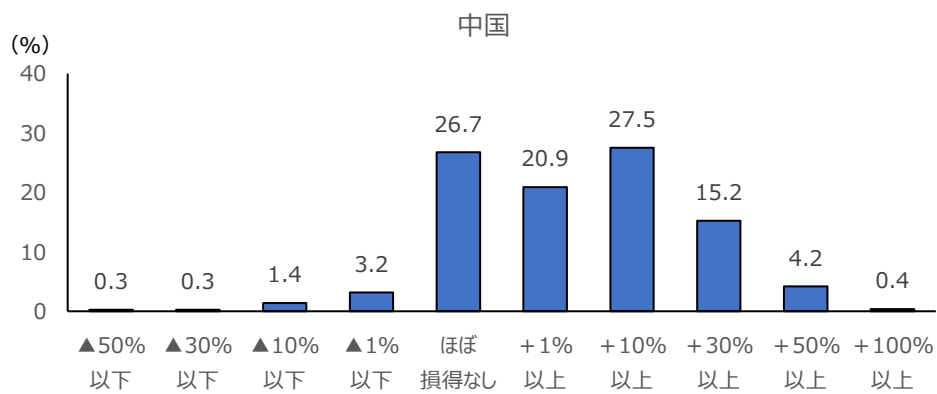
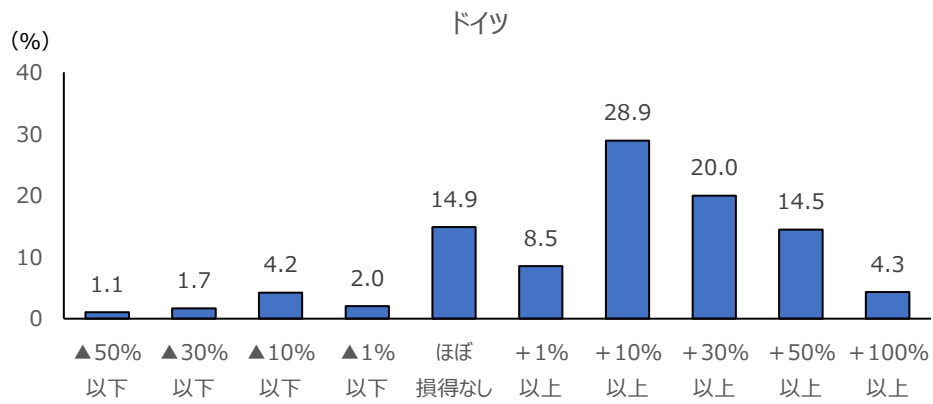
Q16-2. 投資開始時からの平均的な投資損益（外国株式）

【質問】

- 外国株式および主に外国株式で運用する投資信託（いずれも外国通貨建てのもの）について、投資を始めてからこれまでを通しての投資損益（利回り）として最も近いものをお選び下さい。



注) Q10 で「投資したことはない」を選択した回答者には質問していない

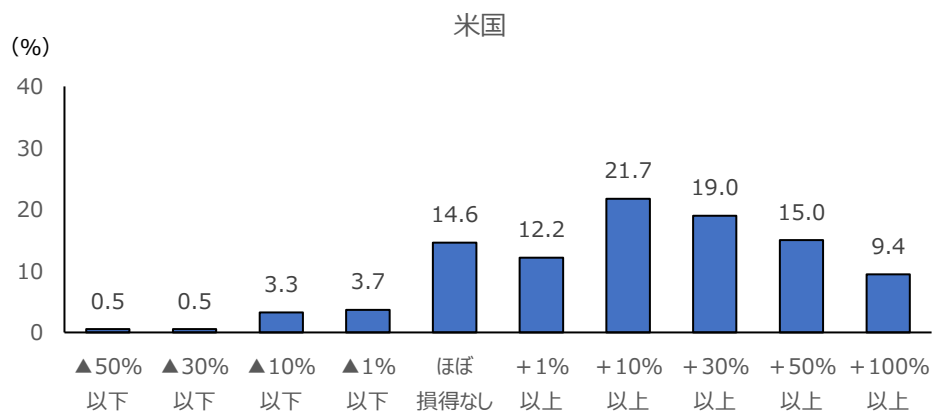
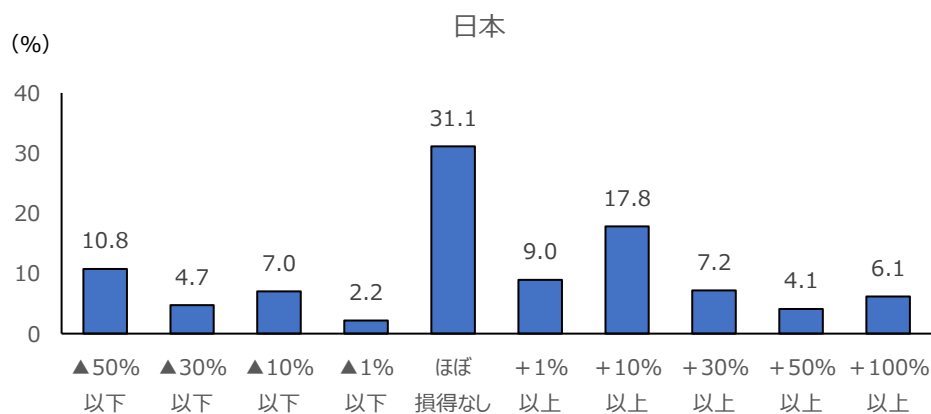


3区分集計 (%)			
	マイナス	0~30%	30%以上
日本	10	61	29
米国	7	50	42
ドイツ	9	52	39
中国	5	75	20

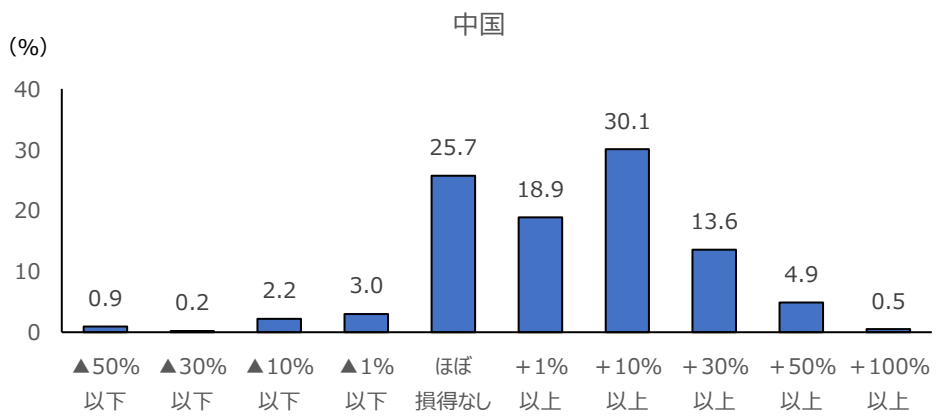
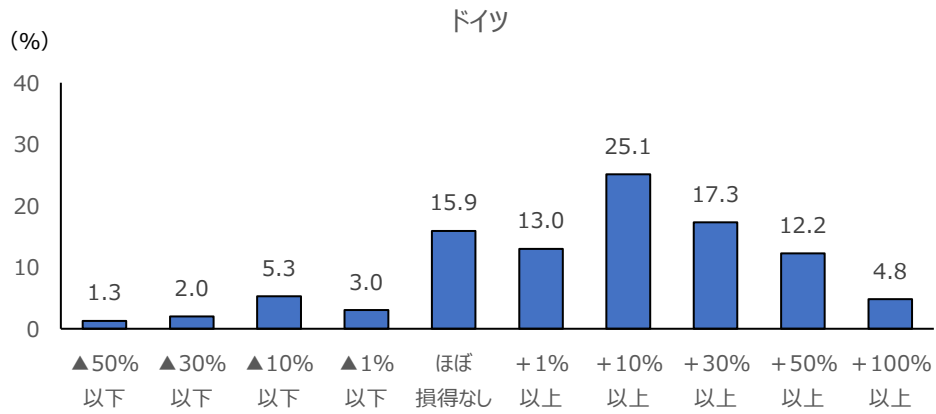
Q16-3. 投資開始時からの平均的な投資損益（FX 等）

【質問】

- FX 等の為替先物・オプションについて、投資を始めてからこれまでを通しての投資損益（利回り）として最も近いものをお選び下さい。



注) Q10 で「投資したことはない」を選択した回答者には質問していない



3区分集計	(%)		
	マイナス	0～30%	30%以上
日本	25	58	17
米国	8	48	43
ドイツ	12	54	34
中国	6	75	19

3. 新しいデジタル金融商品（暗号資産、SC、ST、NFT）

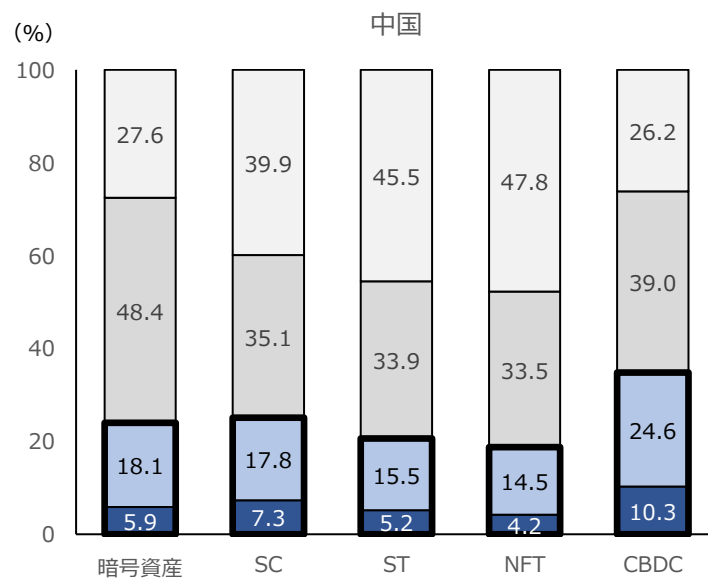
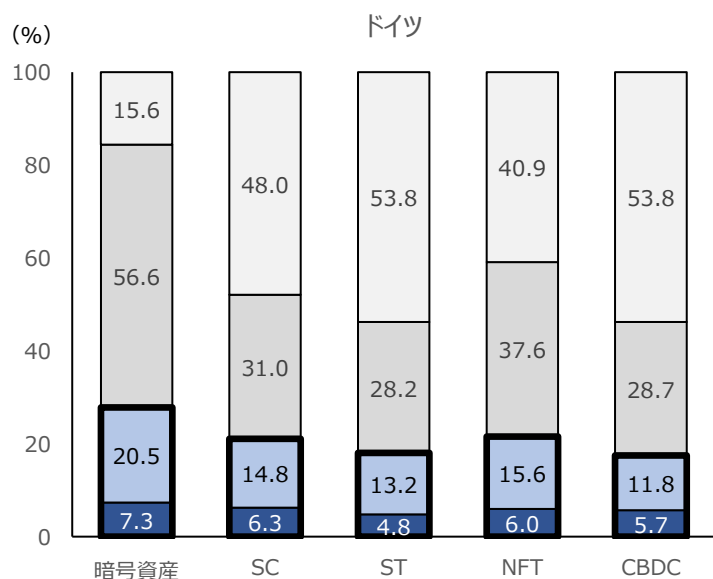
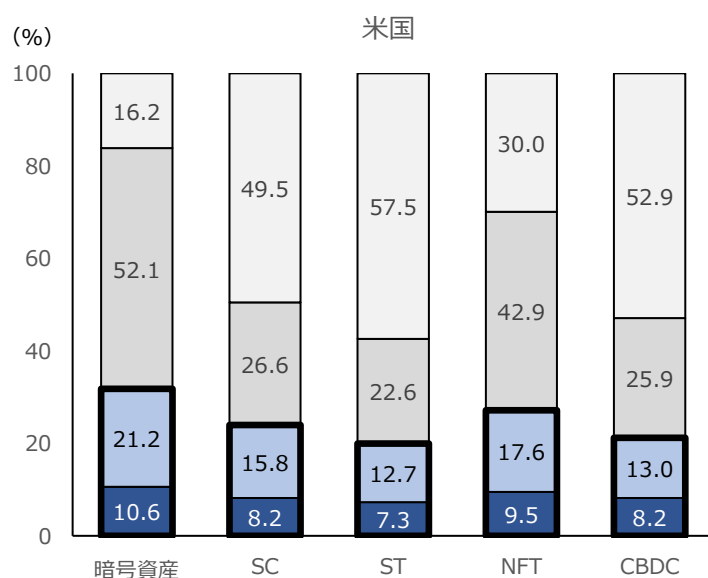
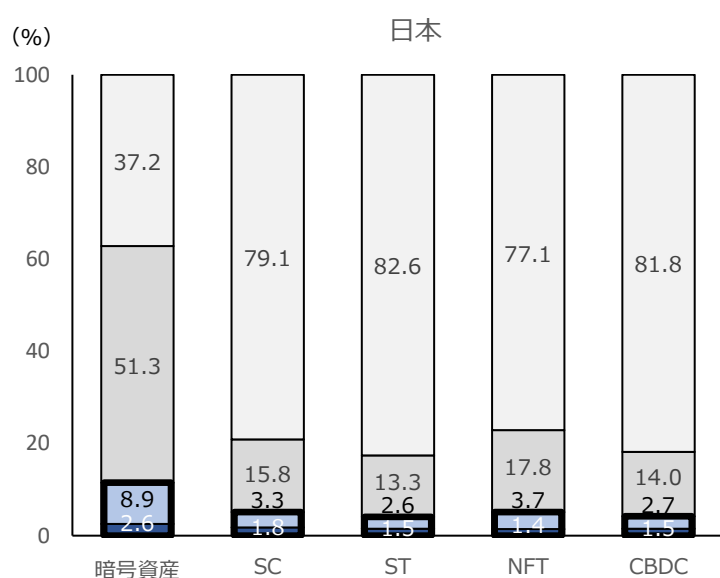
Q17. 新しいデジタル金融商品の認知度

【質問】

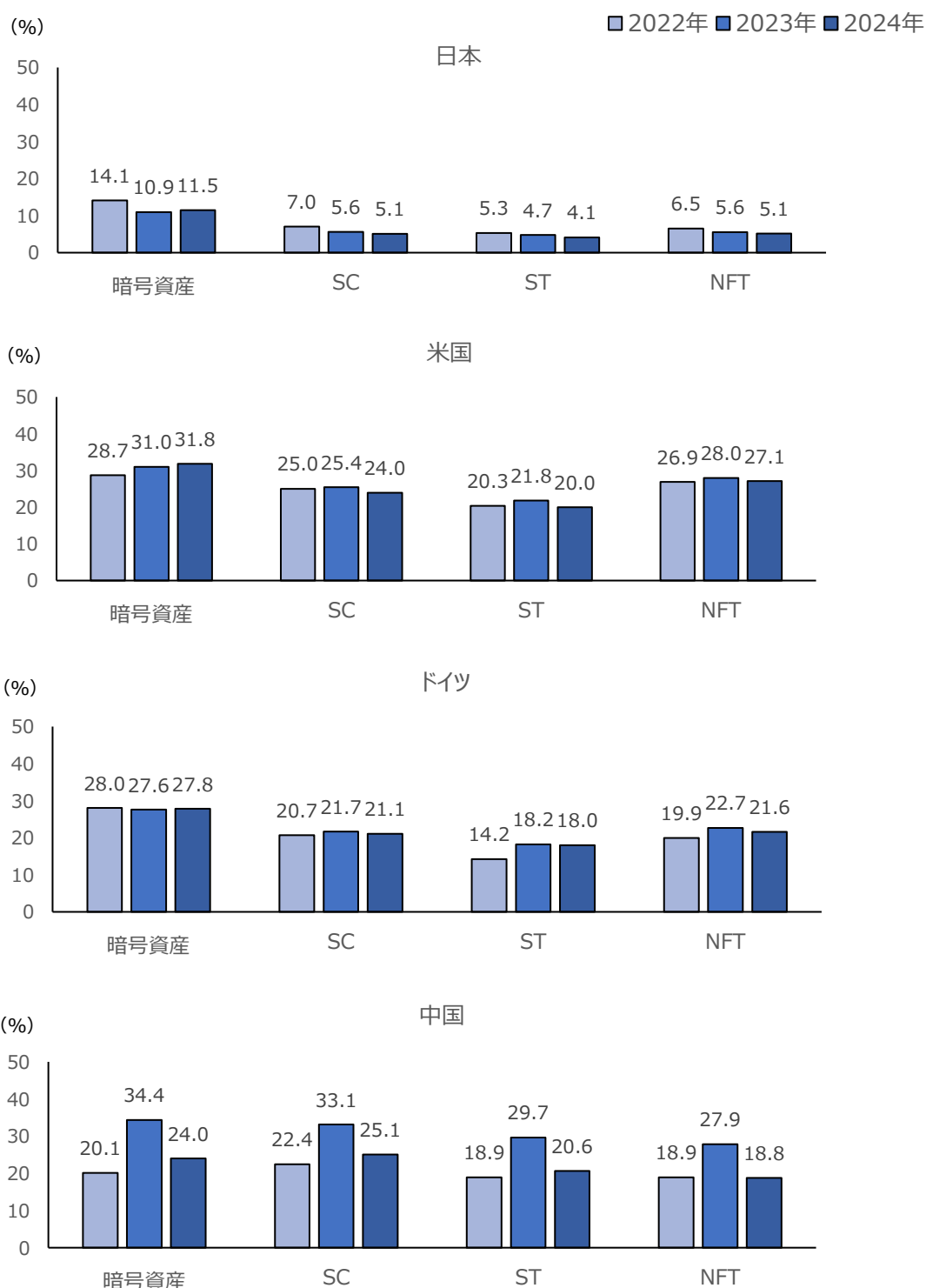
- あなたは、暗号資産など、次に挙げるものについてどの程度ご存知ですか。

- 知らない/聞いたことがない
- 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 他人に教えられるほどではないが、ある程度の知識はある
- 他人に教えられるほど、詳しく知っている

- SC：ステーブルコイン
- ST：セキュリティトークン
- NFT：非代替性トークン
- CBDC：中央銀行デジタル通貨



Q17. 新しいデジタル金融商品の認知度（2022年・2023年との比較）



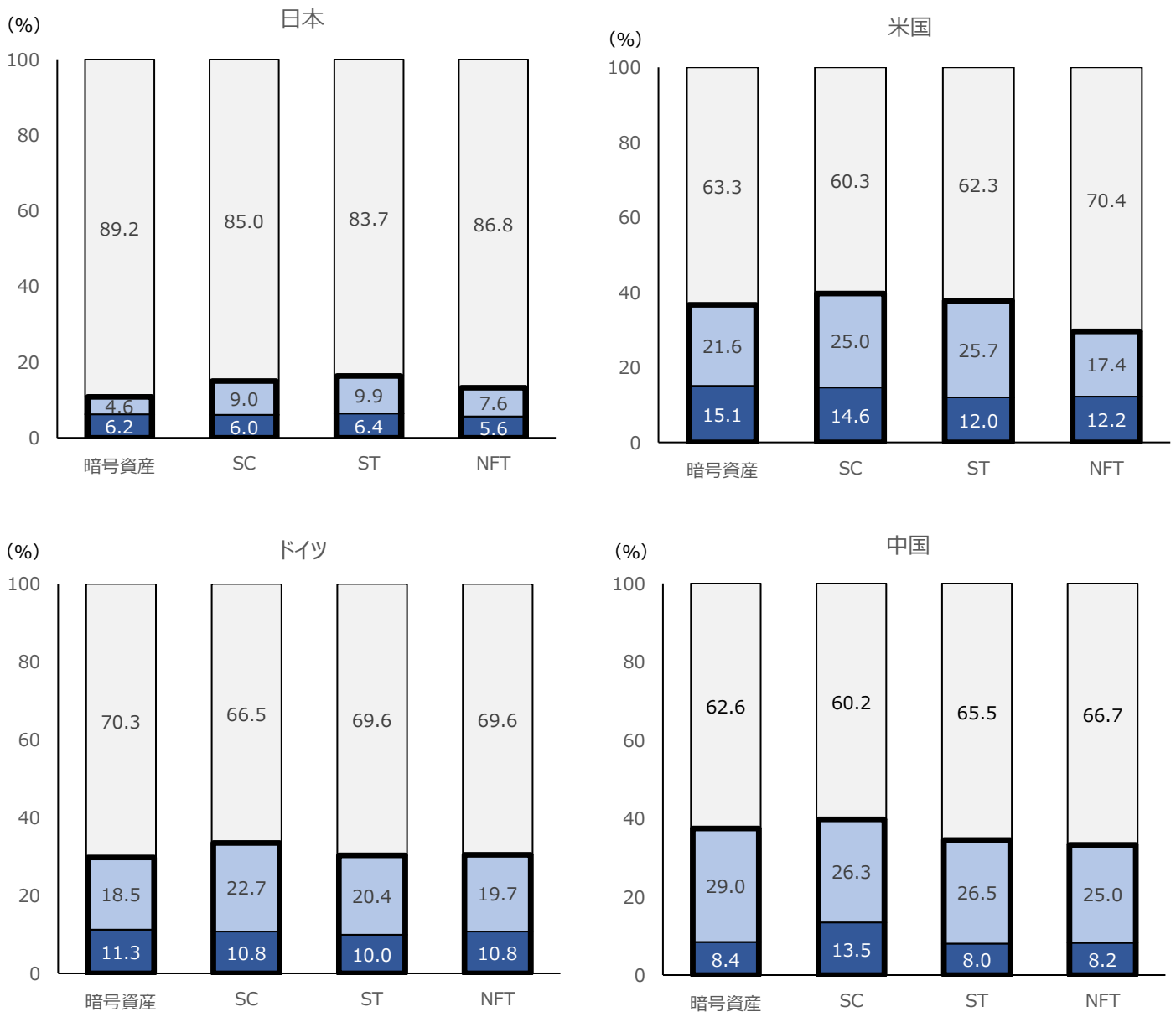
注) Q17 新しいデジタル金融商品の認知度の回答「他人に教えられるほど、詳しく知っている」と「他人に教えられるほどではないが、ある程度の知識はある」の合計

Q18-1. 新しいデジタル金融商品の投資経験

【質問】

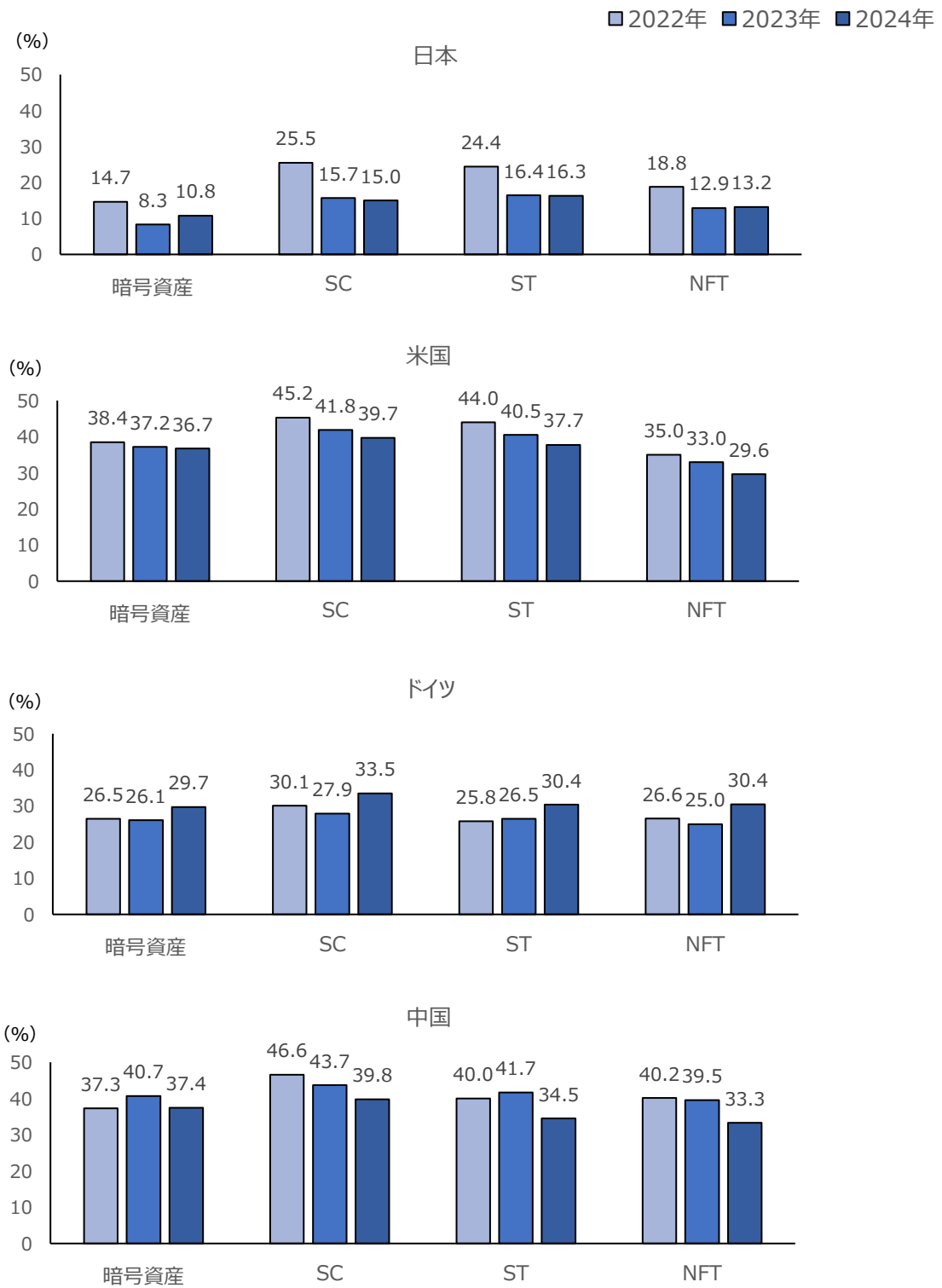
- 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

- 投資したことはない
- 投資したことはあるが、現在は保有していない
- 現在保有している



注) Q17 で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者には質問していない

Q18-1. 新しいデジタル金融商品の投資経験（2022年・2023年との比較）

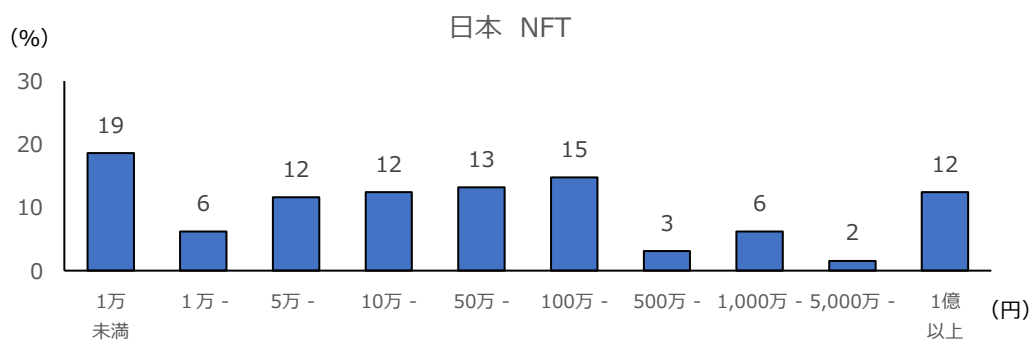
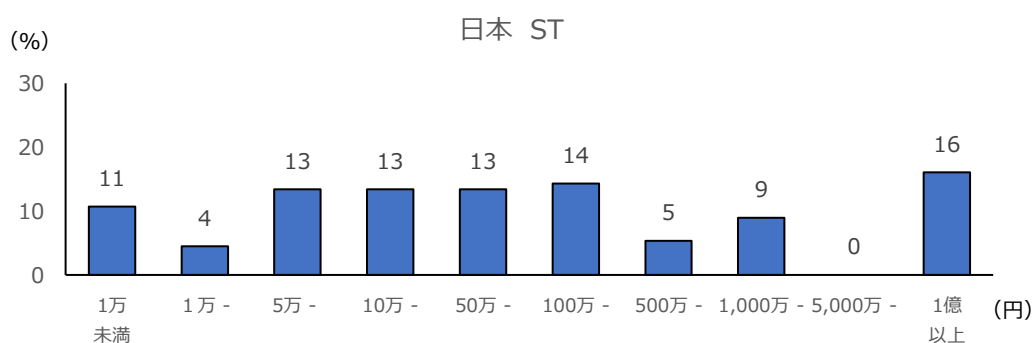
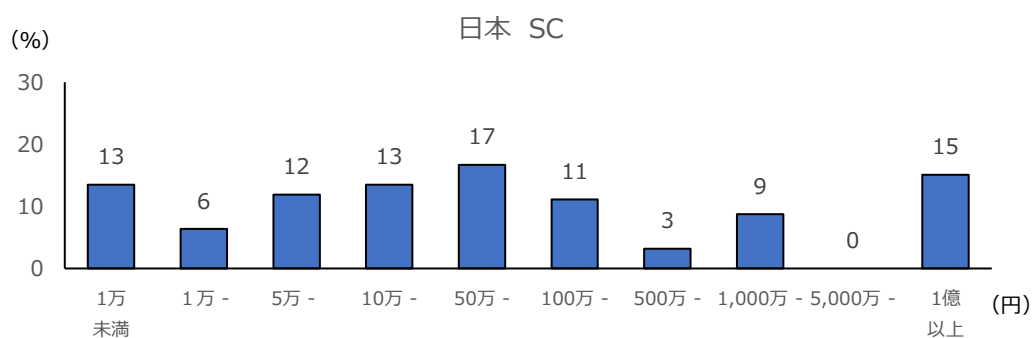
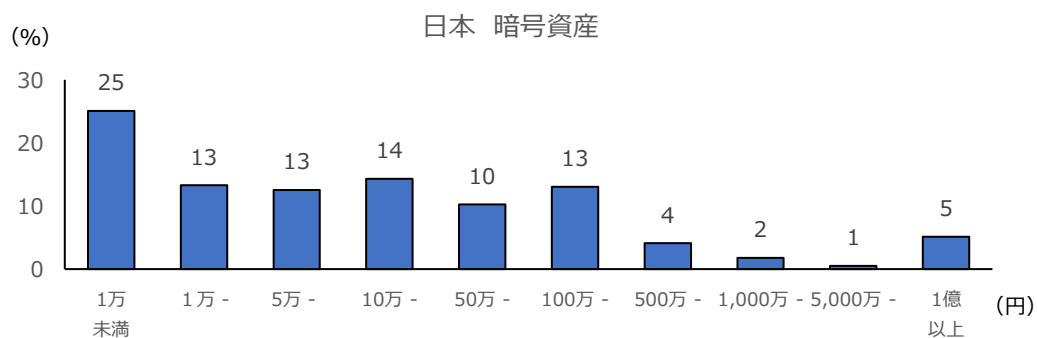


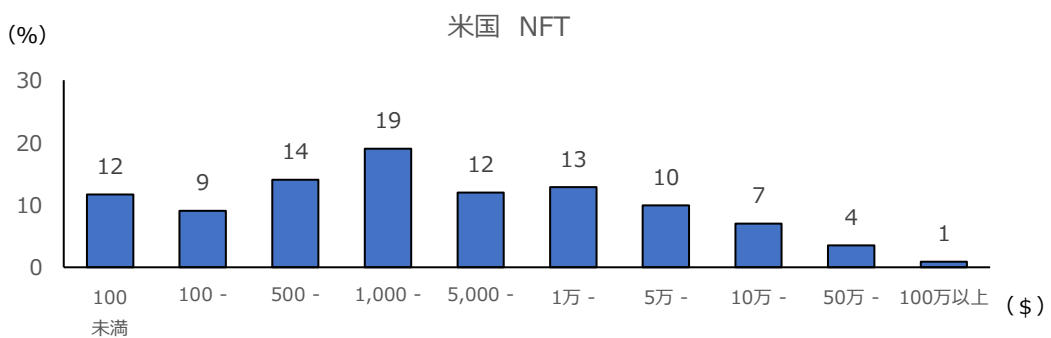
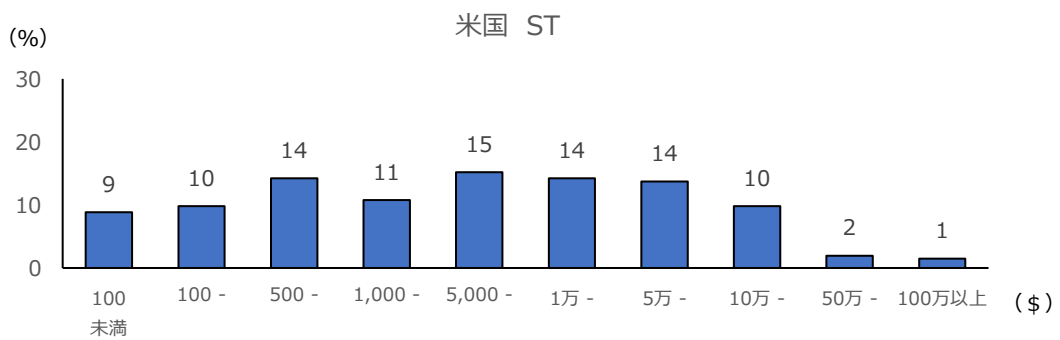
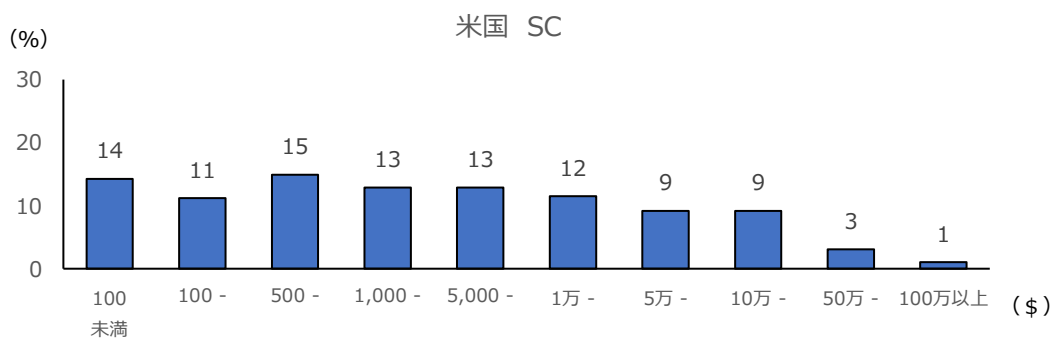
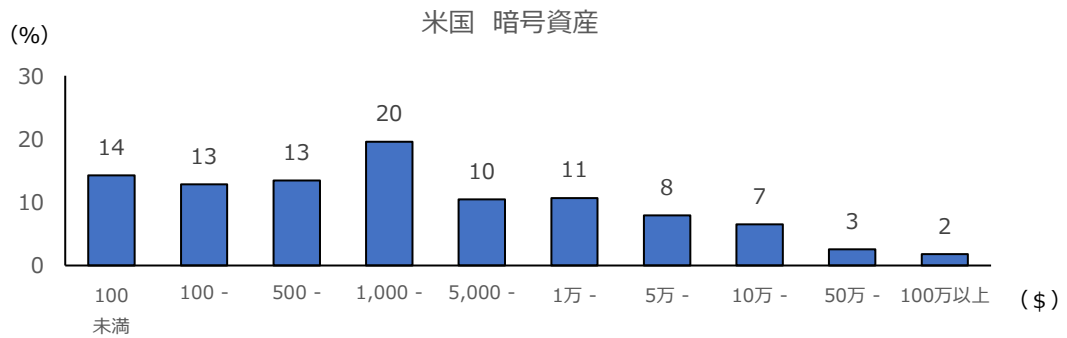
注) Q18-1 新しいデジタル金融商品の投資経験の回答「現在保有している」と「投資したことはあるが、現在は保有していない」の合計

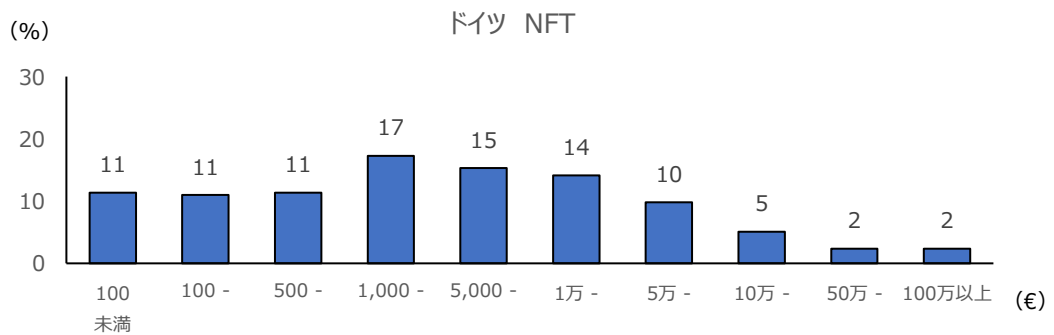
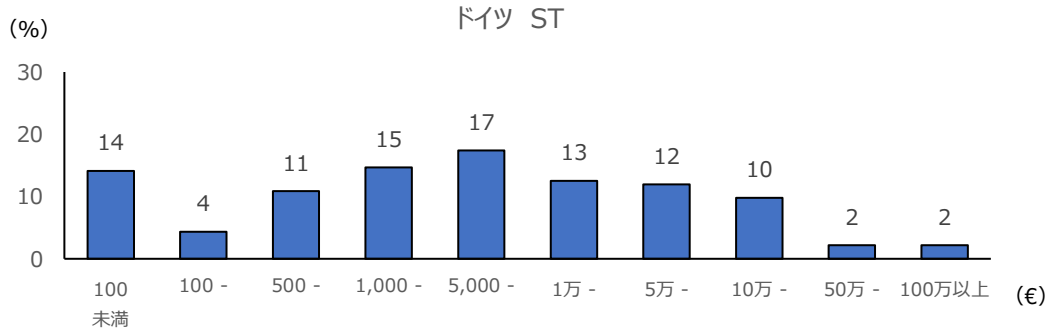
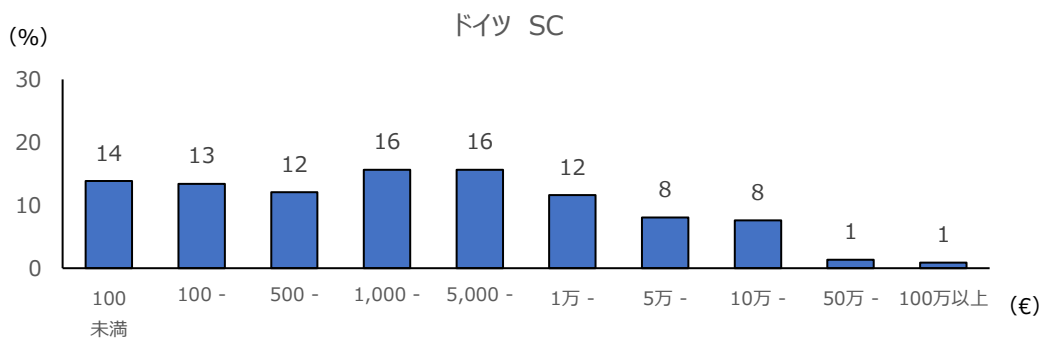
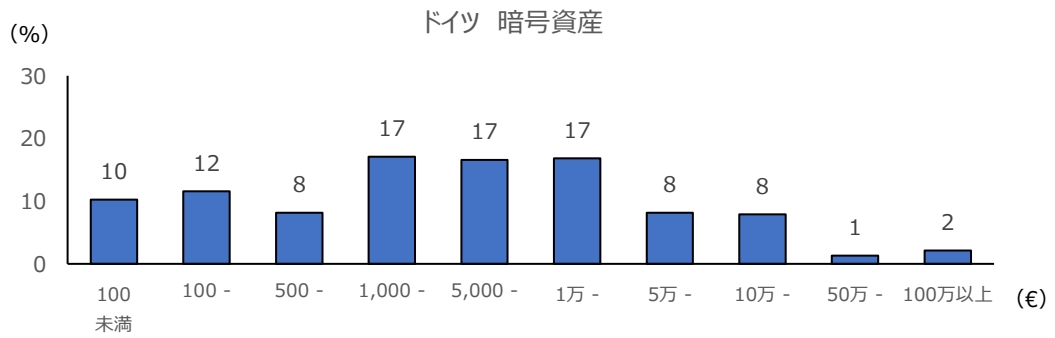
Q19. 新しいデジタル金融商品の保有額

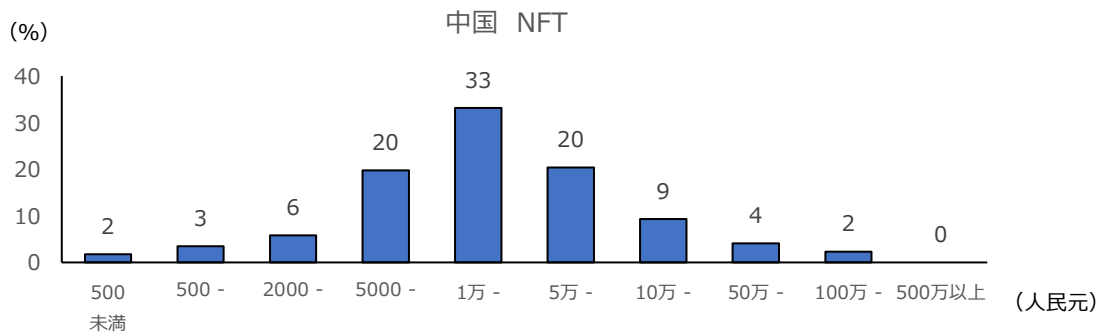
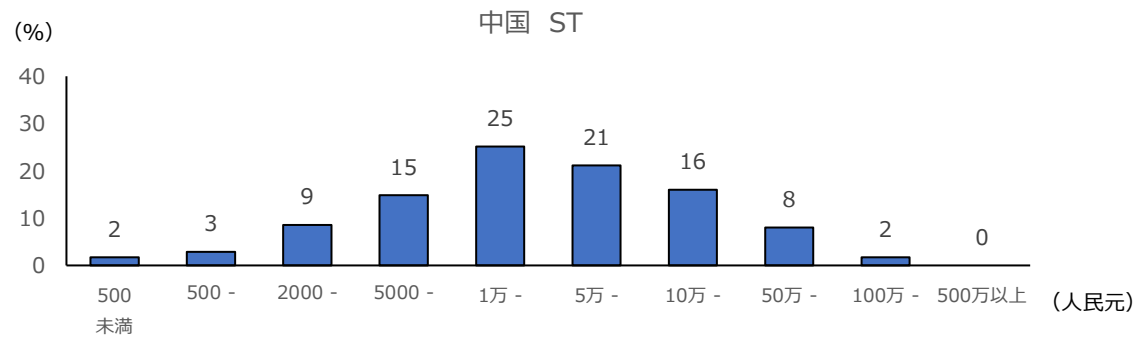
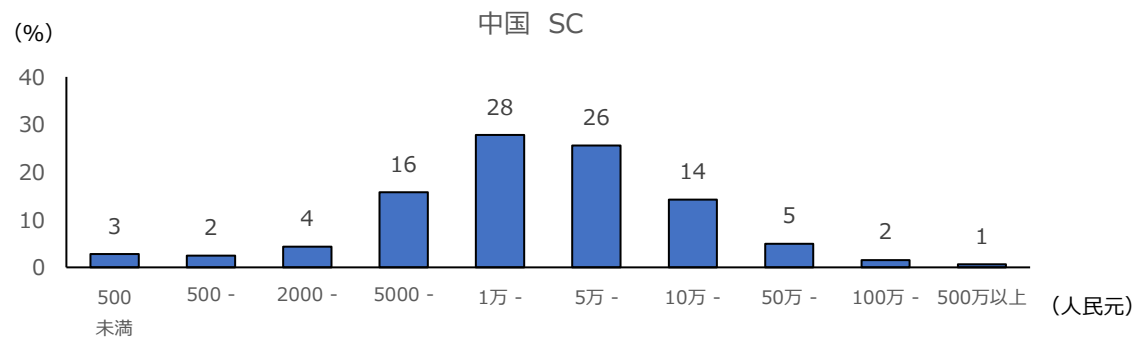
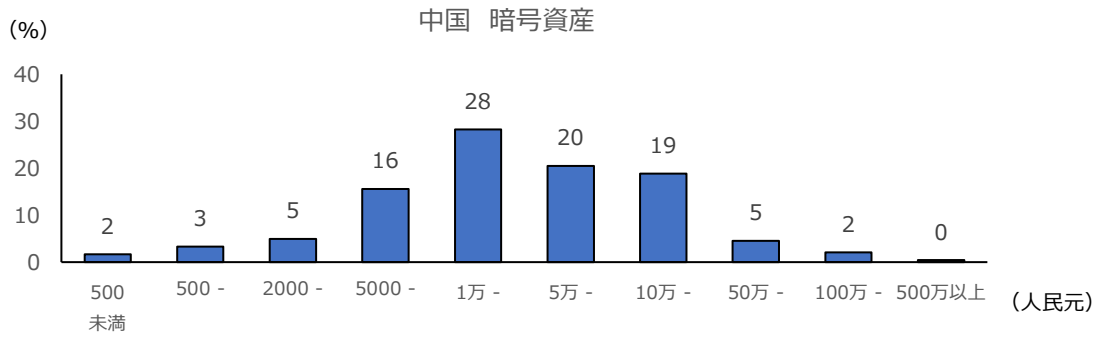
【質問】

- 【新しいデジタル金融商品】を現在保有している方にお伺いします。次に挙げる【新しいデジタル金融商品】について、あなたはそれぞれの程度保有していますか。購入時の金額ではなく、現在の評価額をベースにお答えください。





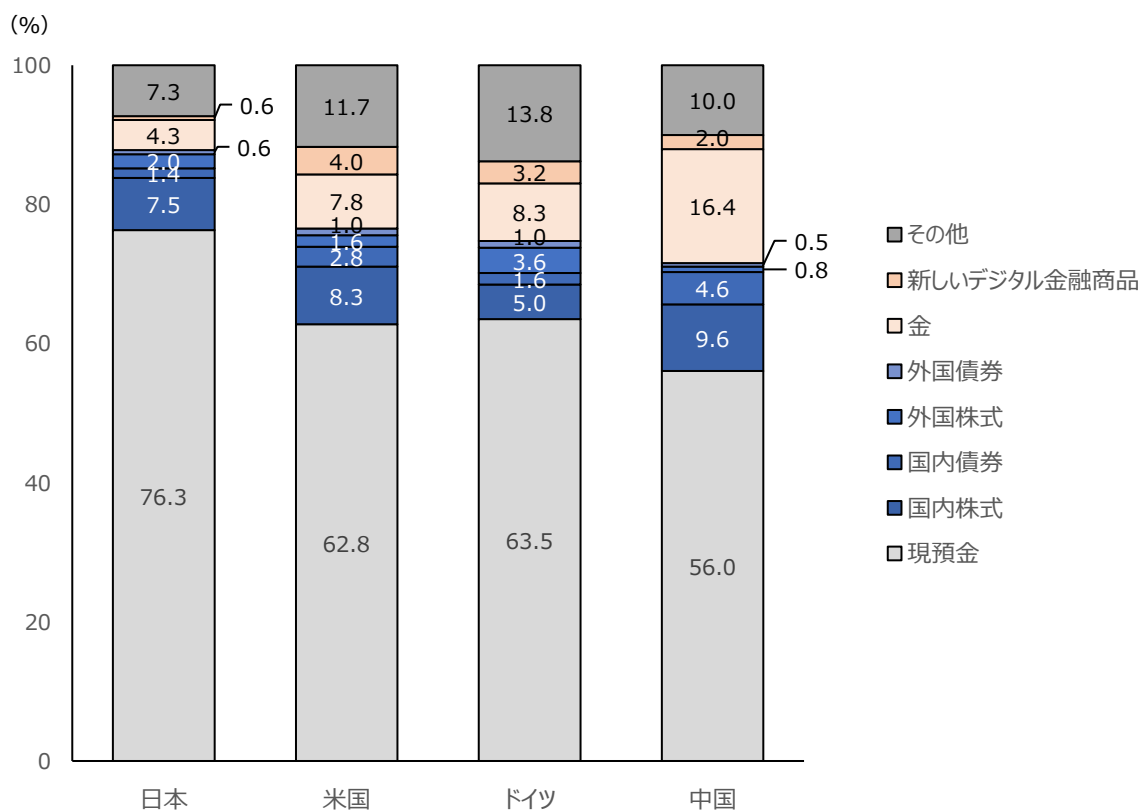




Q20. 金融資産の保有割合

【質問】

- あなたが保有している金融資産の割合をお答えください。
 ※生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
 ※合計で 100%になる様に、それぞれの割合を回答してください。



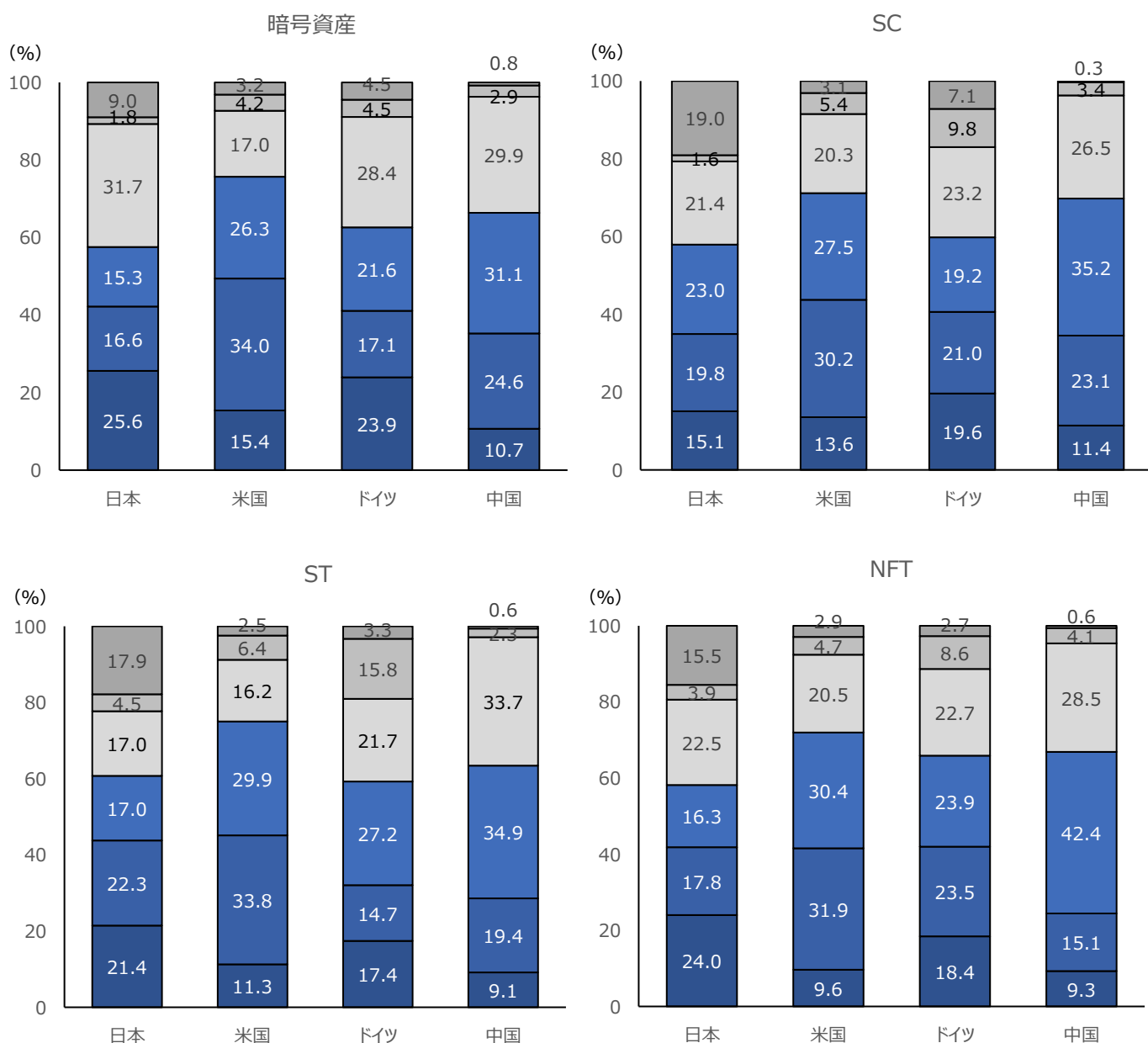
注) 各回答者の金融資産保有割合の平均

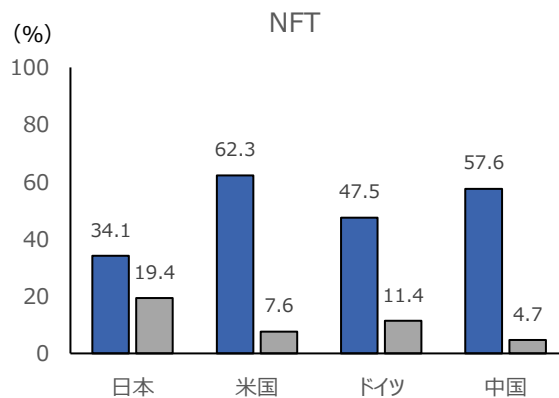
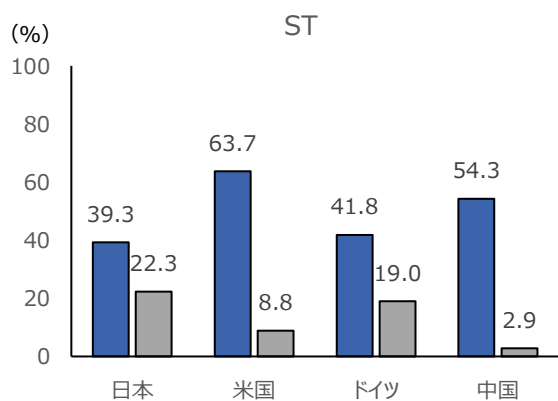
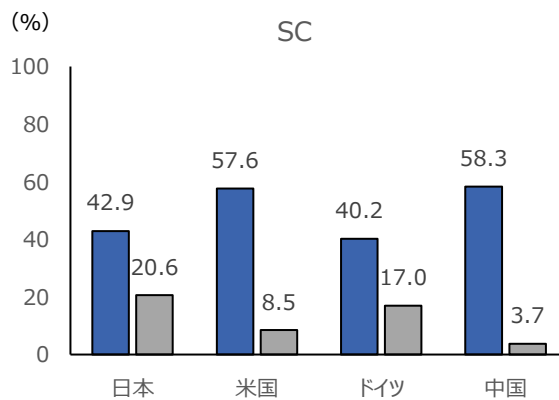
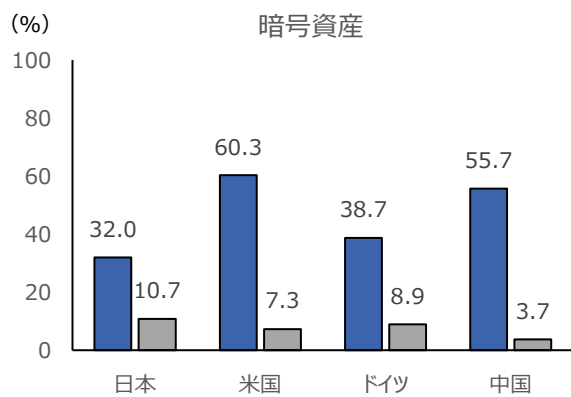
Q21. 新しいデジタル金融商品の直近 1 年間の投資状況

【質問】

- 【新しいデジタル金融商品】を現在保有している方にお伺いします。次に挙げる【新しいデジタル金融商品】への投資額は、この 1 年間でどのように変化しましたか。市場価格の変動は考えずに、あなたの投資額の変化についてお答えください。

- 減少させた
- やや減少させた
- ほぼ変わらない
- やや増やした
- 増やした
- 1 年間に投資を開始





■ 増やした・やや増やした ■ 減少させた・やや減少させた

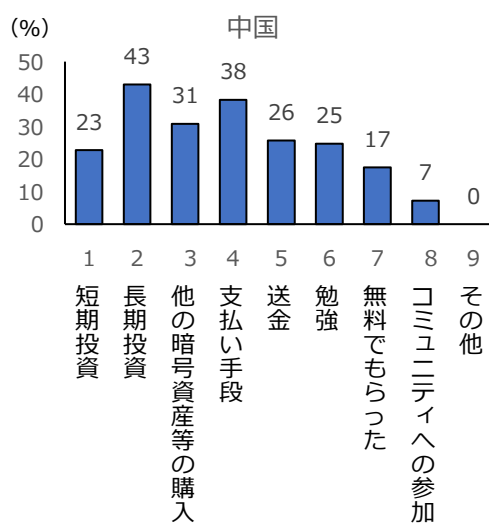
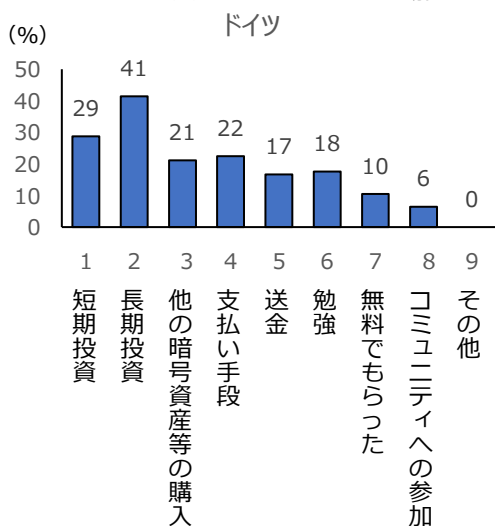
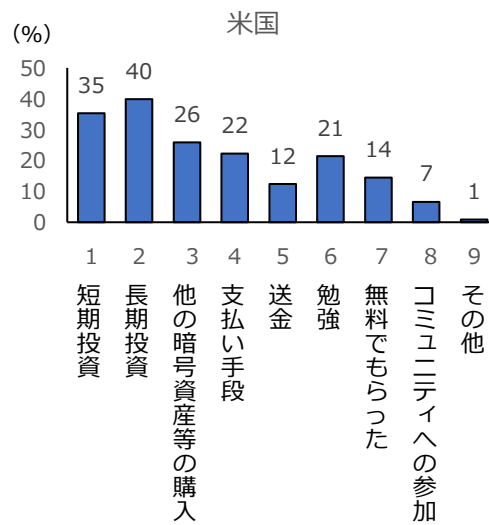
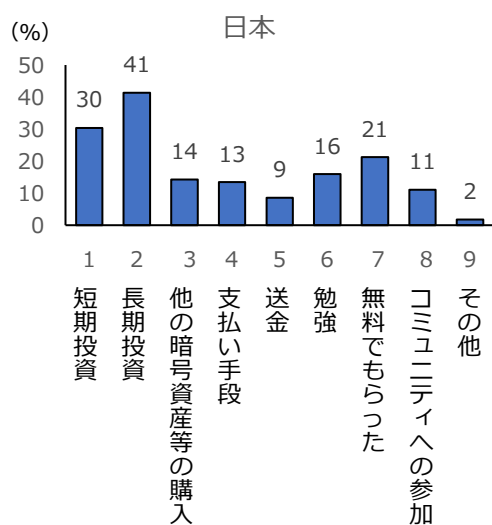
Q22. 暗号資産の取得・保有目的

【質問】

- 暗号資産を保有したことのある方にお伺いします。暗号資産の取得・保有の目的をお選びください。（複数回答可）

回答の選択肢

- 1 短期（投資期間 1 年未満）の投資目的
- 2 長期（投資期間 1 年以上）の投資目的
- 3 他の暗号資産やステーブルコイン、セキュリティトークン、NFT を購入するため
- 4 商品・サービスの購入代金の支払い手段に利用（暗号資産やステーブルコインなどの購入を除く）
- 5 送金目的
- 6 暗号資産やブロックチェーンについて勉強するため
- 7 プレゼントされた、無料でもらった
- 8 暗号資産コミュニティへの参加のため（心情的サポートを含む）
- 9 その他



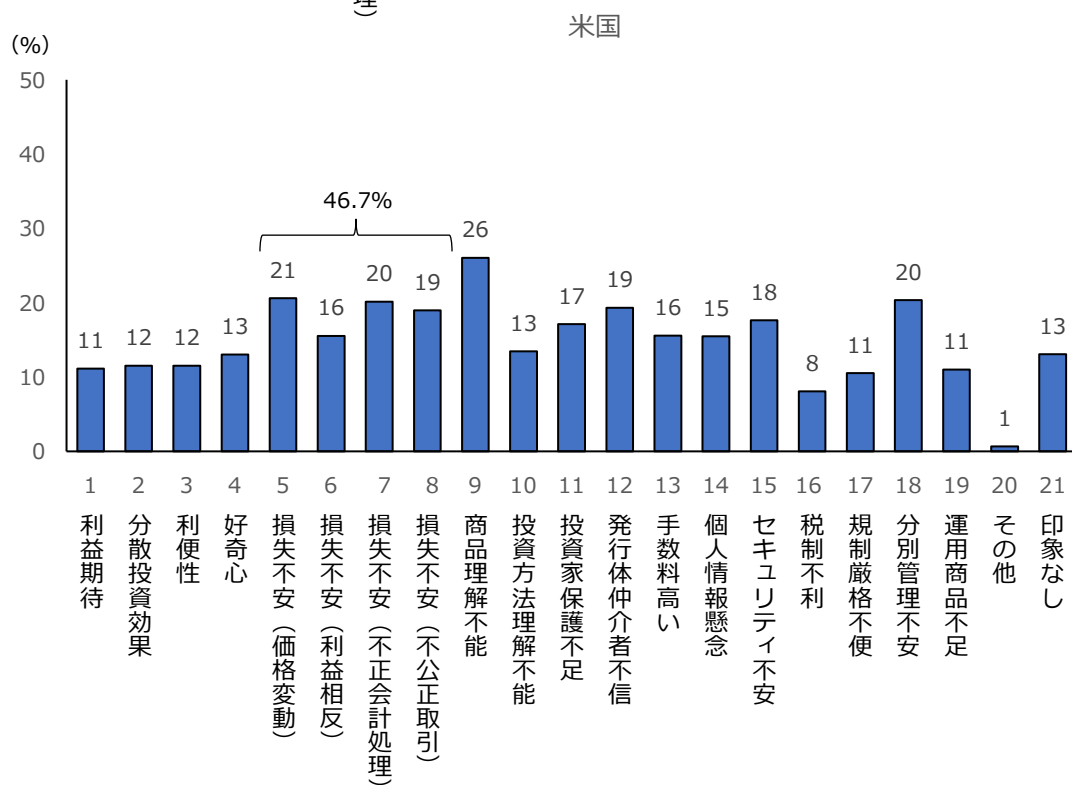
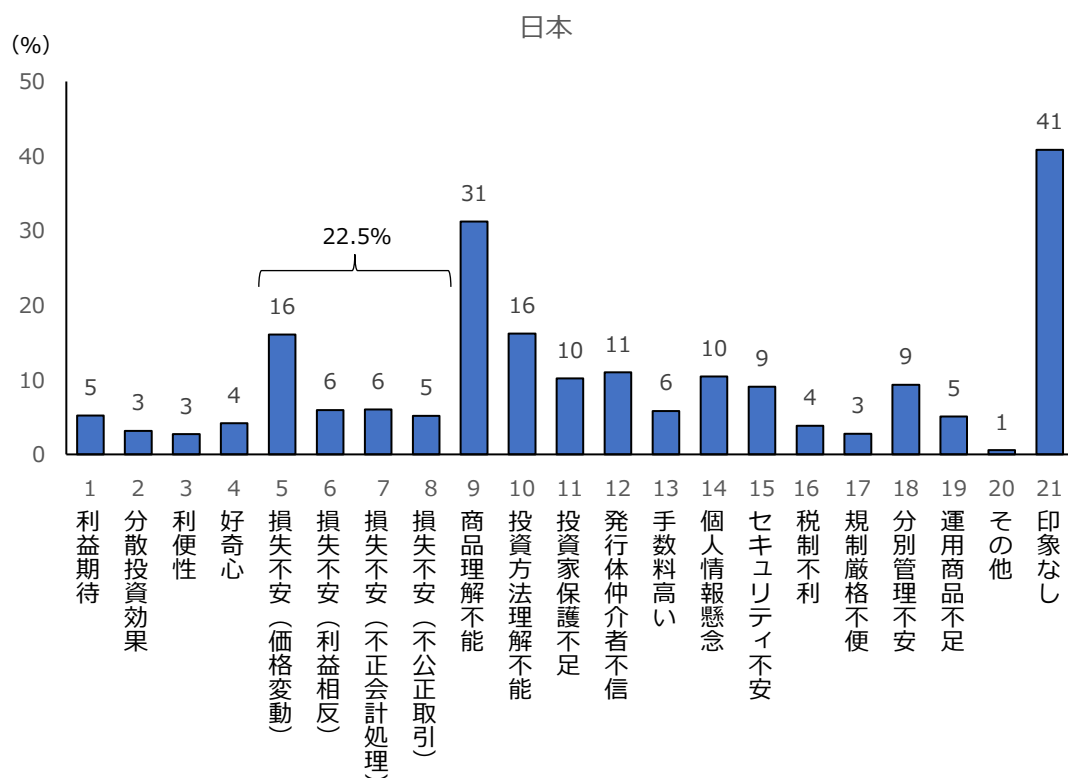
Q23. 新しいデジタル金融商品に対する認識

【質問】

- あなたは、【新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、ST、NFT）】に対してどのように思いますか。（複数回答可）

回答の選択肢

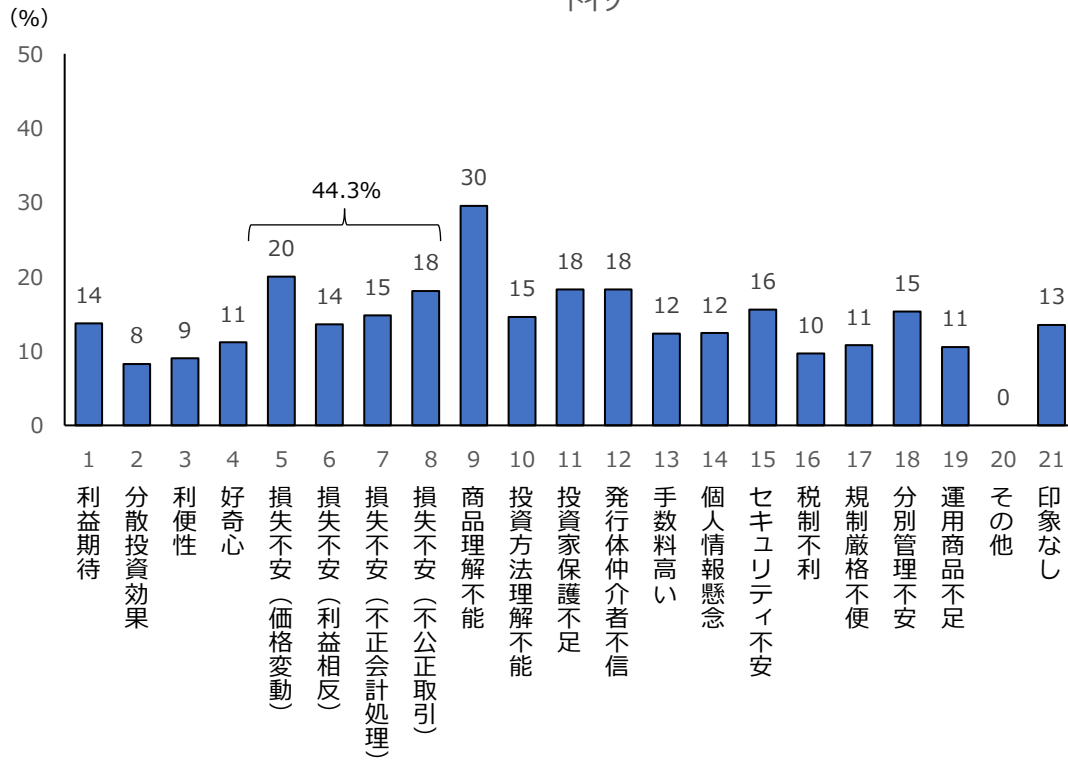
- 1 利益や値上がりの期待がある
- 2 投資対象を値動きの異なる金融商品に分散することで、投資のリスクを低減する効果がある
- 3 利便性がある
- 4 新しい技術・商品に対する好奇心・将来性への期待感がある
- 5 価格変動が大きいことに不安がある
- 6 仲介業者の利益相反によって損失が生じることに不安がある
- 7 発行体の不正な会計処理（粉飾決算等）によって損失が生じることに不安がある
- 8 投資家の不公正取引（インサイダー取引等）によって損失が生じることに不安がある
- 9 商品内容がよくわからない
- 10 投資方法/利用方法が難解、使いこなせないことへの不安がある
- 11 投資家保護・消費者保護が十分でないおそれがある
- 12 発行体や仲介業者が信用できない
- 13 手数料が高い
- 14 個人情報の漏洩が不安
- 15 本人認証の悪用・なりすまし詐欺等への不安がある
- 16 税制上不利な扱いをされる
- 17 規制が厳しくて使いにくい
- 18 暗号資産交換業者で分別管理が行われているか不安がある
- 19 暗号資産に投資する投資信託やETFといった運用商品が乏しく不便である
- 20 その他
- 21 特に印象はない



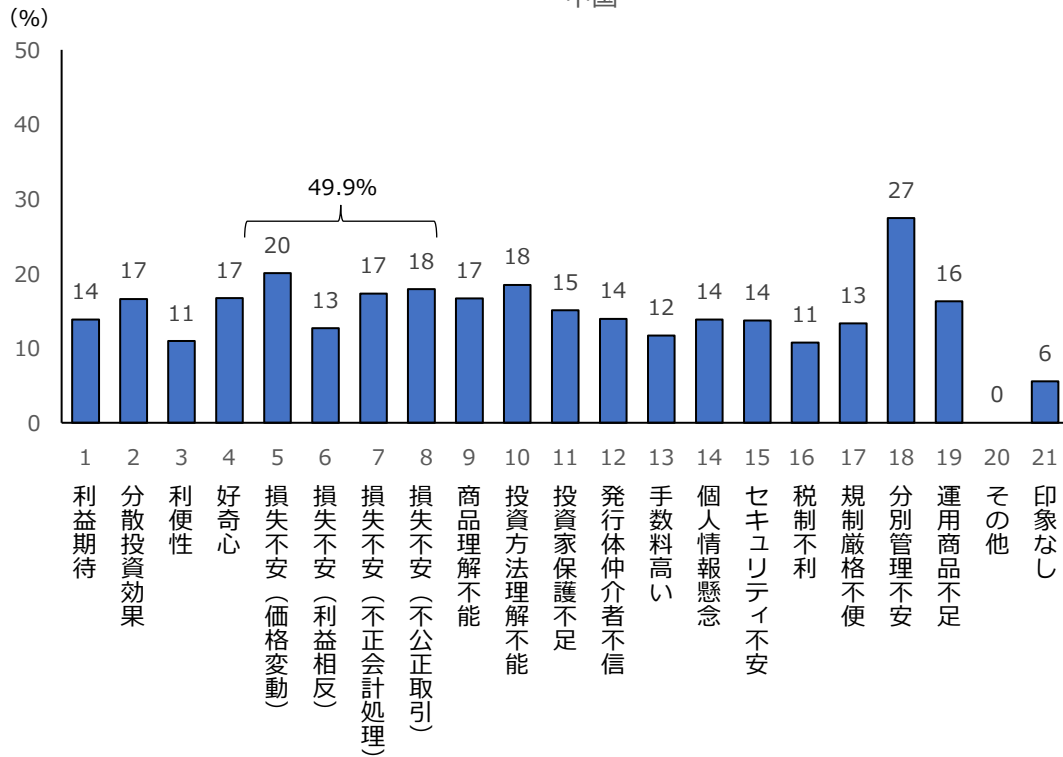
注 1) Q17 新しいデジタル金融商品の認知度で「知らない/聞いたことがない」を選択した回答者以外（いわゆる認知層）を調査対象とした

注 2) 損失不安（選択肢 5～8）のいずれかを回答した者の割合は、日本 22.5%、米国 46.7%、ドイツ 44.3%、中国 49.9%

ドイツ



中国

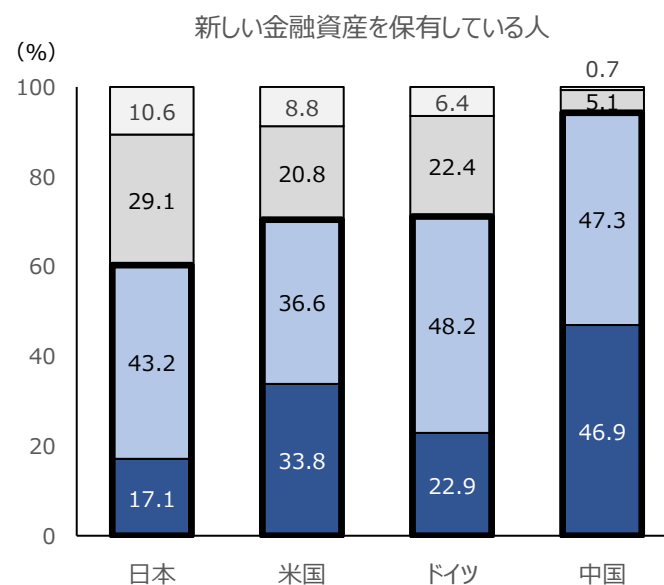
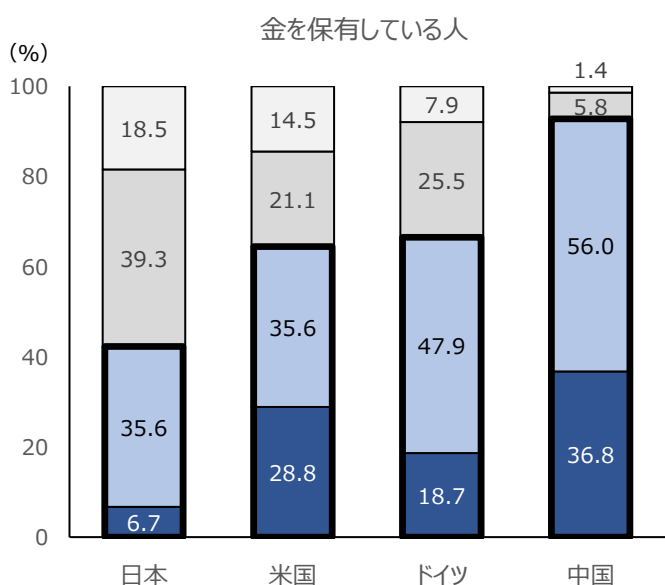
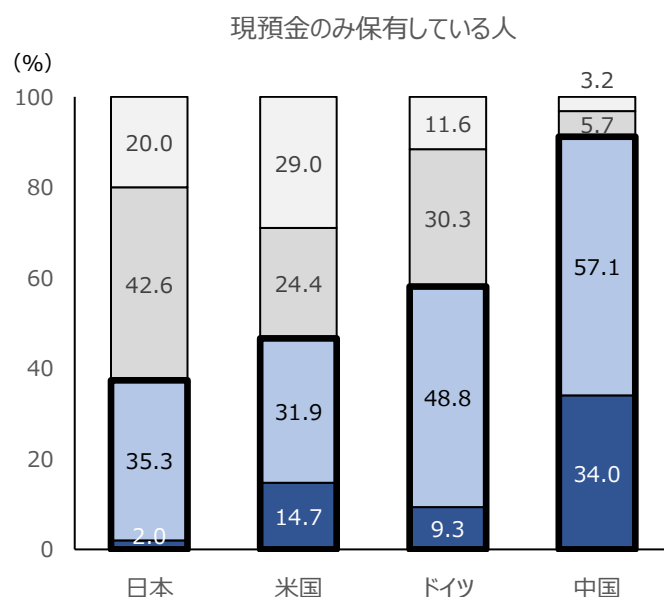
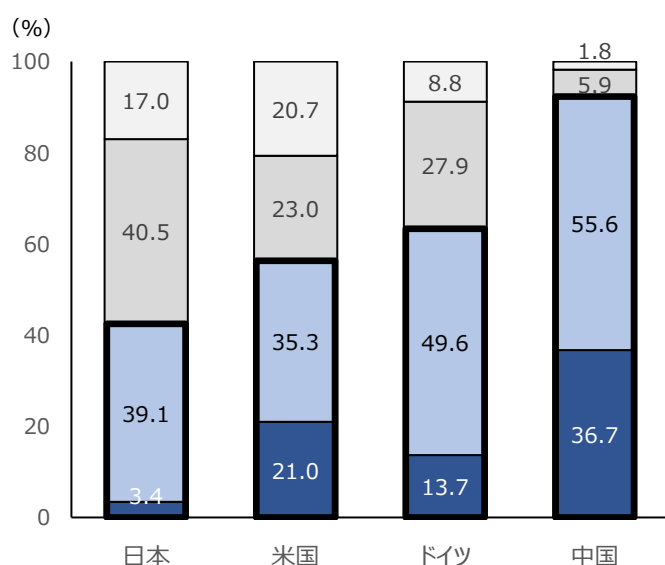


Q24. 中央銀行への信頼度

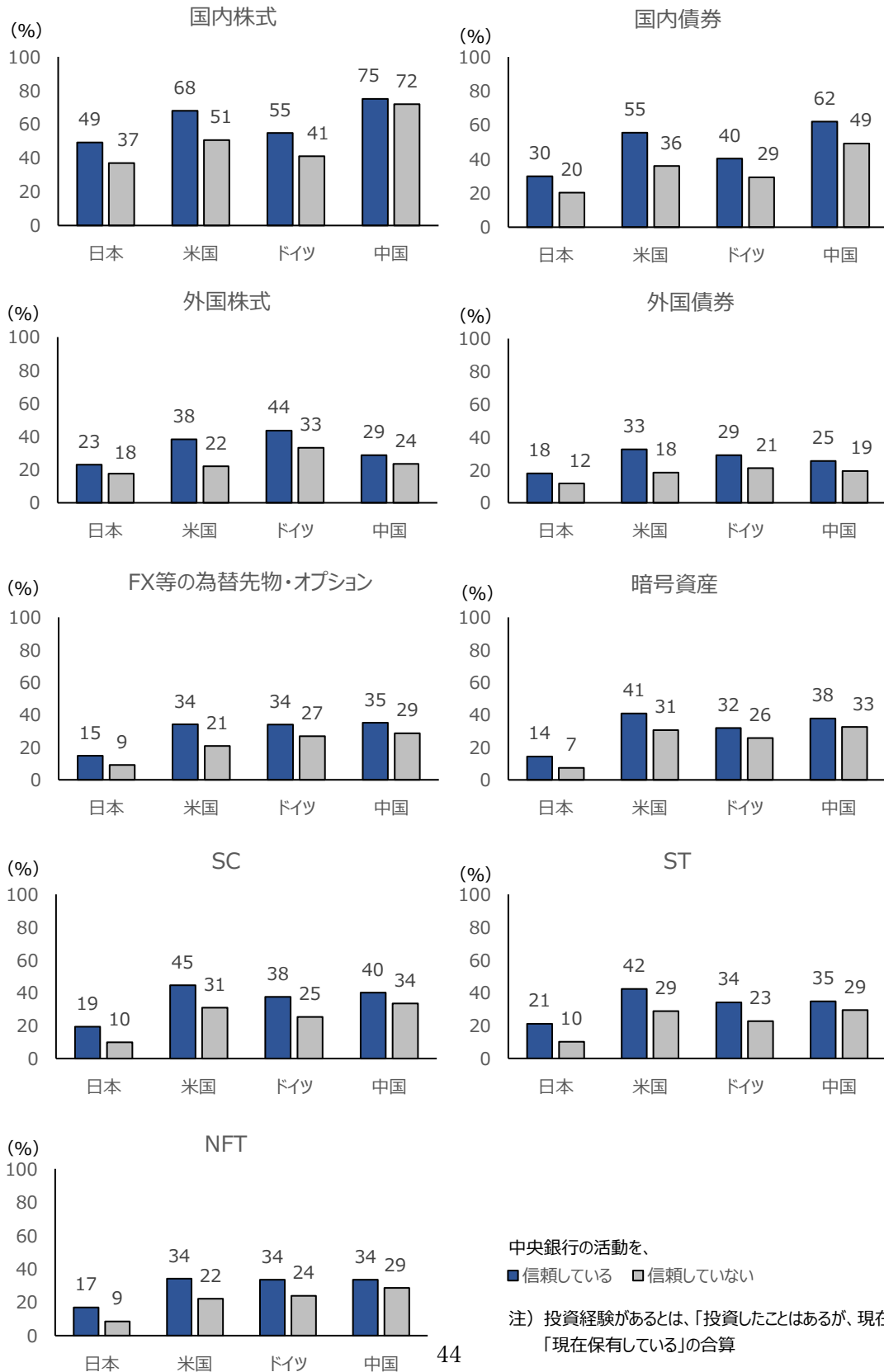
【質問】

- 自国の中央銀行の活動は物価や金融システムの安定に役立っていると思いますか。

- そう思わない
- どちらかといえばそう思わない
- どちらかといえばそう思う
- そう思う



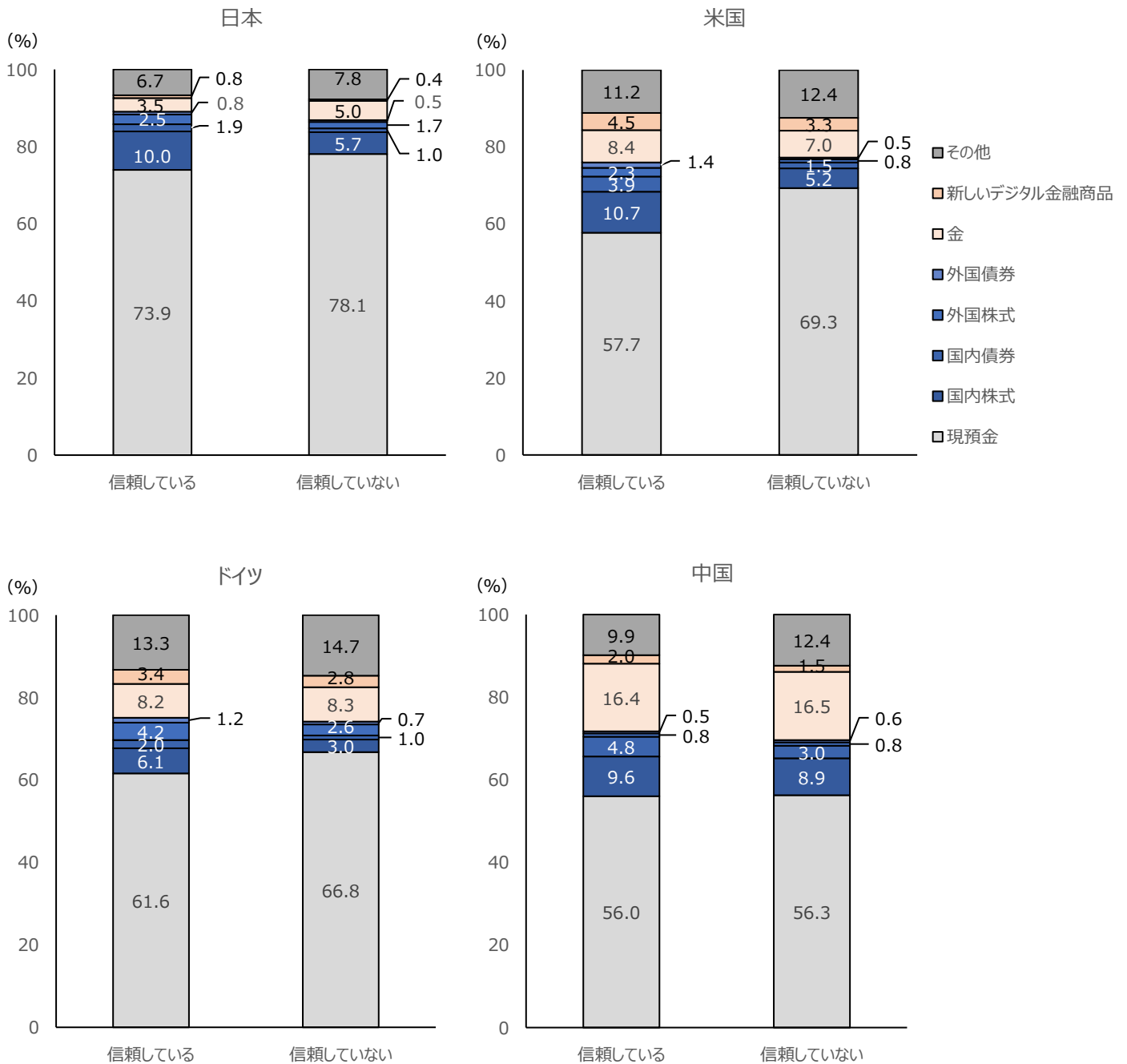
Q24 中央銀行の活動を信頼している（そう思う・どちらかといえばそう思う）・していない（そう思わない・どちらかといえばそう思わない）を条件とした、Q10 リスク性金融資産の投資経験と Q18 デジタル金融商品の投資経験のある者の割合



中央銀行の活動を、
 ■ 信頼している □ 信頼していない

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q24 中央銀行の活動を信頼している（そう思う・どちらかといえばそう思う）・していない（そう思わない・どちらかといえばそう思わない）を条件とした Q20 金融資産の保有割合



4. 金融リテラシー、リスク回避度等

Q25. 金融リテラシー（単利）

【質問】

- 回答の正否を問う質問ではありませんので、思ったままをお答え下さい。
100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、1年後、口座の残高はいくらになっていると思われますか。利息にかかる税金は考えないで結構です。あなたのお考えに一番近いものをお選びください。

(%)

	100万円	102万円	120万円	わからない
日本	5.3	68.4	1.7	24.6
米国	8.8	66.4	12.9	11.9
ドイツ	7.8	72.4	9.2	10.6
中国	25.2	47.2	11.4	16.3

注) 日本以外の質問では、1万ドルなど100万円に近く、かつキリがよい値に設定。

Q26. 金融リテラシー（複利）

【質問】

- では、5年後には口座の残高はいくらになっていると思われますか。利息にかかる税金は考えないで結構です。

(%)

	110万円より 多い	110万円	110万円より 少ない	わからない
日本	40.0	22.1	12.1	25.9
米国	42.0	32.8	12.1	13.1
ドイツ	40.6	33.8	14.4	11.3
中国	36.8	31.6	24.2	7.4

注) 日本以外の質問では、1万ドルなど100万円に近く、かつキリがよい値に設定

Q27. 金融リテラシー（実質金利）

【質問】

- 次の2つのうち、実質的な利回りが高いのはどちらだと思われますか。

(%)

	預金の金利が2%で、 今後のインフレ率が0%	預金の金利が5%で、 今後のインフレ率が4%	同じ	わからない
日本	29.9	10.7	5.0	54.4
米国	31.7	28.1	11.3	28.9
ドイツ	42.8	14.4	16.8	26.1
中国	44.4	25.8	20.2	9.5

Q28. 金融リテラシー（ポートフォリオ分散効果）

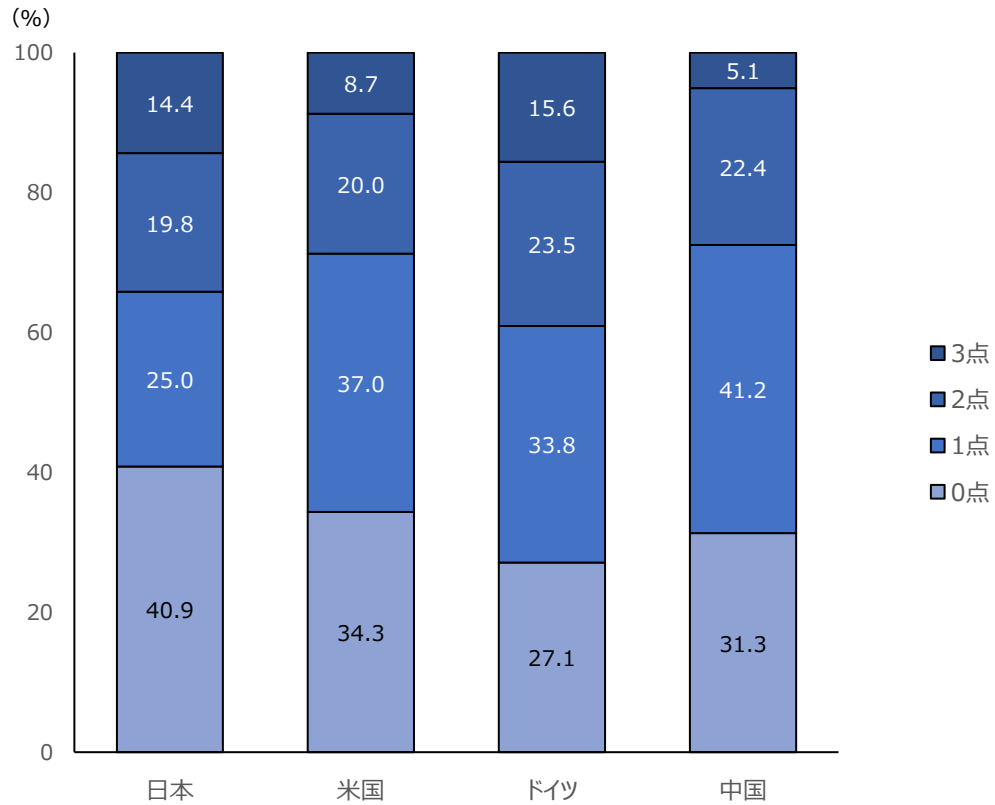
【質問】

- 次の文章についてどのように感じたかをご回答ください。
『1社の株を買うことは、通常、株式投資信託を買うよりも安全な投資である。』

(%)

	その通りだと思う	間違っていると思う	わからない
日本	6	40	54
米国	32	41	27
ドイツ	26	52	23
中国	52	37	12

Q25-28 金融リテラシー指数

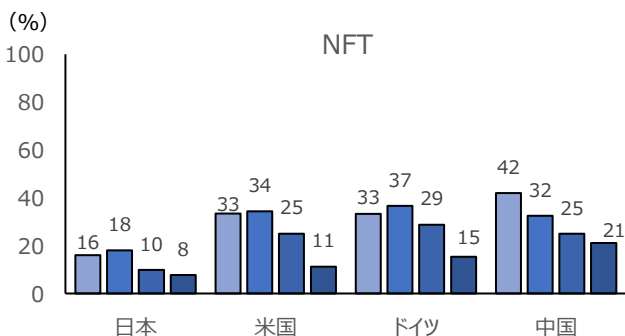
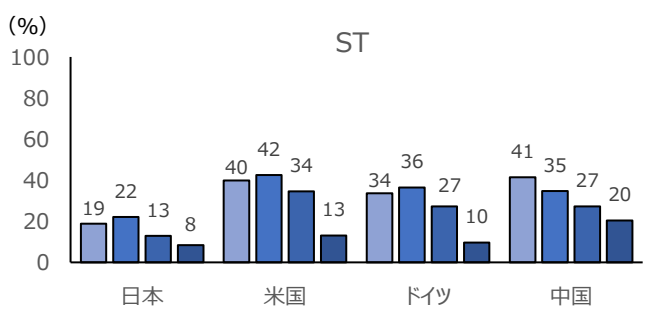
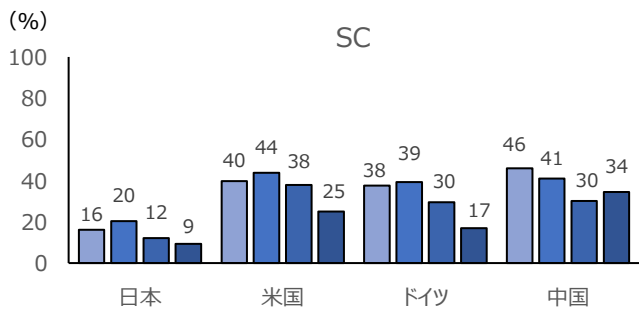
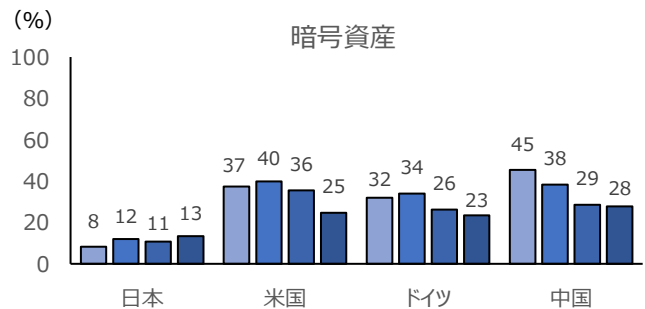
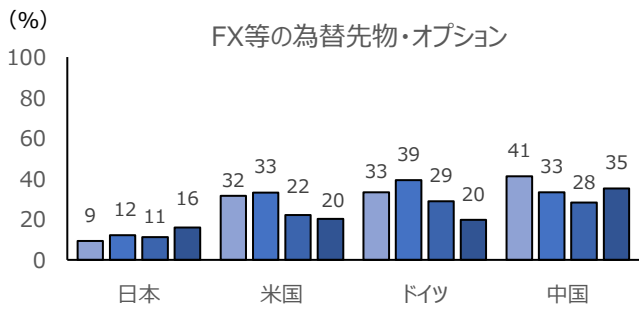
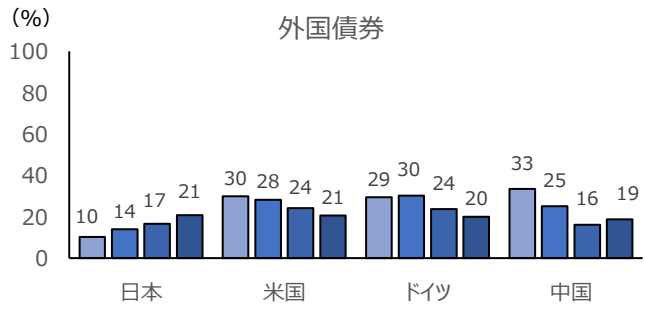
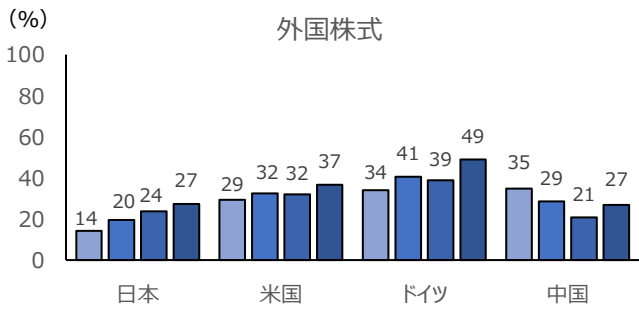
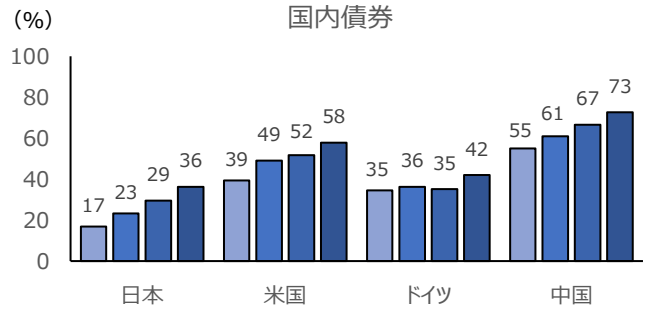
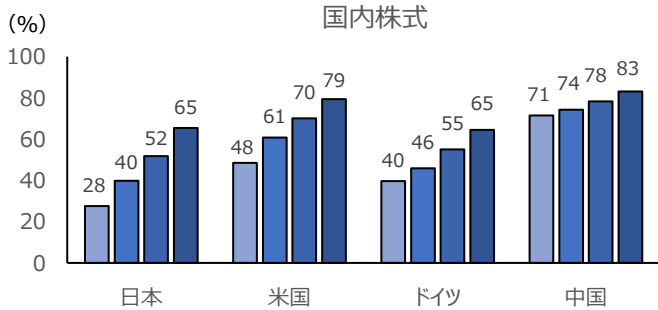


注 1) 金融リテラシー指数：単利計算、複利計算、金融資産の実質価値、分散投資の効果に関する 4 つの質問の正答率から定義

注 2) 計算式：Q25・26 両方に正解した人に 1 点、それ以外の人に 0 点、
 Q27 に正解した人に 1 点、不正解の人に 0 点
 Q28 に正解した人に 1 点、不正解の人に 0 点を与えた合計点
 正解は
 Q25：2
 Q26：1
 Q27：1
 Q28：2

注 3) 平均値：日本 1.08、米国 1.03、ドイツ 1.28、中国 1.01

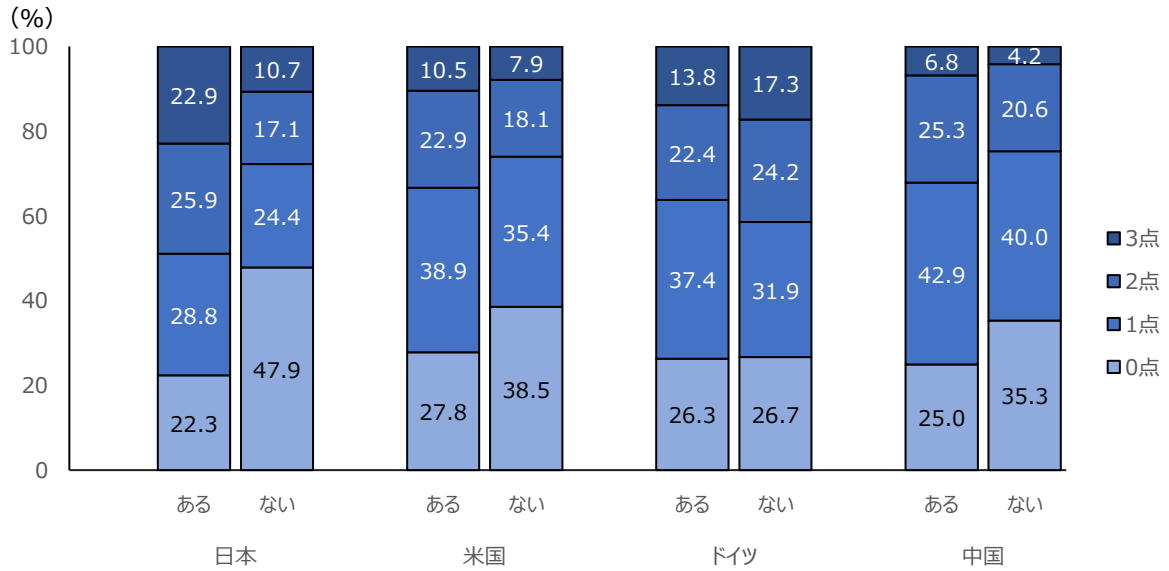
金融リテラシー指数の点数を条件とした Q10 リスク性金融商品の投資経験と Q18 デジタル金融商品の投資経験のある者の割合



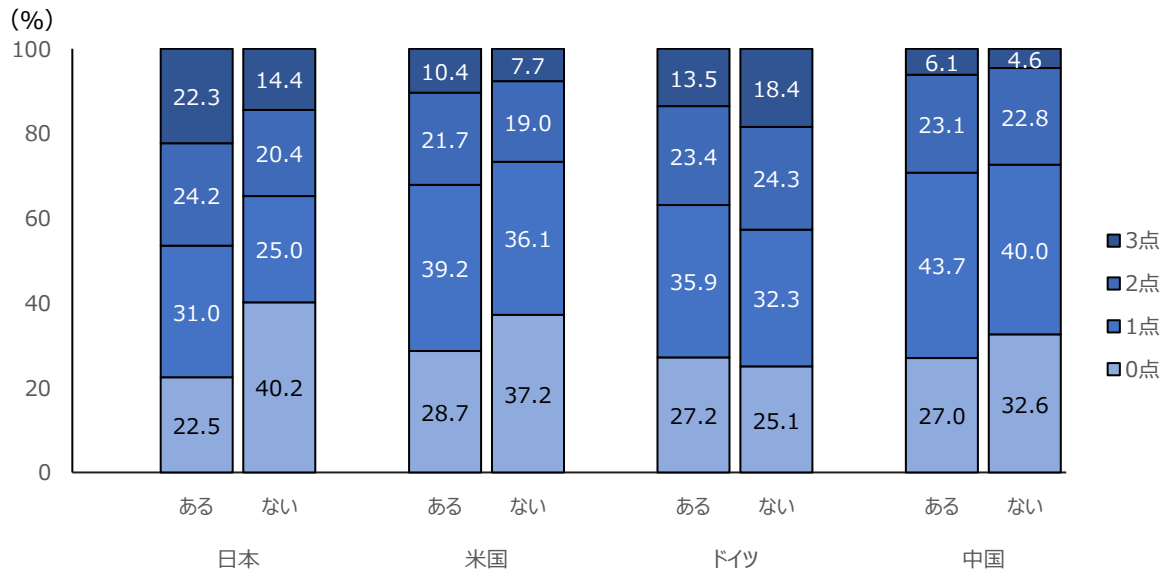
金融リテラシー指数
 ■ 0点 ■ 1点 ■ 2点 ■ 3点

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q11 両親や兄弟姉妹の株式や債券等への投資経験がある・ないを条件とした金融リテラシー指数の点数



Q12 金融教育を受けた経験がある・ないを条件とした金融リテラシー指数の点数



Q29. リスク回避度・リスク選好度 1

【質問】

- 50%の確率で 12 万円の利益がでて、50%の確率で 8 万円の利益がでる投資商品があったとします。この投資商品がいくらなら買いますか。払ってもよいと思う最大金額を回答下さい。

日本	(%)		
10 万円より高くても買う	14.1		
10 万円 [期待値]	11.9		
98,000 円	0.9	} 2.2	} 6.1
96,000 円	0.6		
94,000 円	0.4		
92,000 円	0.3		
90,000 円	2.6	} 1.3	
88,000 円	0.5		
86,000 円	0.3		
84,000 円	0.3		
82,000 円	0.2		
80,000 円 [最低保証値]	9.5		
買わない	58.4		

注) 他国の質問では、1,200 ドルと 800 ドルなど、分かりやすい値に設定している。なお、選択肢に期待値や最低保証値の表記はしていない。表では分かり易さのために表示。

	(%)				
	期待値よりも高い (10万円以上)	期待値 (10万円)	期待値より低い (8万円~10万 円)	最低保証値 (8万円)	買わない
日本	14	12	6	10	58
米国	13	16	23	16	33
ドイツ	16	14	24	13	33
中国	21	17	46	6	10

Q30. リスク回避度・リスク選好度 2

【質問】

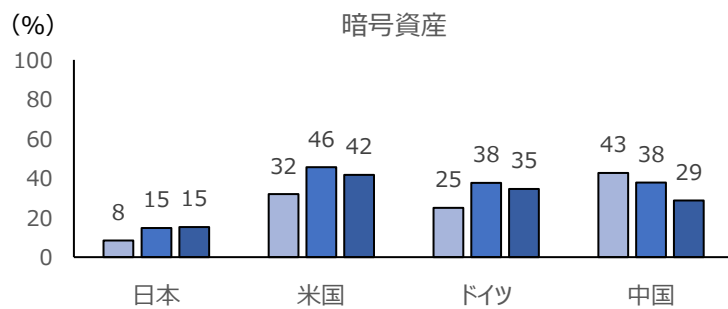
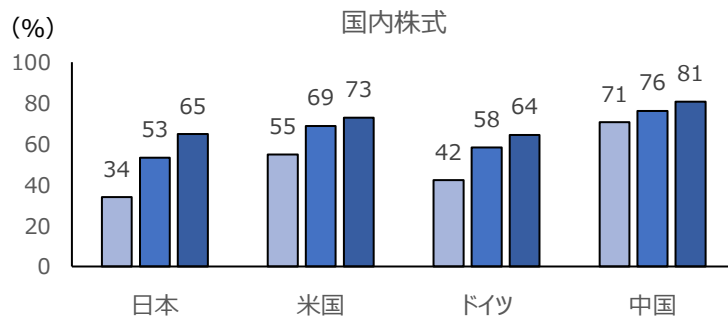
- 10%の確率で 100 万円の利益が出て、90%の確率で 10 万円の利益がでる投資商品があったとします。この投資商品がいくらなら買いますか。払ってもよいと思う最大金額を回答下さい。

日本		(%)	
25 万円より高くても買う		13.6	} 19.8
25 万円		2.4	
20 万円		3.9	
19 万円	[期待値]	0.9	
18 万円		0.9	} 5.8
17 万円		0.5	
16 万円		0.3	
15 万円		2.6	
14 万円		0.2	
13 万円		0.3	
12 万円		0.7	
11 万円		0.5	
10 万円	[最低保証値]	17.3	
買わない		56.2	

注) 他国の質問では、1,200 ドルと 800 ドルなど、分かりやすい値に設定している。なお、選択肢に期待値や最低保証値の表記はしていない。表では分かり易さのために表示

	(%)				
	期待値よりも高い (20万円以上)	期待値 (19万円)	期待値より低い (11~18万円)	最低保証値 (10万円)	買わない
日本	20	1	6	17	56
米国	23	4	20	21	33
ドイツ	26	4	22	15	34
中国	33	5	44	8	10

Q29 と Q30 のリスク選好度が高い、やや高い、低いを条件とした、Q10 リスク性金融商品の投資経験と Q18 デジタル金融商品の投資経験



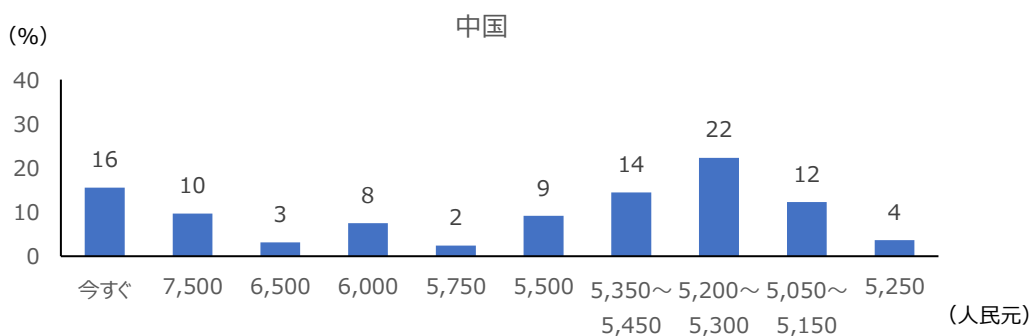
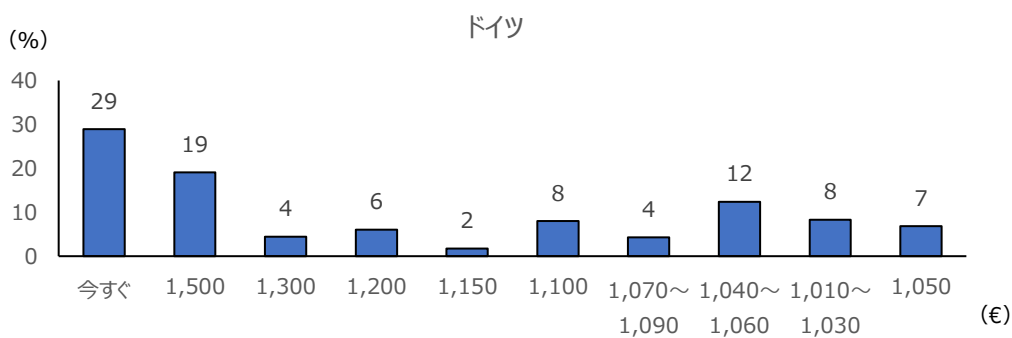
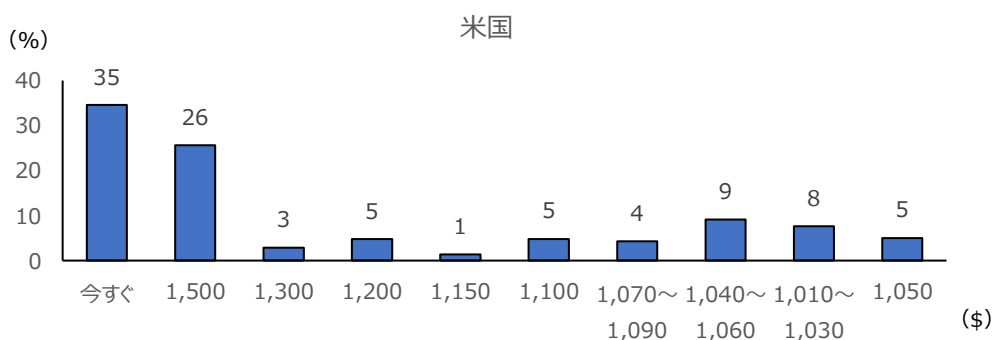
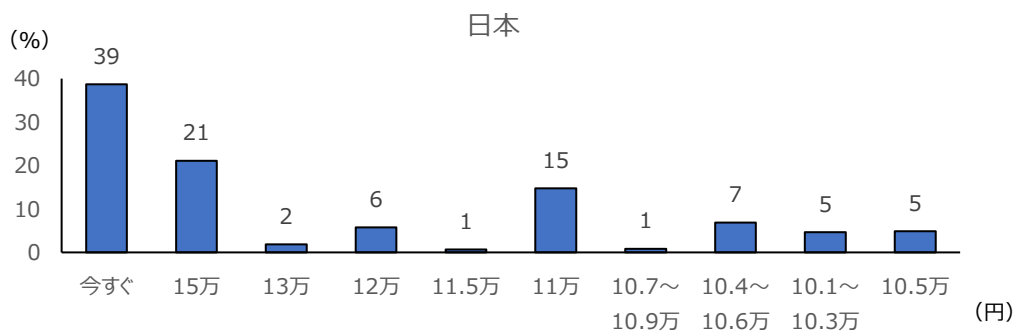
□ リスク回避度が高い ■ どちらともいえない ■ リスク選好度が高い

注 1) 「リスク選好度が高い」とは、Q29 と Q30 の両方に期待値（それぞれ 10 万円、19 万円）以上の額を回答した者
「リスク回避度が高い」とは、Q29 と Q30 の両方に期待値（それぞれ 10 万円、19 万円）より低い額を回答した者
「どちらともいえない」とは、上記以外の者で、Q29 と Q30 のいずれかで期待値（それぞれ 10 万円、19 万円）以上の額を回答した者
注 2) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q31. 時間選好率

【質問】

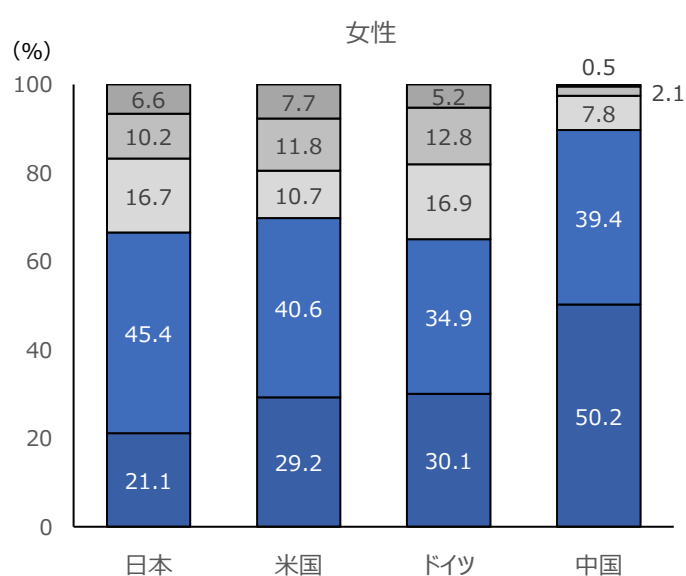
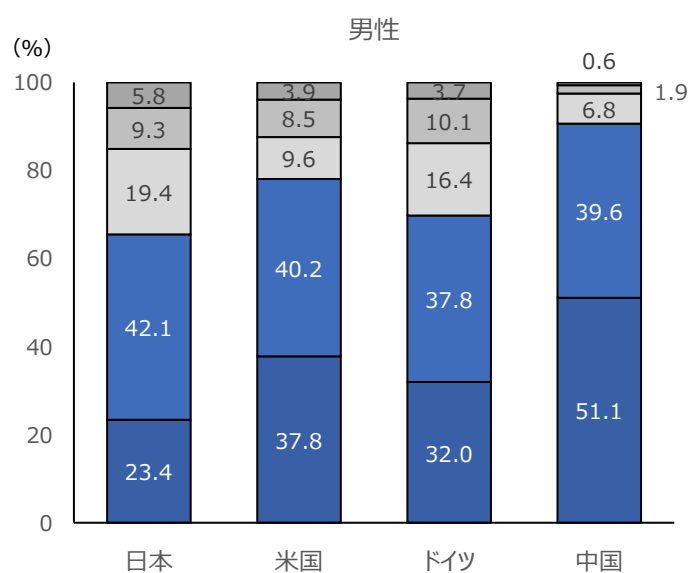
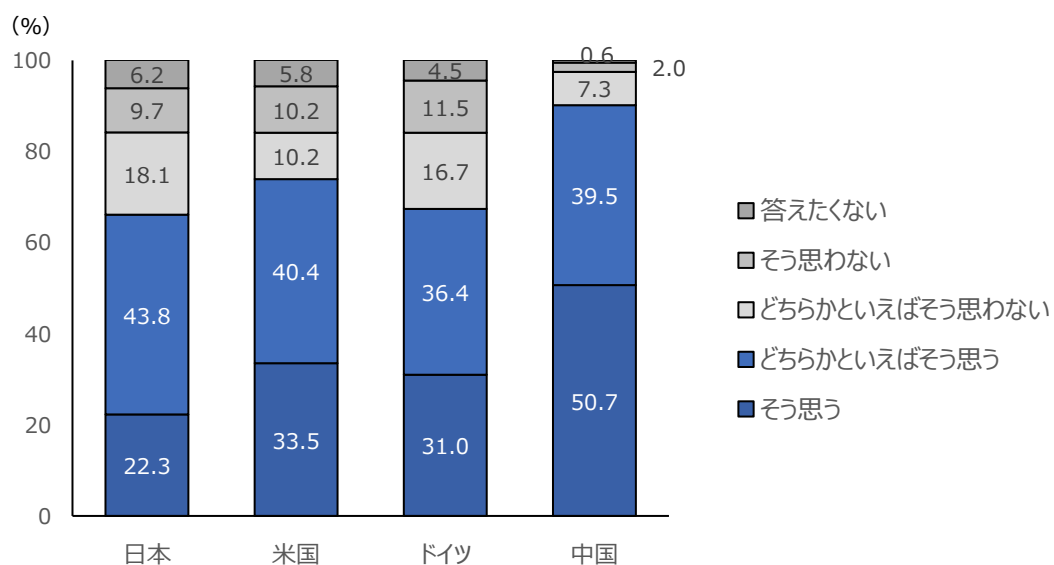
- 仮に、「今すぐ 10 万円をもらえる」か、または「1 年後に 10 万円より多い金額を確実にもらえる」という機会に恵まれたとお考え下さい。もしあなたが「1 年後にもらう」方を選ぶとしたら、いくら以上であれば「1 年後にもらう」方を選びたいと思いますか。



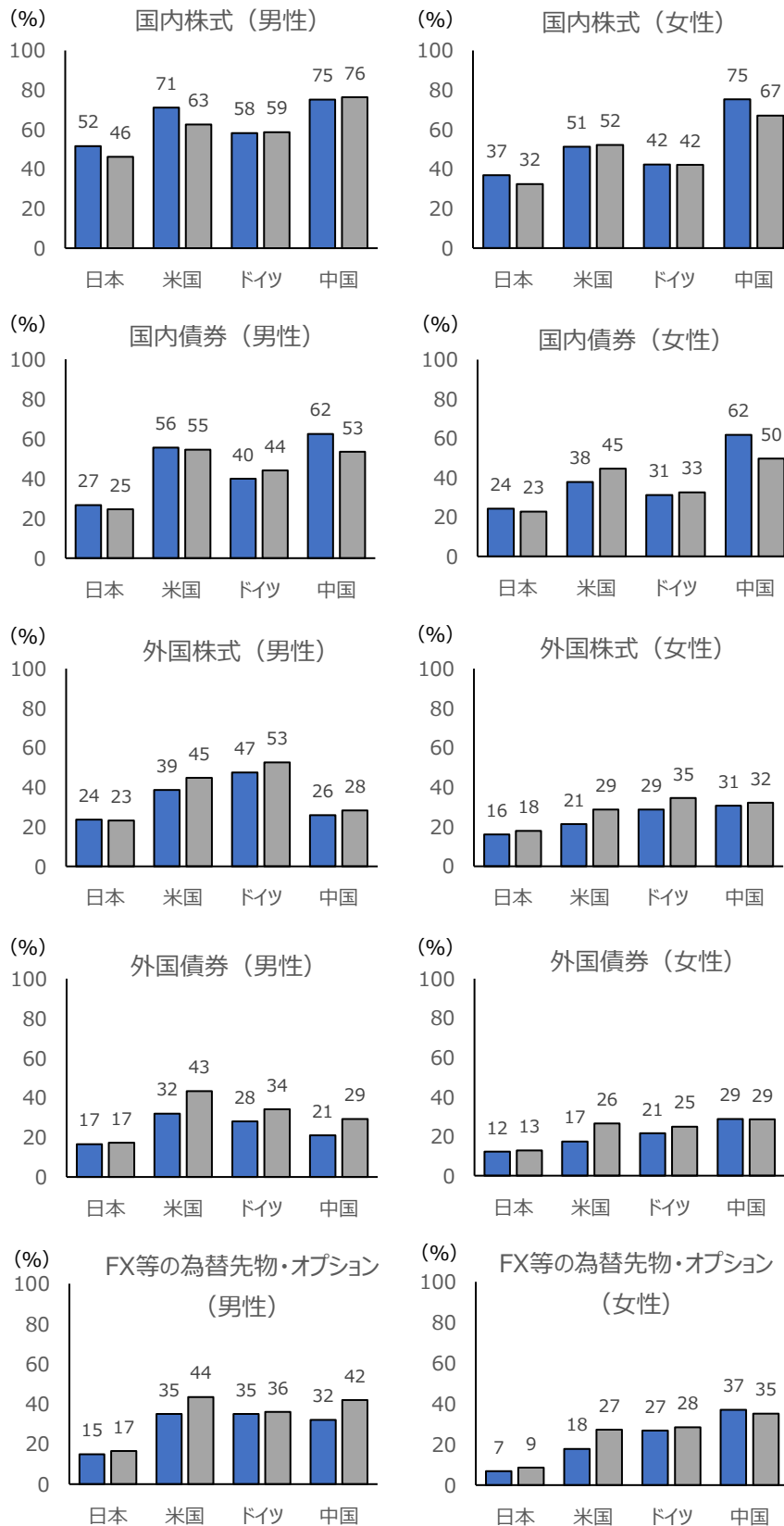
Q32. ジェンダー規範 1

【質問】

- 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。
「家族を経済的に安定させるために、男性は有給の仕事を持つべきだ。」



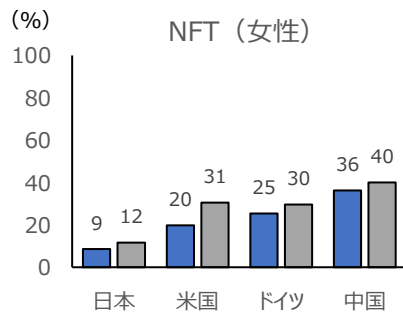
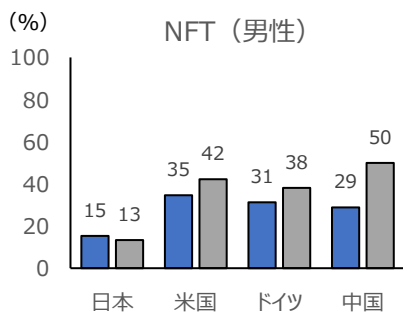
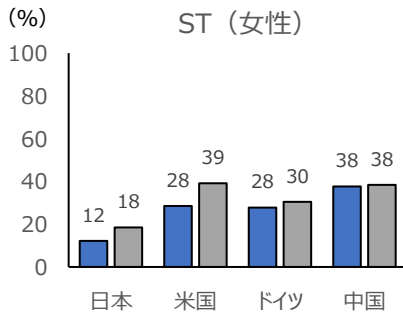
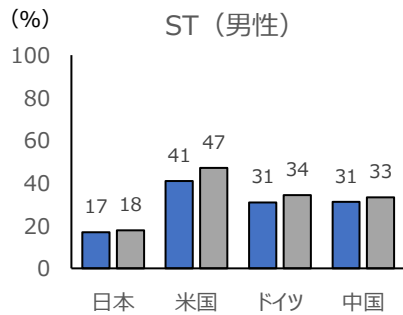
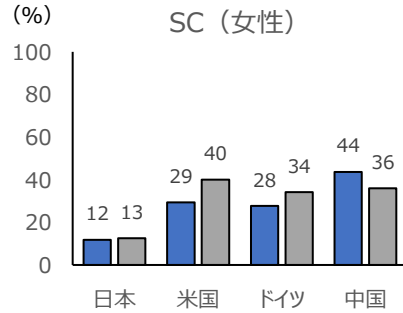
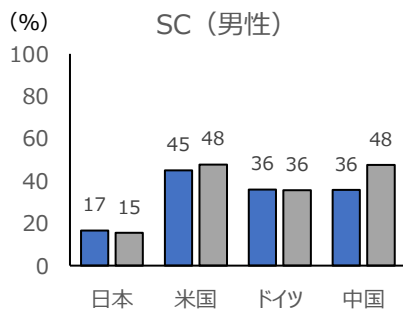
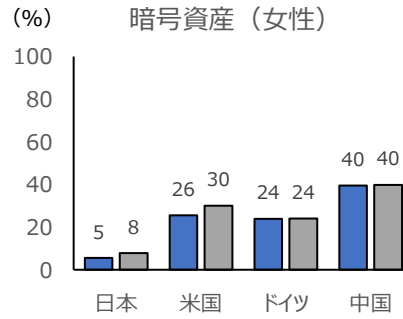
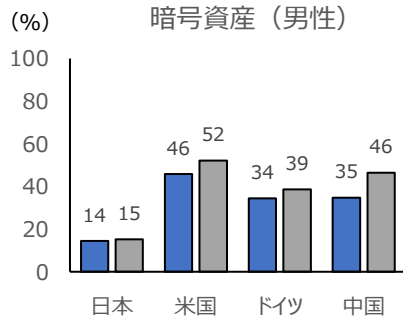
Q32で「そう思う・どちらかといえばそう思う」「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」を条件としたQ10リスク性金融商品の投資経験がある者の割合



「家族を経済的に安定させるために、男性は有給の仕事を持つべきだ。」という意見について、
 ■ そう思う・どちらかといえばそう思う ■ そう思わない・どちらかといえばそう思わない

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q32で「そう思う・どちらかといえばそう思う」「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」を条件としたQ18デジタル金融商品の投資経験がある者の割合



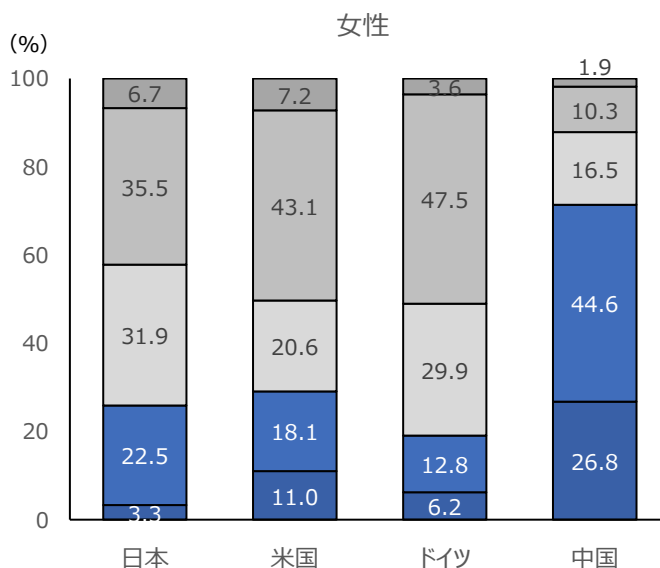
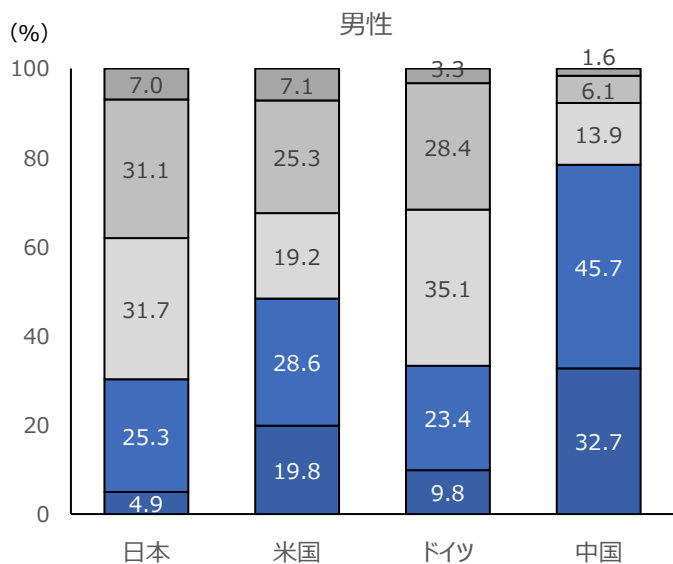
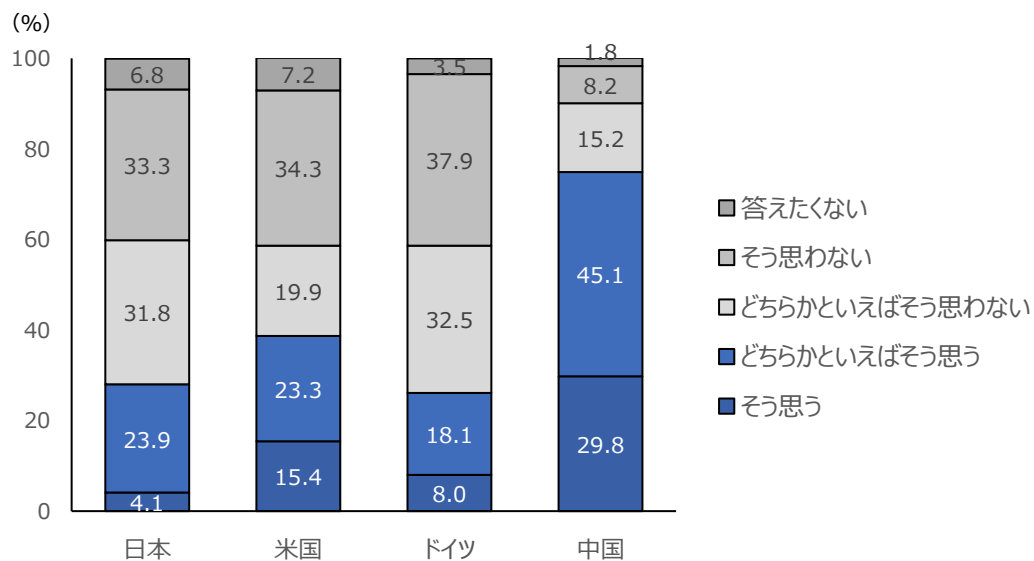
「家族を経済的に安定させるために、男性は有給の仕事を持つべきだ。」という意見について、
 ■ そう思う・どちらかといえばそう思う ■ そう思わない・どちらかといえばそう思わない

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

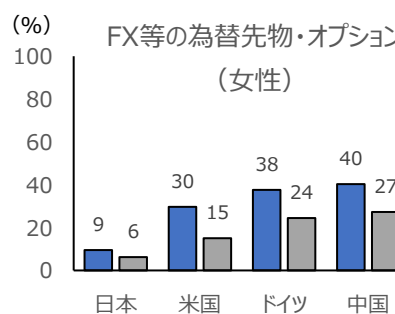
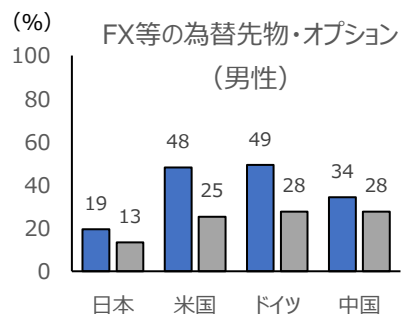
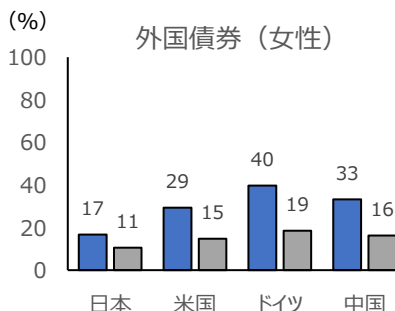
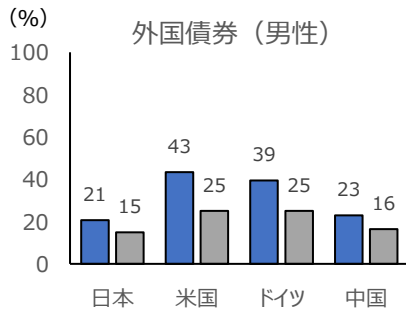
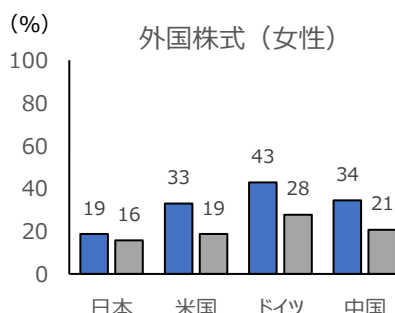
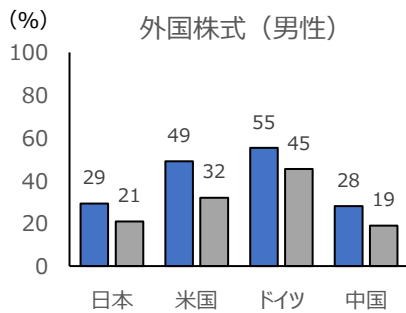
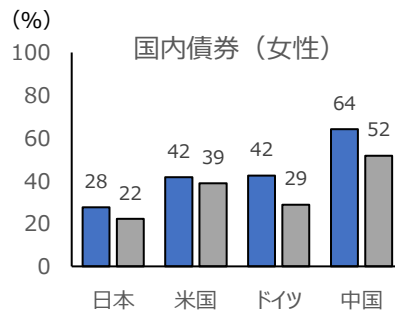
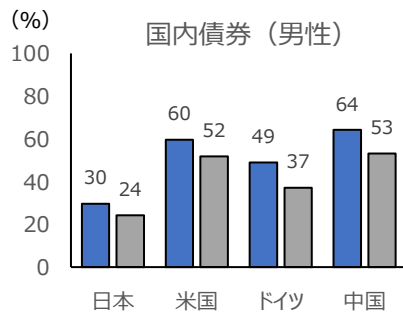
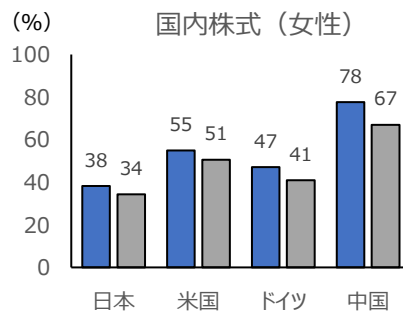
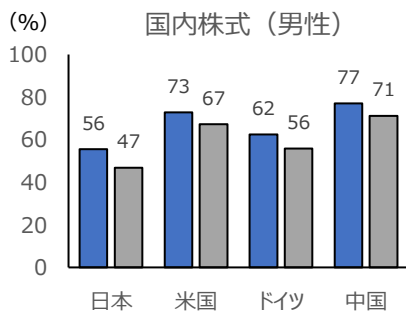
Q33. ジェンダー規範 2

【質問】

- 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものを1つ選んでください。
「組織のリーダーには、男性の方が向いている。」



Q33で「そう思う・どちらかといえばそう思う」「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」を条件としたQ10リスク性金融商品の投資経験がある者の割合

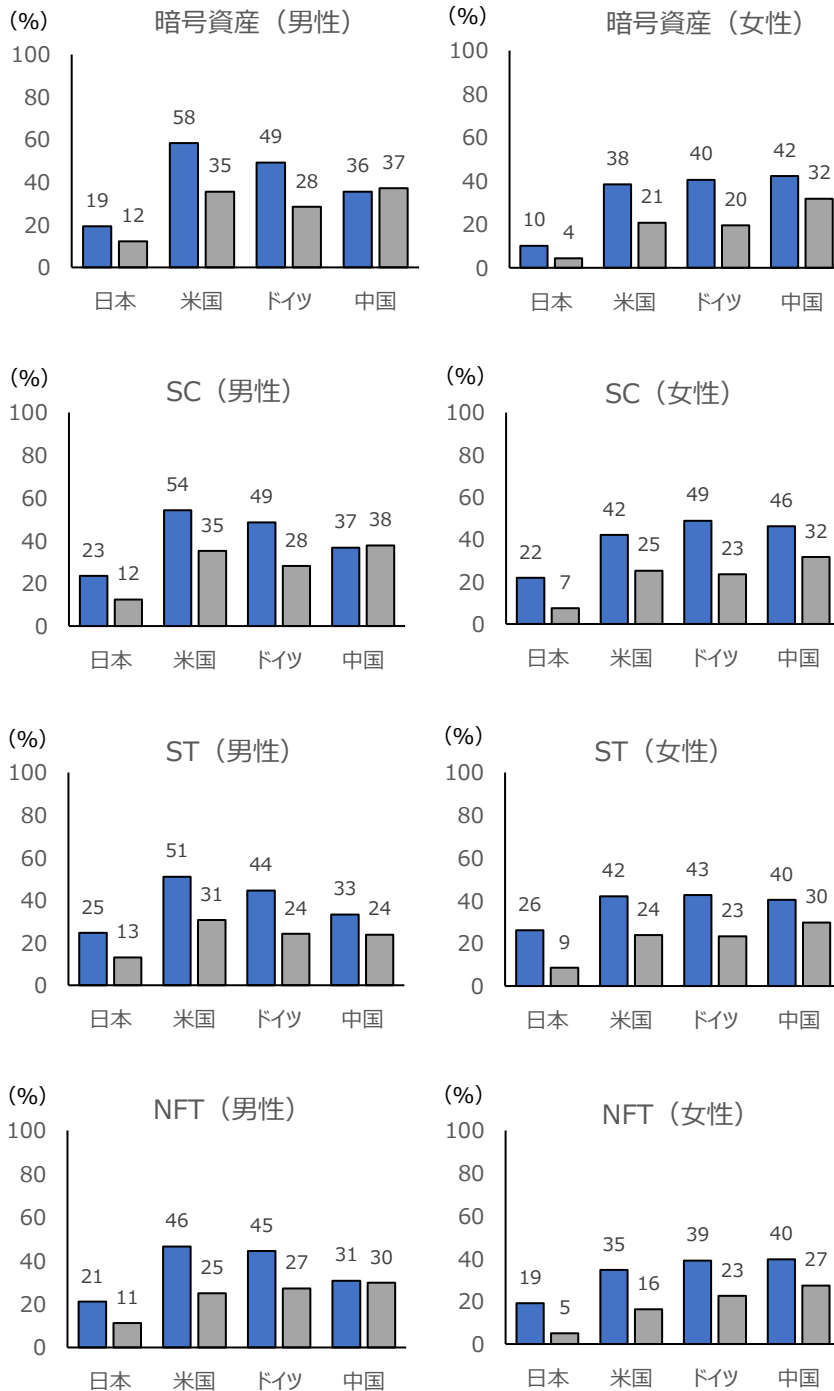


「組織のリーダーには、男性の方が向いている。」という意見について、

■ そう思う・どちらかといえばそう思う ■ そう思わない・どちらかといえばそう思わない

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q32 で「そう思う・どちらかといえばそう思う」「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」を条件とした Q18 デジタル金融商品の投資経験がある者の割合



「組織のリーダーには、男性の方が向いている。」という意見について、
 ■ そう思う・どちらかといえばそう思う ■ そう思わない・どちらかといえばそう思わない

注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q34. 自国の経済成長率見通し 1

【質問】

日本の今後 1 年間の経済成長率についてお伺いします。
ある国（日本の/米国の/中国の/ドイツの）の今後 1 年間の経済成長率とは、今後 1 年の間に国内で新たに生産された財・サービスの価値の合計額が過去 1 年間の合計額に比べて変化した割合のことです。プラスの成長率は経済が成長したことを意味し、マイナスの成長率は経済が縮小したことを意味します。

- あなたは、今後 1 年間の日本の経済成長率ほどの程度だと思いませんか。
未来にはさまざまな可能性がある一方で、経済が成長する（成長率がプラスになる）場合もあれば、縮小する（成長率がマイナスになる）場合もあるでしょう。

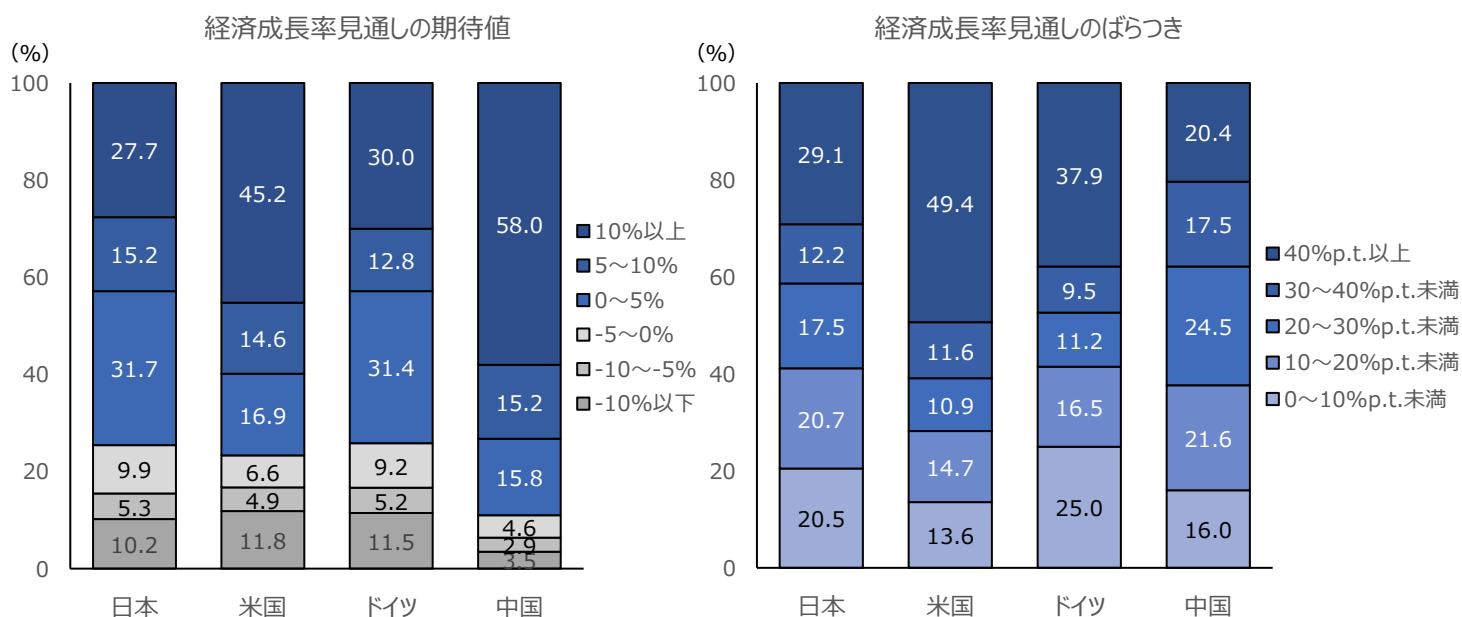
経済成長率がどの程度であれば「高い」と感じますか。
経済成長率がどの程度であれば「中くらい」と感じますか。
経済成長率がどの程度であれば「低い」と感じますか。

※経済が成長すると思う場合はプラスの数字、経済が縮小すると思う場合はマイナスの数字を記入してください。経済が変わらない（成長も縮小もしない）と思う場合は「0」を記入してください。

Q34__1. 自国の経済成長率見通し 2

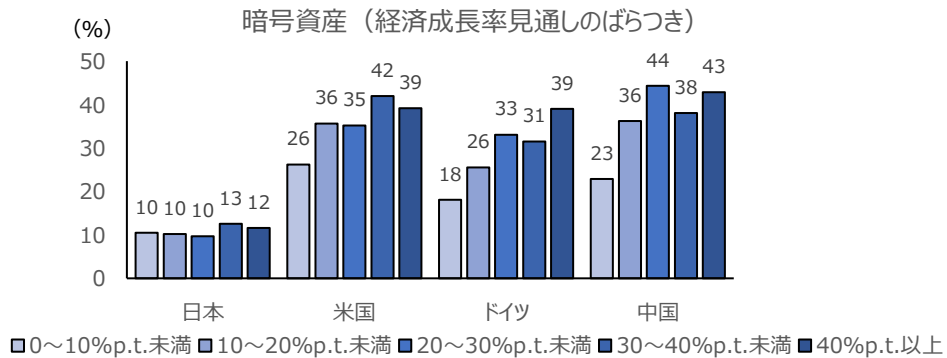
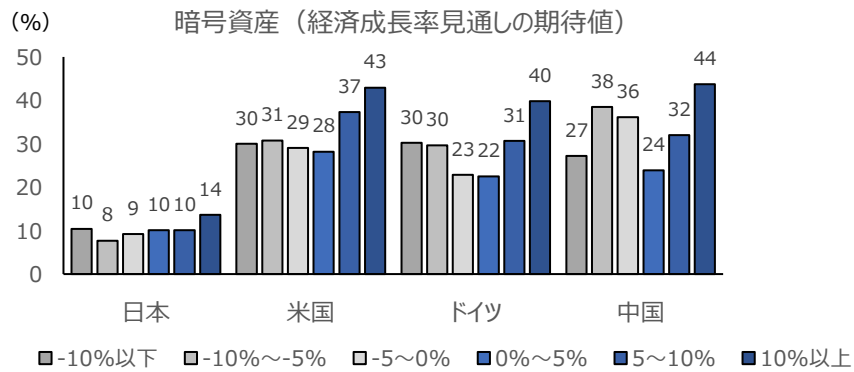
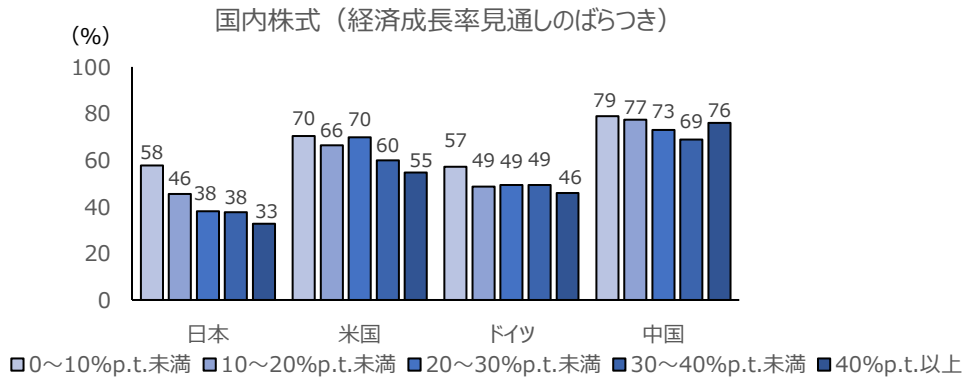
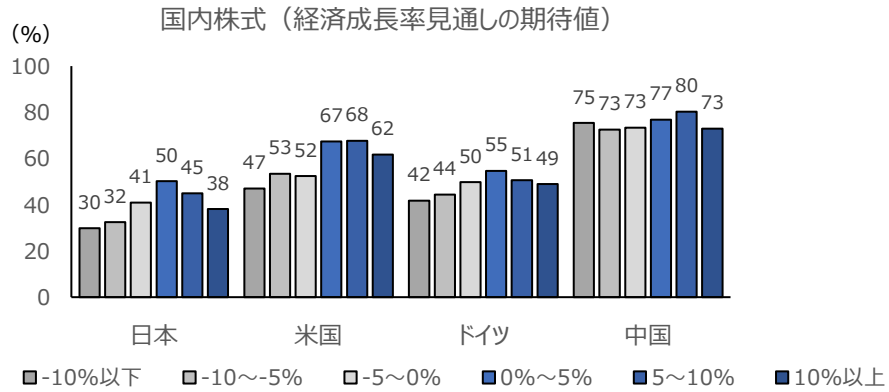
【質問】

- 前の設問でお答え頂いた 3 つの場合について、それぞれ今後どの程度おこる可能性があると思いませんか。
3 つのケースの合計が「100%」になるようにご記入下さい。



注) ばらつき：高い経済成長率 - 低い経済成長率

Q34 の期待値の分布、ばらつきの分布を条件とした Q10、Q18 で投資経験のある者の割合



注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q35. 自国の物価上昇率見通し 1

【質問】

- あなたは、今後 1 年間で物価がどのように変化すると思いますか。
未来にはさまざまな可能性がある一方で、物価が上昇する場合もあれば、下落する場合もあるでしょう。

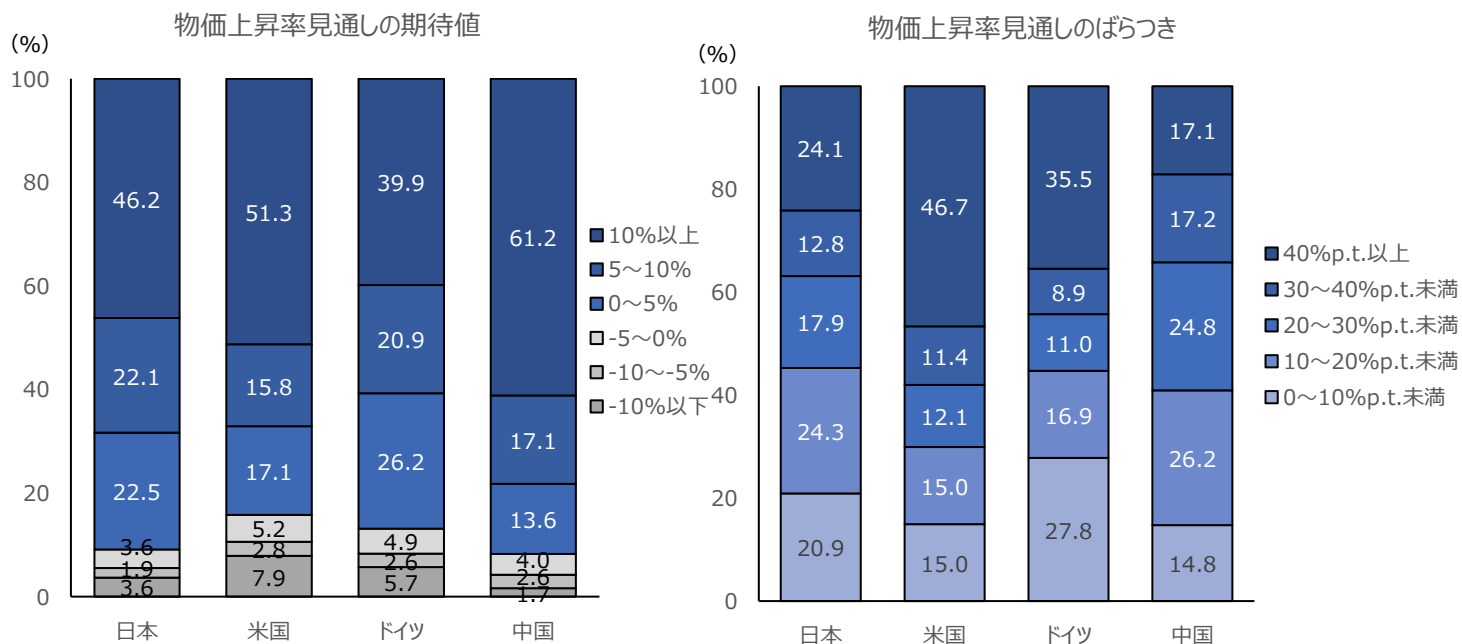
物価上昇率がどの程度であれば「高い」と感じますか。
物価上昇率がどの程度であれば「中くらい」と感じますか。
物価上昇率がどの程度であれば「低い」と感じますか。

※物価が上昇すると思う場合はプラスの数字、物価が下落すると思う場合はマイナスの数字を記入してください。物価が変わらない（上昇も下落もしない）と思う場合は「0」を記入してください。

Q35_1. 自国の物価上昇率見通し 2

【質問】

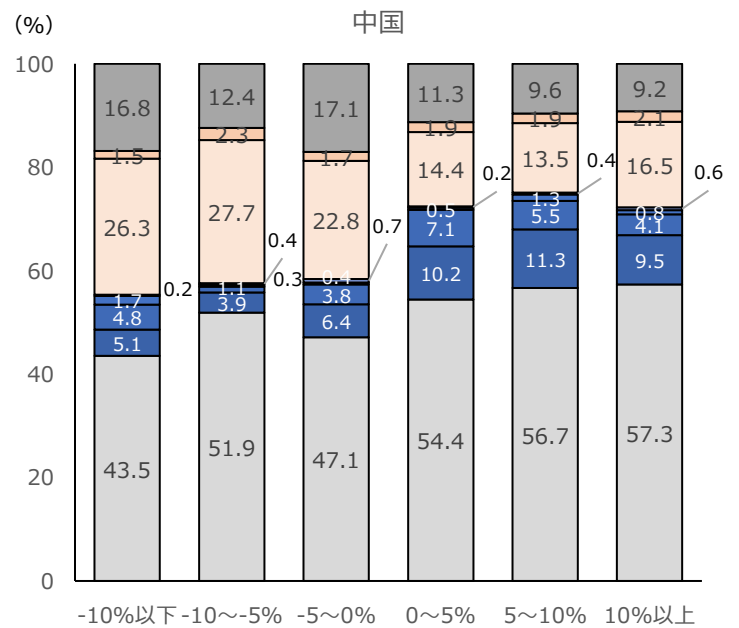
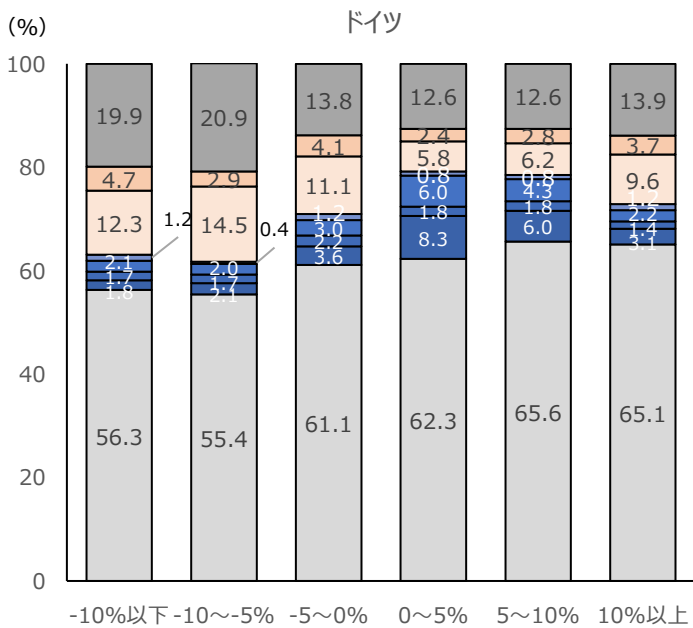
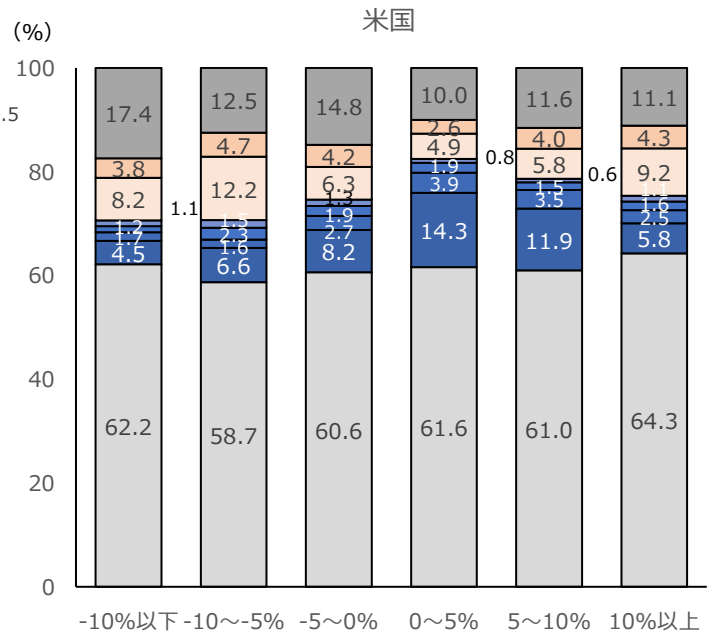
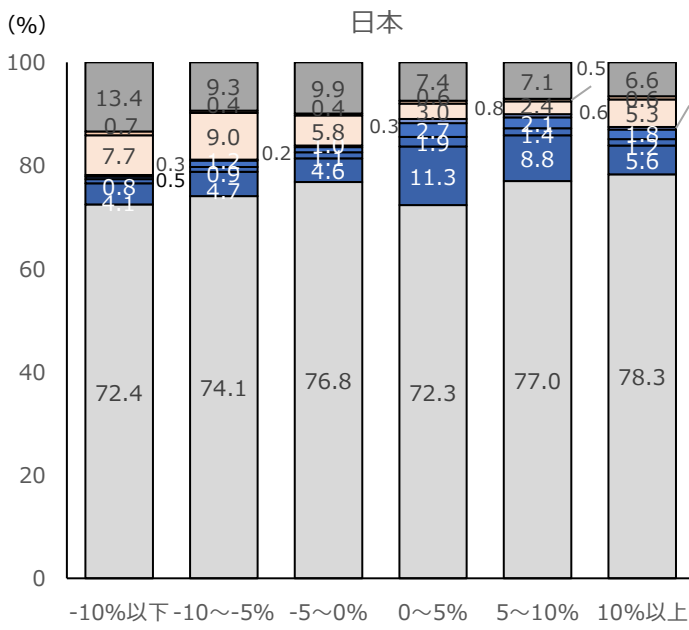
- 前の設問でお答え頂いた 3 つの場合について、それぞれ今後どの程度おこる可能性があると思いますか。
3 つのケースの合計が「100%」になるようにご記入下さい。



注) ばらつき：高い経済成長率 - 低い経済成長

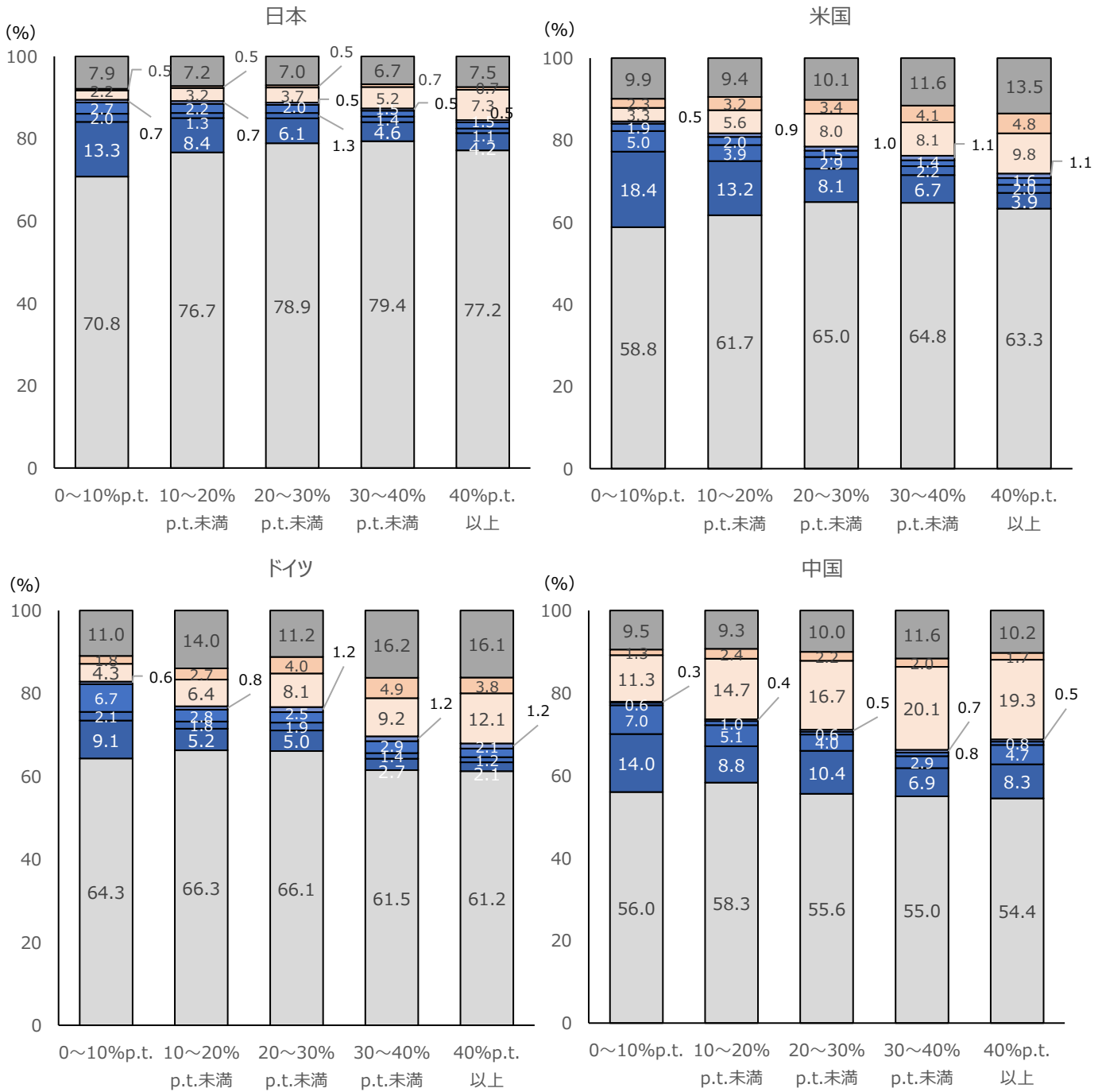
金融資産の保有割合（物価上昇率見通しの期待値）

- その他
- 新しいデジタル金融商品
- 金
- 外国債券
- 外国株式
- 国内債券
- 国内株式
- 現預金



金融資産の保有割合（物価上昇率見通しのばらつき）

- その他
- 新しいデジタル金融商品
- 金
- 外国債券
- 外国株式
- 国内債券
- 国内株式
- 現預金



注) ばらつき：高い経済成長率 - 低い経済成長

Q36. 為替見通し

【質問】

- あなたがお住まいの国の通貨の為替レートについてあなたの見通しをお伺いします。通貨の為替レートとは、他の通貨との交換比率のことです。通貨が上昇するとは他の通貨に対して価値が上がることを意味し、通貨が下落するとは他の通貨に対して価値が下がることを意味します。例えば、円が1ドル＝160円から150円になれば、円のドルに対する価値は上昇し、1ドル＝140円から150円になれば、円のドルに対する価値は下落します。この質問では将来何が起こる確率を考えてもらいます。0から100の範囲で、0は全く可能性がないことを意味し、100は確実に起こることを意味します。

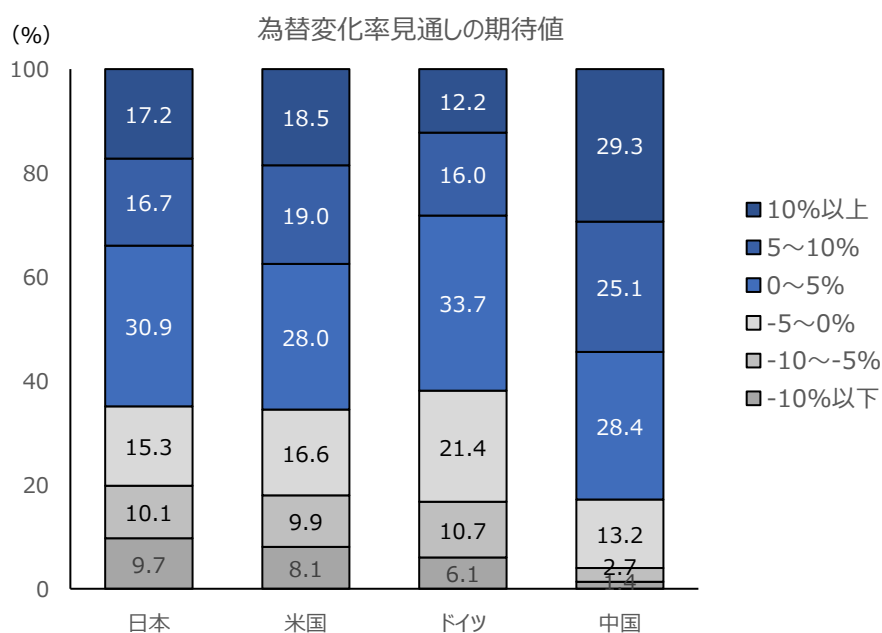
例えば、以下のような数字です。

- 2～5% : 「ほとんど可能性がない」
- 18%前後 : 「あまり可能性がない」
- 47～52% : 「かなり可能性がある」
- 83%前後 : 「非常に可能性がある」
- 95～98% : 「ほぼ確実」

あなたは、今後1年間で為替レートがどのように変化すると思いますか。

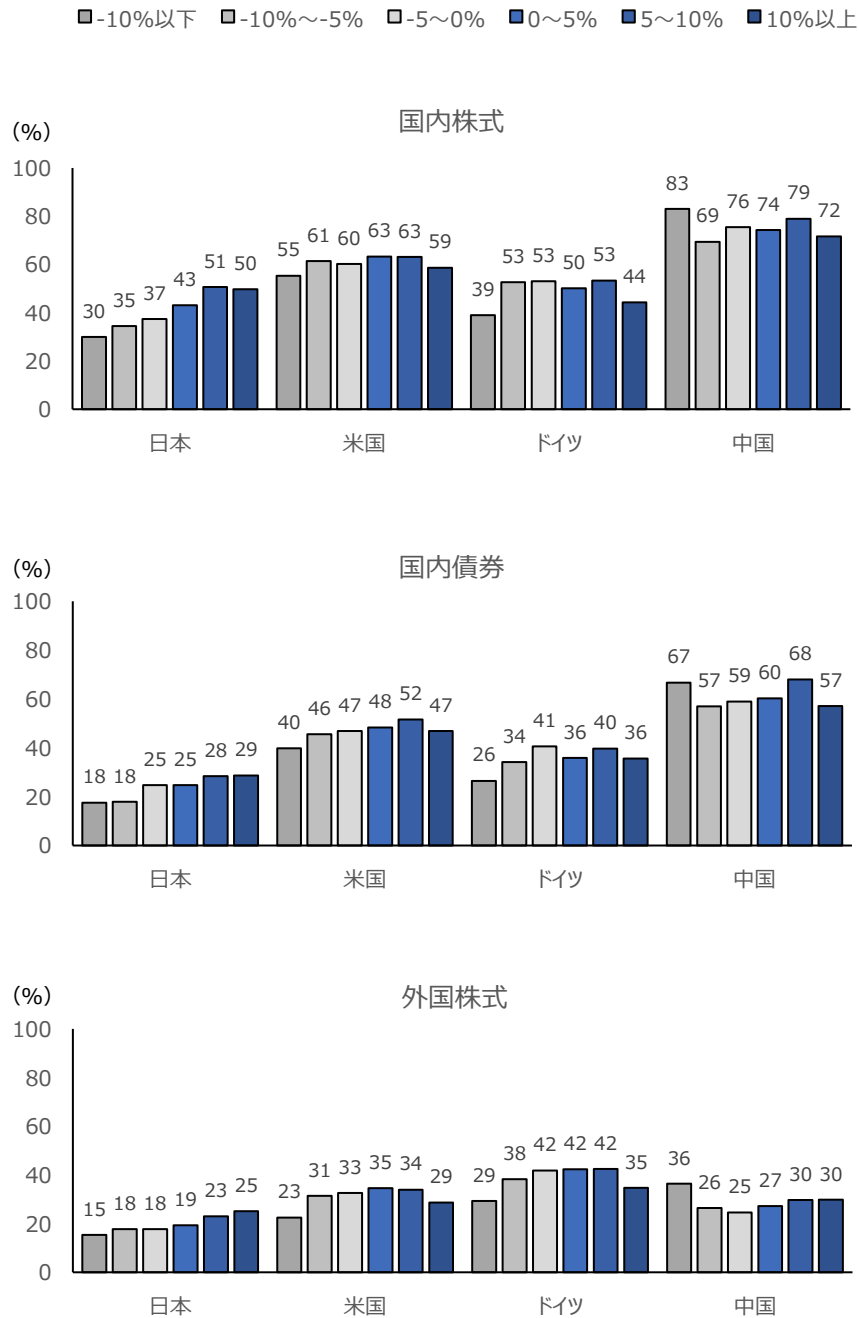
未来にはさまざまな可能性があるので、為替レートが上昇する場合もあれば、下落する場合もあるでしょう。次に示す7個のケースについて、それぞれどのくらいの確率で起こりそうか、予想してみてください。

7個のケースの合計が「100%」になるようにご記入下さい。



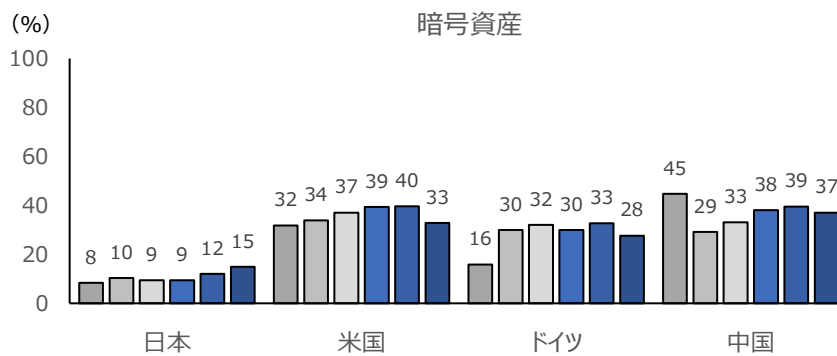
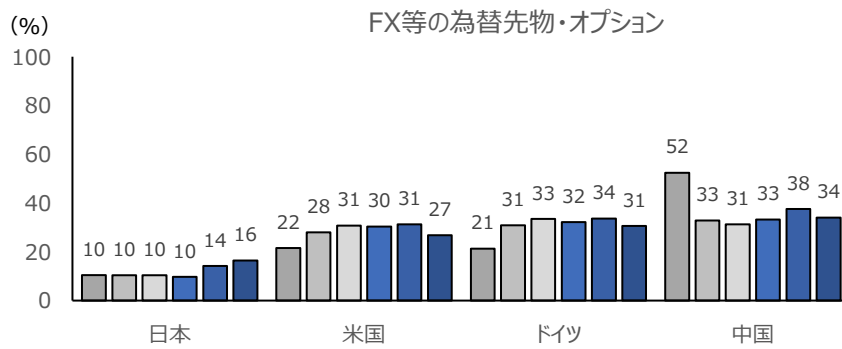
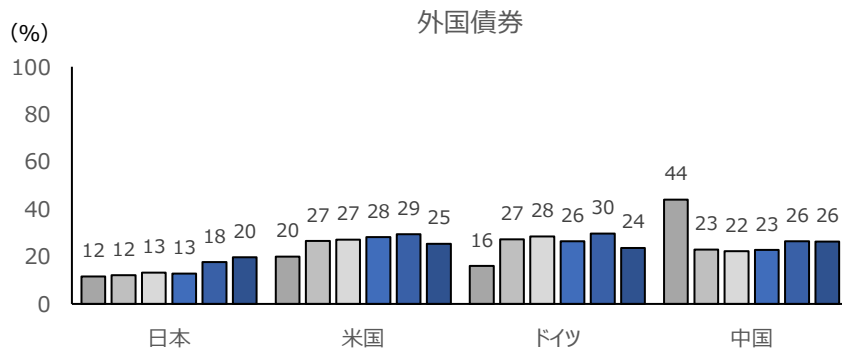
注) 数値の上昇は増価、減少は減価を示す

Q36 の為替変化率見通しの期待値の分布を条件とした Q10 リスク性金融商品と Q18 デジタル金融商品の投資経験のある者の割合



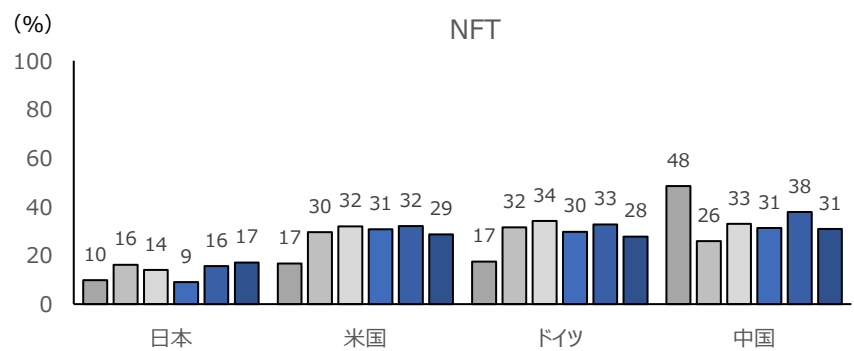
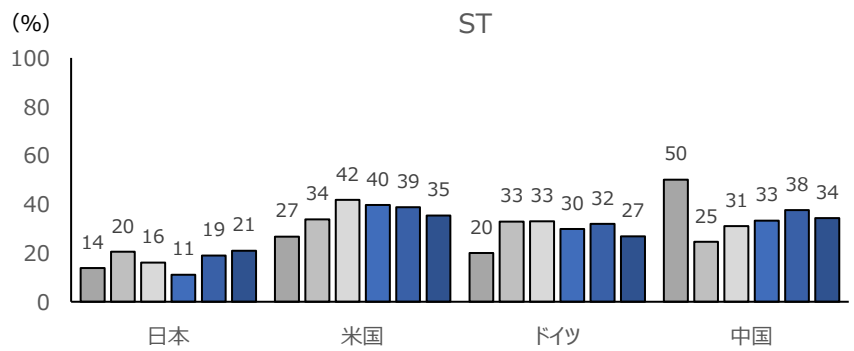
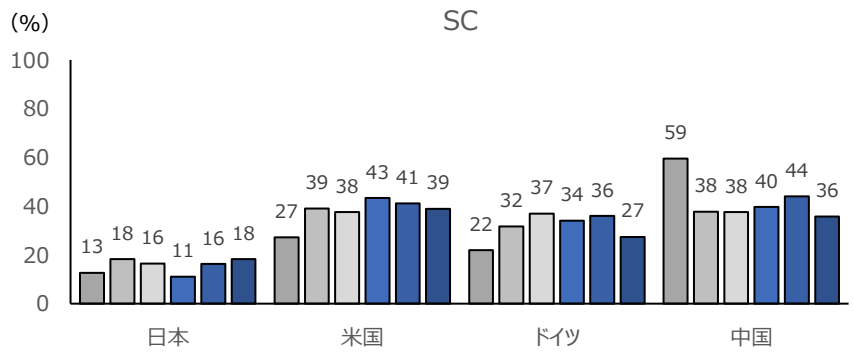
注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

■ -10%以下 □ -10%~-5% □ -5~0% ■ 0~5% ■ 5~10% ■ 10%以上



注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

■ -10%以下 ■ -10%~-5% ■ -5~0% ■ 0~5% ■ 5~10% ■ 10%以上



注) 投資経験があるとは、「投資したことはあるが、現在は保有していない」と「現在保有している」の合算

Q37. 今後の理想的なポートフォリオの内訳

Q37_0.

【質問】

- 1年後における理想的な金融資産の保有割合をお答えください。
※生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
※合計で100%になる様に、それぞれの割合を回答してください。

Q37_1.

【質問】

- 日経平均株価（米国：ダウ平均株価、ドイツ、DAX、中国：上海総合指数）は過去5年間で+XX%上昇し、過去10年間では+XX%上昇しました。来年の年末時点であなたご自身が個人で保有する金融資産の理想的な保有割合について、当てはまる数字をそれぞれ入力してください。入力した数字が合計で100になるようにしてください。
※生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
※合計で100%になる様に、それぞれの割合を回答してください。

Q37_2.

【質問】

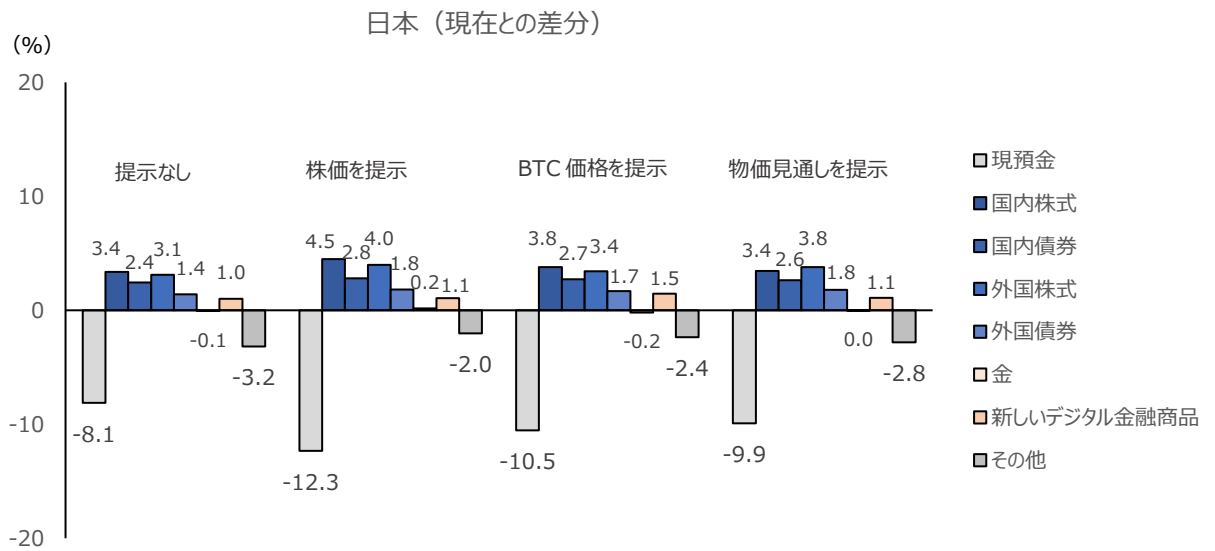
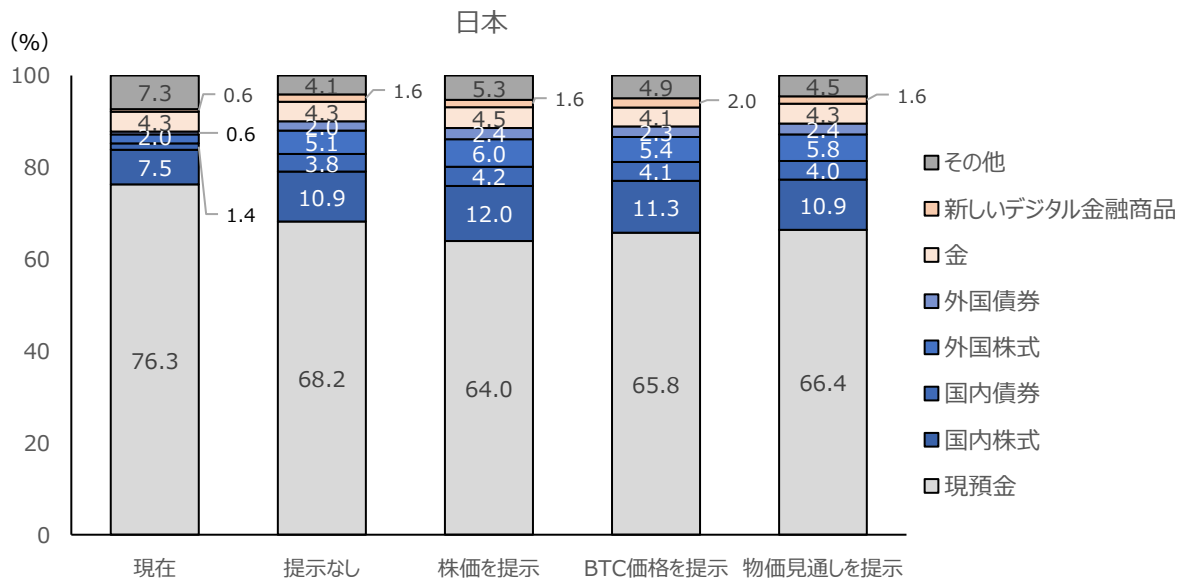
- ビットコインの価格は過去5年間で+XX%上昇し、過去10年間では+XX%上昇しました。来年の年末時点であなたご自身が個人で保有する金融資産の理想的な保有割合について、当てはまる数字をそれぞれ入力してください。入力した数字が合計で100になるようにしてください。
※生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
※合計で100%になる様に、それぞれの割合を回答してください。

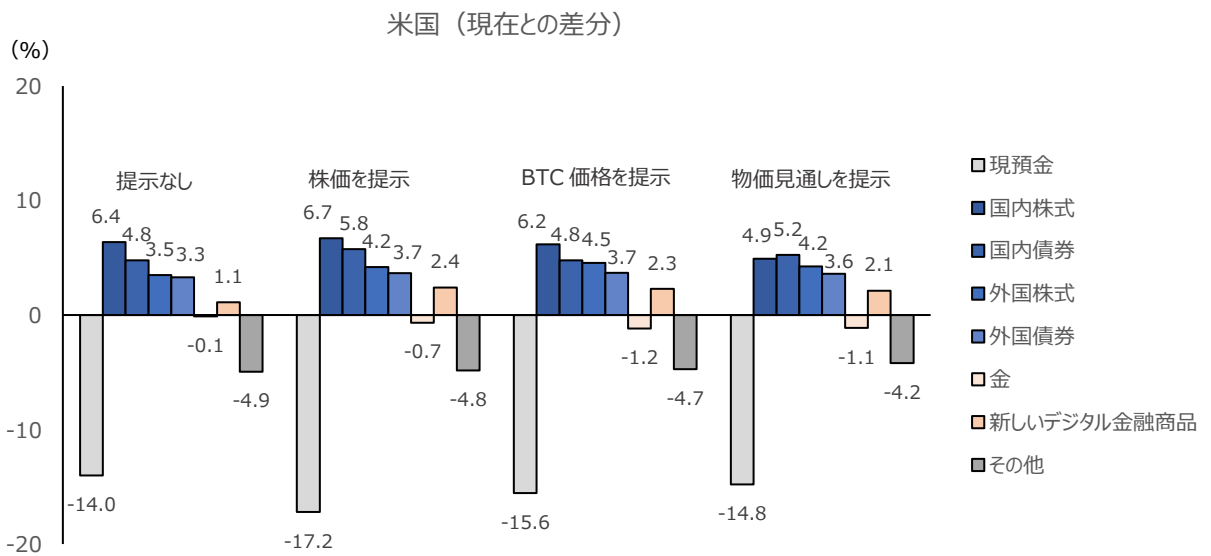
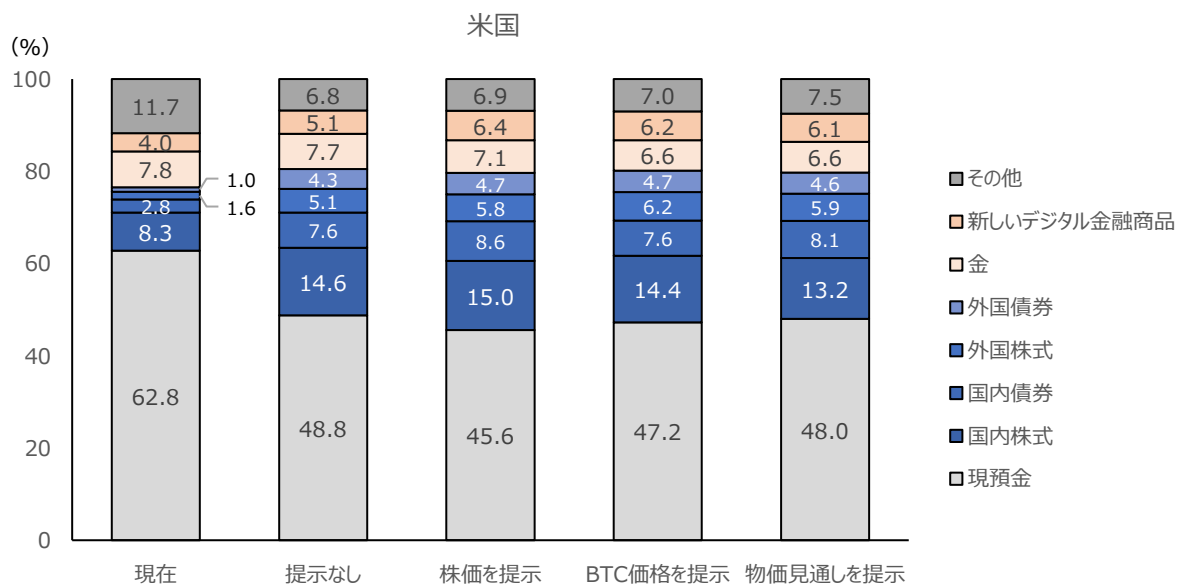
Q37_3.

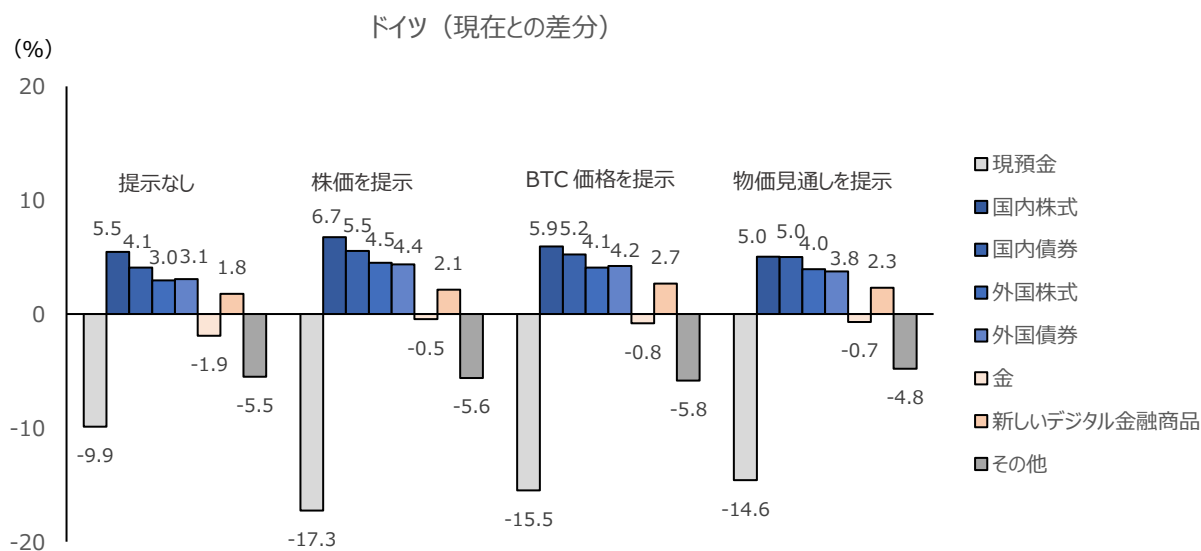
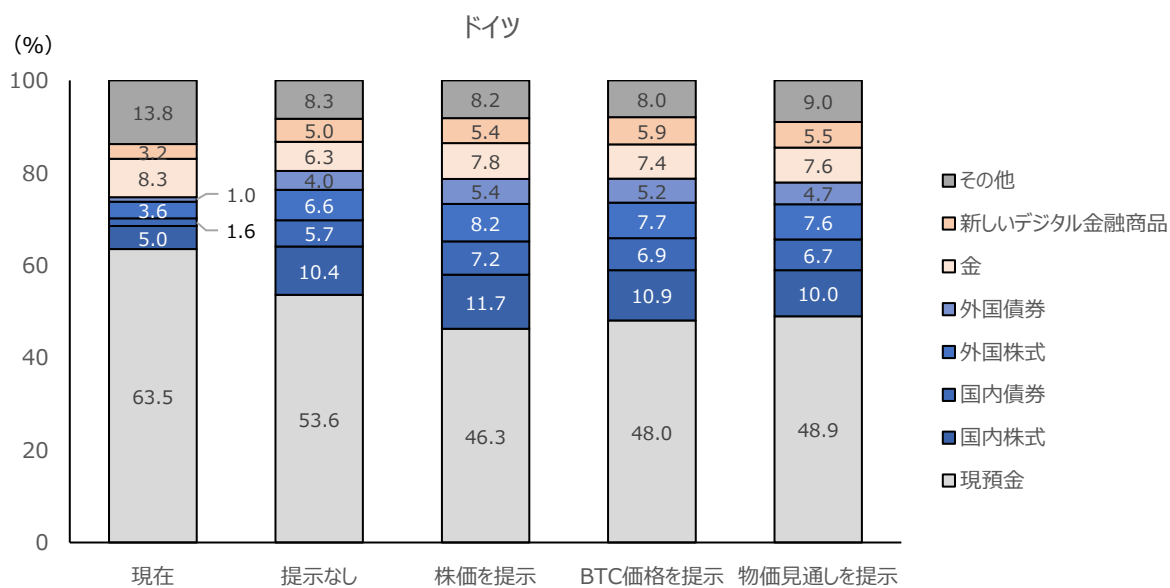
【質問】

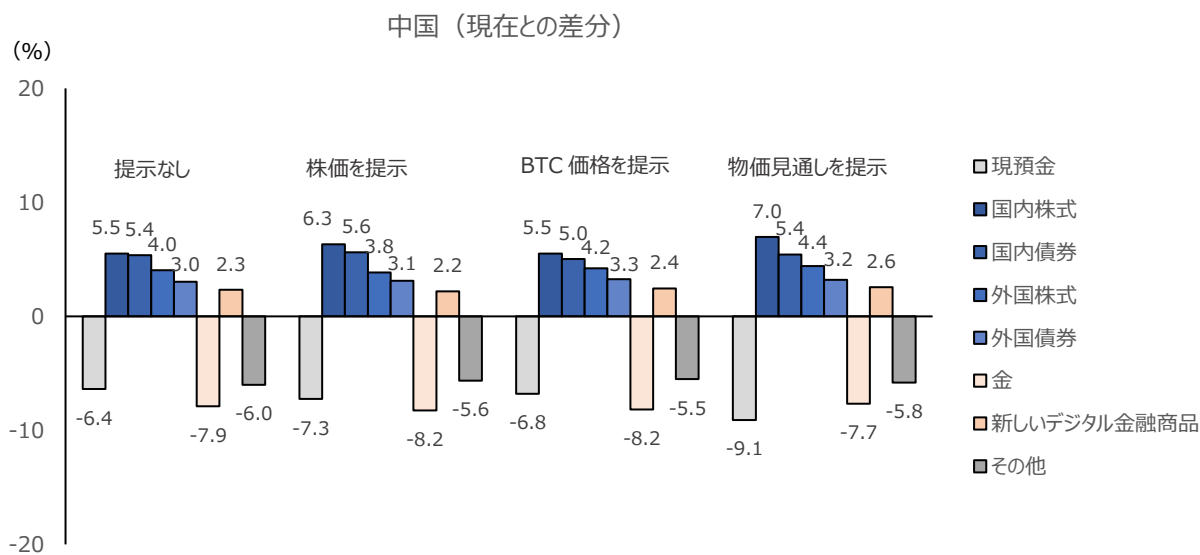
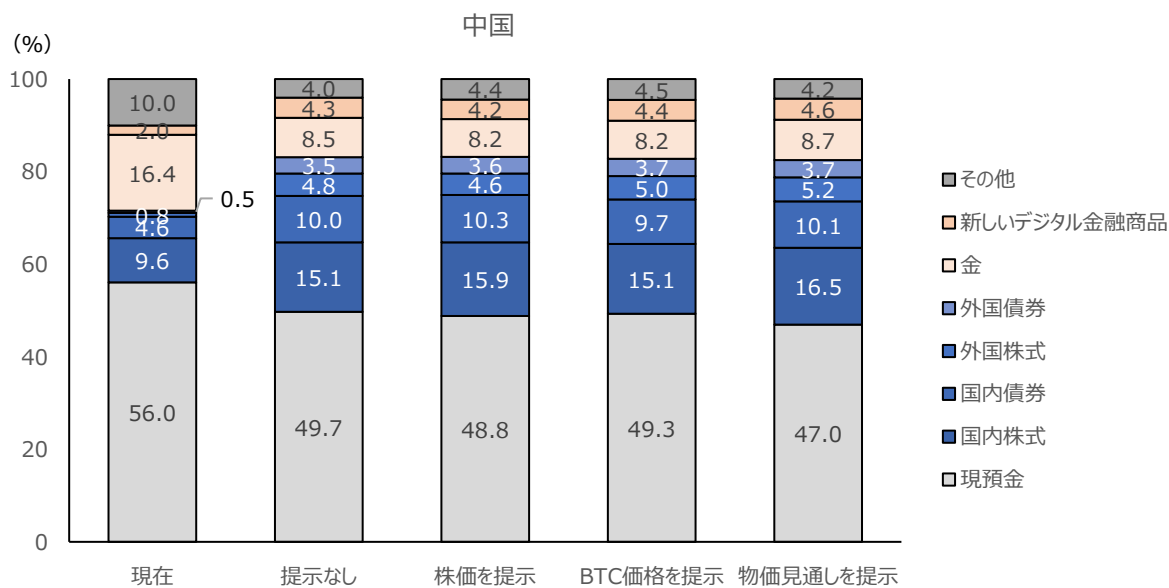
- 国際通貨基金（IMF）は、来年のXX国の物価は、昨年比べてXX.X%上昇すると予想しています。来年の年末時点であなたご自身が個人で保有する金融資産の理想的な保有割合について、当てはまる数字をそれぞれ入力してください。入力した数字が合計で100になるようにしてください。
※生命保険や不動産、車などの物的資産は除いてお答えください。
※合計で100%になる様に、それぞれの割合を回答してください。

注) 本問では、回答者を4つのグループに分け、回答の前にそれぞれのグループに対して、何の情報も提示しない、株価情報を提示する、BTC価格情報を提示する、物価見通し情報を提示する、ことによってランダム化比較試験(Randomized Controlled Trial)を実施した





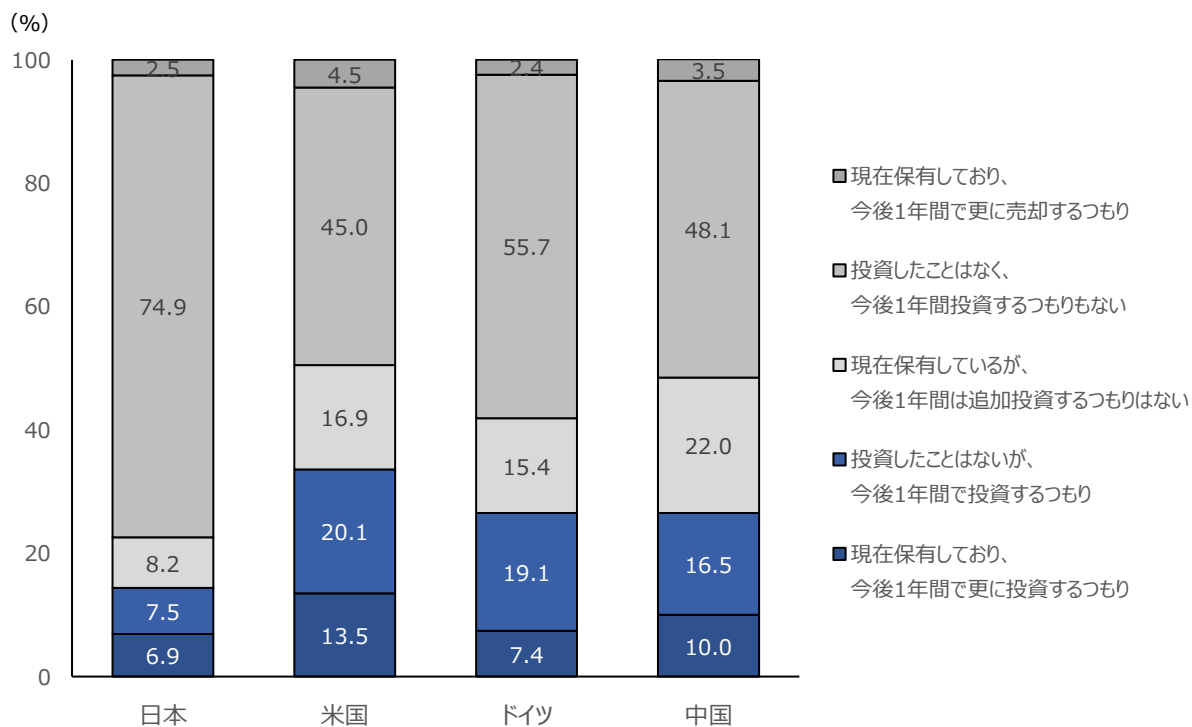




Q38. 投資用不動産の投資動向

【質問】

- あなたの投資用不動産（個人が投資目的で取得する不動産）への投資について、お答え下さい。



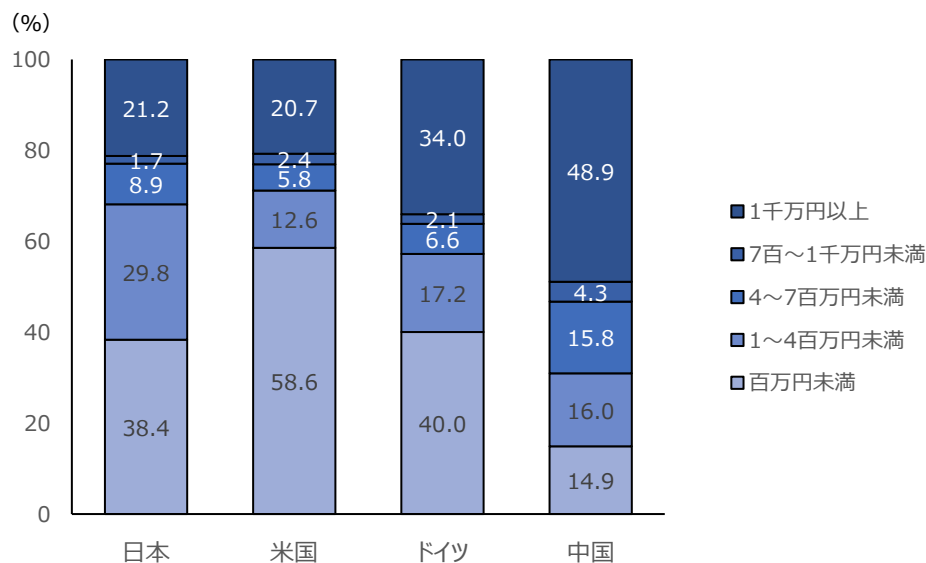
Q38_1. 投資用不動産の投資額

【質問】

- 先ほど投資用不動産について「Q38 回答引用」とお答えいただきましたが、投資用不動産の投資動向について具体的な金額を教えてください。

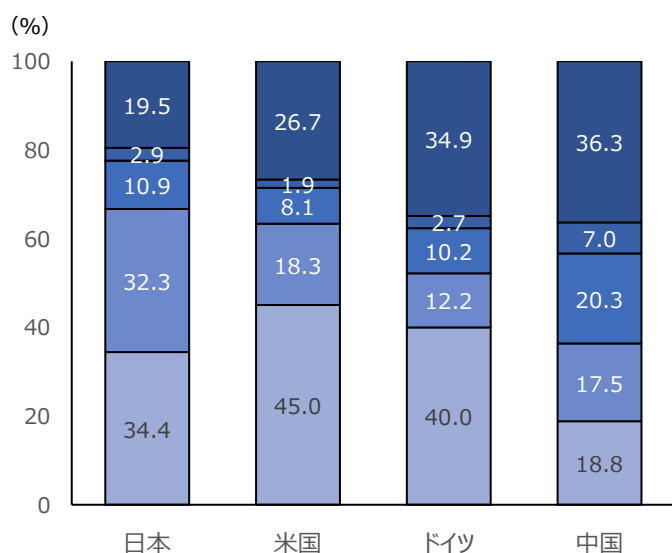
「現在保有しているが、今後1年間は追加投資するつもりはない」

現在保有額



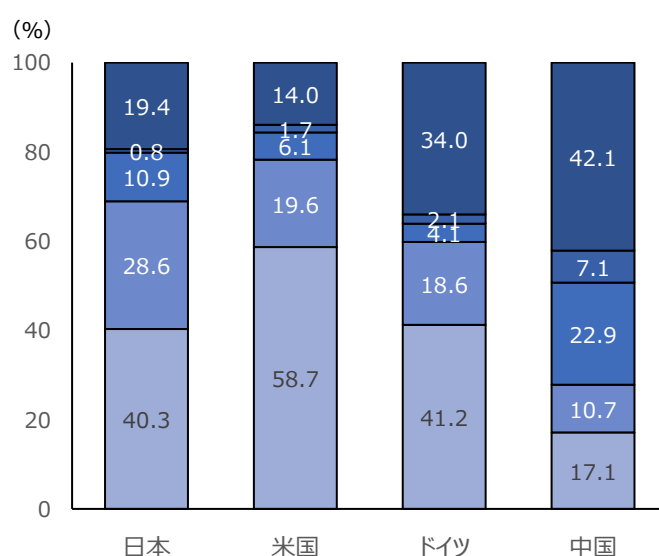
「現在保有しており、今後1年間で更に投資するつもり」

現在保有額



「現在保有しており、今後1年間で更に売却するつもり」

現在保有額



注) 注) 日本以外の国については下記の区分で集計

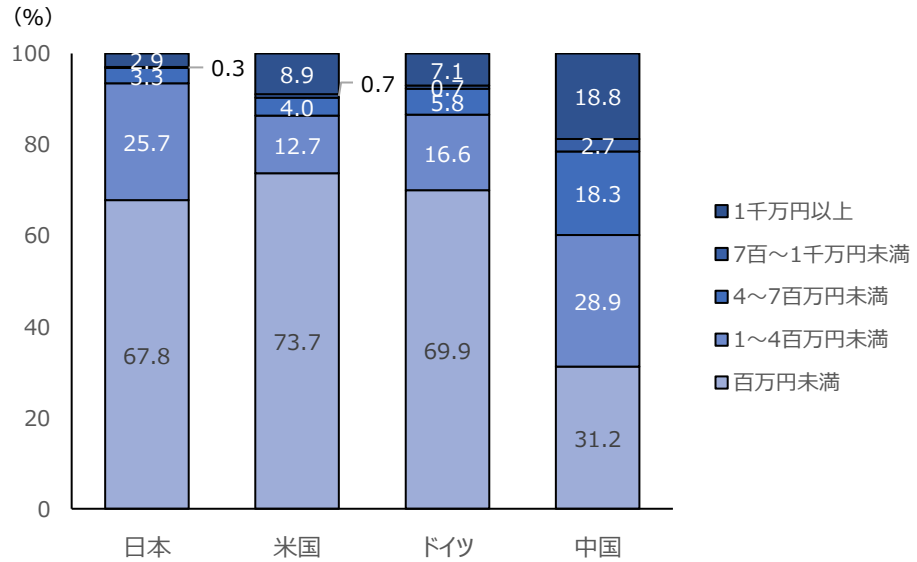
米国 (\$) : 1万未満、1万~4万未満、4万~7万未満、7万~10万未満、10万以上

ドイツ (€) : 1万未満、1万~4万未満、4万~7万未満、7万~10万未満、10万以上

中国 (人民元) : 5万未満、5~20万未満、20万~35万未満、35万~50万未満、50万以上

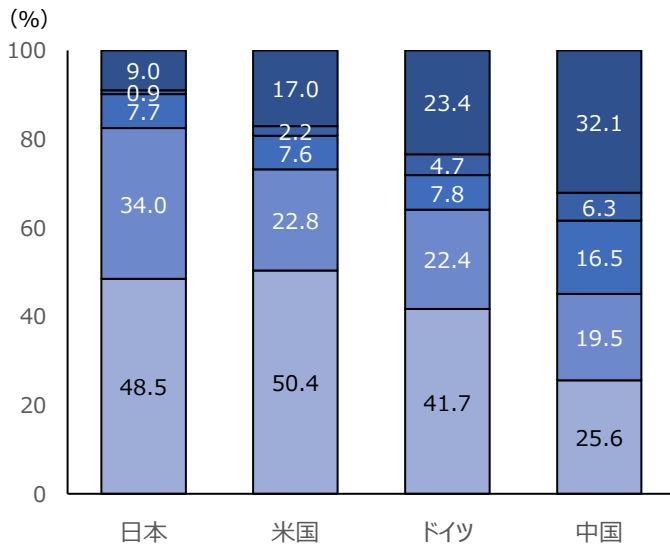
「投資したことはないが、今後1年間で更に投資するつもり」

投資予定金額



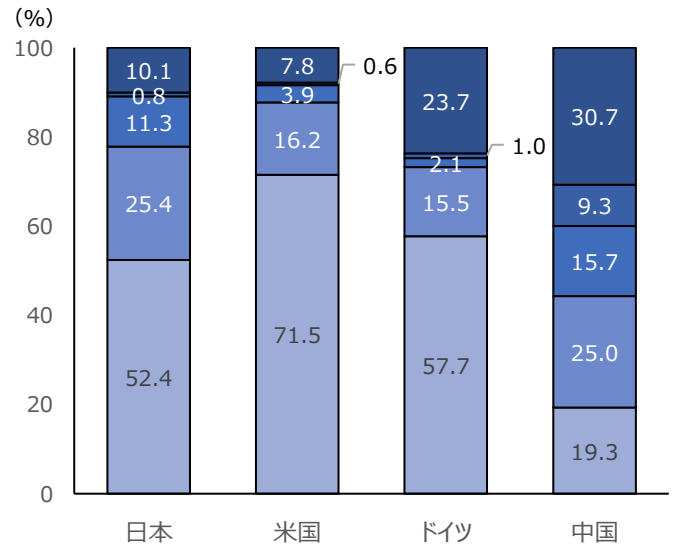
「現在保有しており、今後1年間で更に投資するつもり」

投資予定金額



「現在保有しており、今後1年間で更に売却するつもり」

売却予定金額



注) 日本以外の国については下記の区分で集計

米国 (\$) : 1万未満、1万~4万未満、4万~7万未満、7万~10万未満、10万以上

ドイツ (€) : 1万未満、1万~4万未満、4万~7万未満、7万~10万未満、10万以上

中国 (人民元) : 5万未満、5~20万未満、20万~35万未満、35万~50万未満、50万以上